

光市健康づくり推進計画 中間評価報告書

令和3年3月
光市

目 次

第1章 中間評価について	1
1 趣旨	1
2 評価の方法	1
第2章 光市の現状（計画策定後の推移等）	2
1 人口等の状況	2
2 健康を取り巻く状況	4
3 運動について	8
4 こころの健康について	10
5 栄養・食生活について	12
6 光市健康づくり推進計画について	14
7 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について	15
第3章 これまでの取組み状況	16
1 光 スマイル ライフ プロジェクト（光市健康応援プロジェクト）	16
2 施策の展開状況	18
第4章 中間評価の結果	35
1 指標の評価方法	35
2 指標の現状値	35
（1）健康指標	35
（2）個別指標	36
3 指標（項目）の達成状況	56
4 健康づくりの課題	59
第5章 中間評価を踏まえた今後の施策の展開例	60
1 施策の展開例	60
参考資料	
1 中間評価の経緯	66
2 光市健康づくり推進計画市民協議会	66
（1）光市健康づくり推進計画市民協議会設置要綱	66
（2）光市健康づくり推進計画市民協議会委員名簿	68

第1章 中間評価について

1 趣旨

本市では、平成28年3月に光市健康づくり推進計画（計画期間：平成28年度～令和7年度）を策定し、「あなたが主役 みんなが笑顔で元気に過ごせるまち 光」の実現を目指し、「健康寿命の延伸で豊かな人生を」の基本理念のもと、平成28年度からの計画前期期間（5年間）において、「光 スマイル ライフ プロジェクト ～光市健康応援プロジェクト～」に掲げる4つの要素「まもる」「うごく」「たべる」「なごむ」を中心に、市民が主体的に取り組む事業を展開するため、関係者や関係機関と連携を図り、健康づくりの推進に取り組んでいます。

令和2年度は、本計画最終年度（令和7年度）に向け、中間年（5年目）を迎えるため、中間評価を実施することとしました。

なお、中間評価の実施においては、本計画の上位計画となる国の健康日本21及び食育推進計画の骨子及び方向性に大きな変更がないことをふまえ、計画の総論の見直しは行わないこととし、各指標の数値目標等の現状を把握し、計画前期期間5年間の取り組みの進捗状況を検証・評価するとともに、指標の達成に向けた課題について整理し、今後の施策の展開例の見直しを行いました。

2 評価の方法

（1）光市健康づくり推進計画市民協議会の開催

第1回：令和2年10月8日、第2回：令和2年12月24日

（2）光市健康づくり推進計画庁内会議の開催（令和2年11月16日）

（3）光市「健康・食育に関する市民アンケート」調査の実施

（市民の健康・食育に関する意識等の把握）

ア 成人アンケート【設問数43問】

- ・対象：20歳以上の市民2,100名（10歳刻み7階層・各300人）
- ・抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法：郵送による配付・回収
- ・調査時期：令和2年6月（調査期間2週間程度）
- ・回収状況：計912名（回収率43.4%）

内訳 20歳代72名、30歳100名、40歳107名、50歳代130名、
60歳代162名、70歳代168名、80歳以上166名、不明7名

イ 児童生徒アンケート【小学生用：設問数20問】【中高生用：設問数30問】

- ・対象：市内小学校3・6年生、中学校3年生、高校2年生、計1,791名
- ・方法：各学校を通じて実施
- ・調査時期：令和2年6月下旬～7月中旬
- ・回収状況：計1,725名（回収率96.3%）

内訳 小学生（3年生375名・6年生459名）834名、
中学生451名、高校生440名

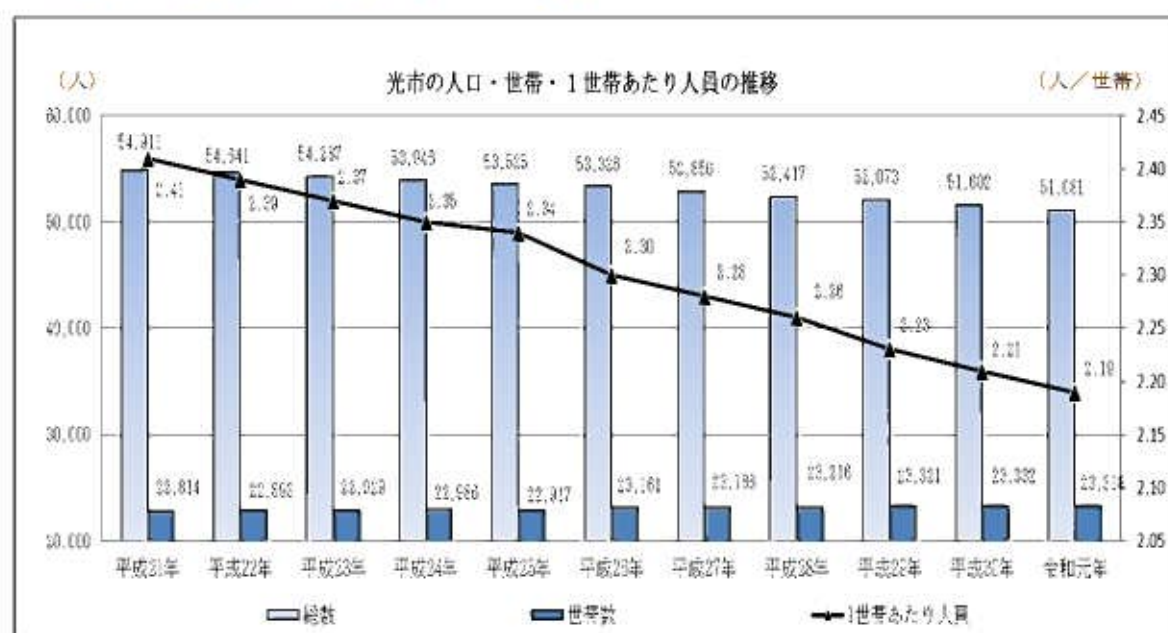
（4）中間評価報告書の作成：令和3年3月報告

第2章 光市の現状（計画策定後の推移等）

1 人口等の状況

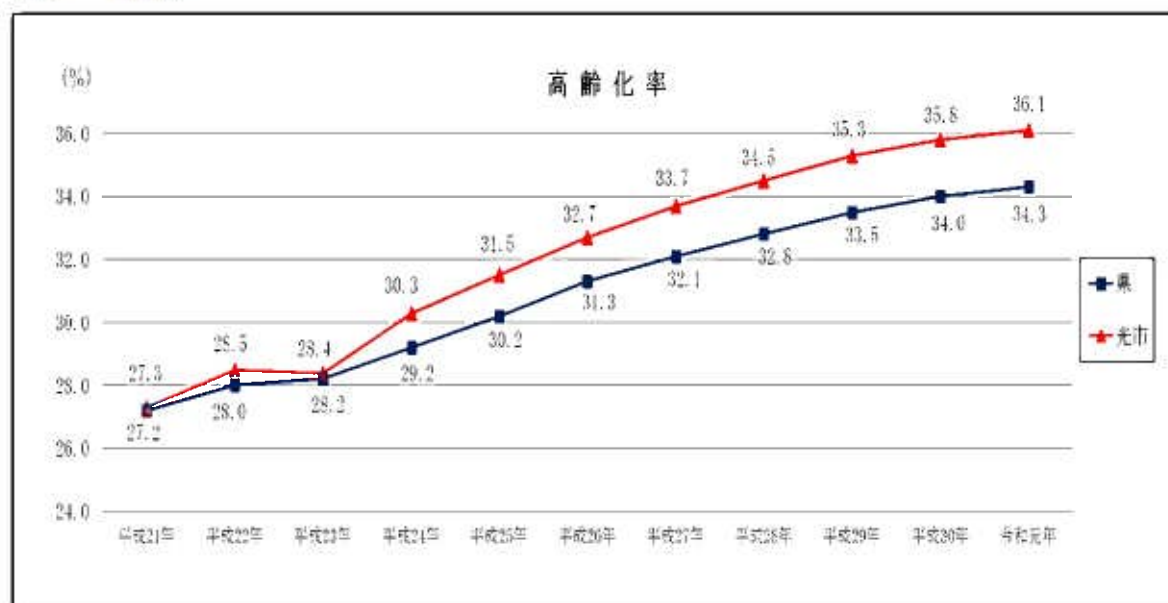
(1) 人口・世帯の推移

人口は減少傾向にあり、令和元年に 51,081 人（平成 25 年に 53,525 人）となっています。世帯数は若干増加傾向にありますが、1 世帯あたりの人員は減少傾向が続いており、核家族化がさらに進んでいます。



(2) 高齢化率

高齢化率は、平成 24 年に 30% を突破し、令和元年に 36.1% と急速に高齢化が進んでいます。



(1) (2) 出典：山口県人口移動統計調査・光市統計書

(3) 出生・死亡の推移

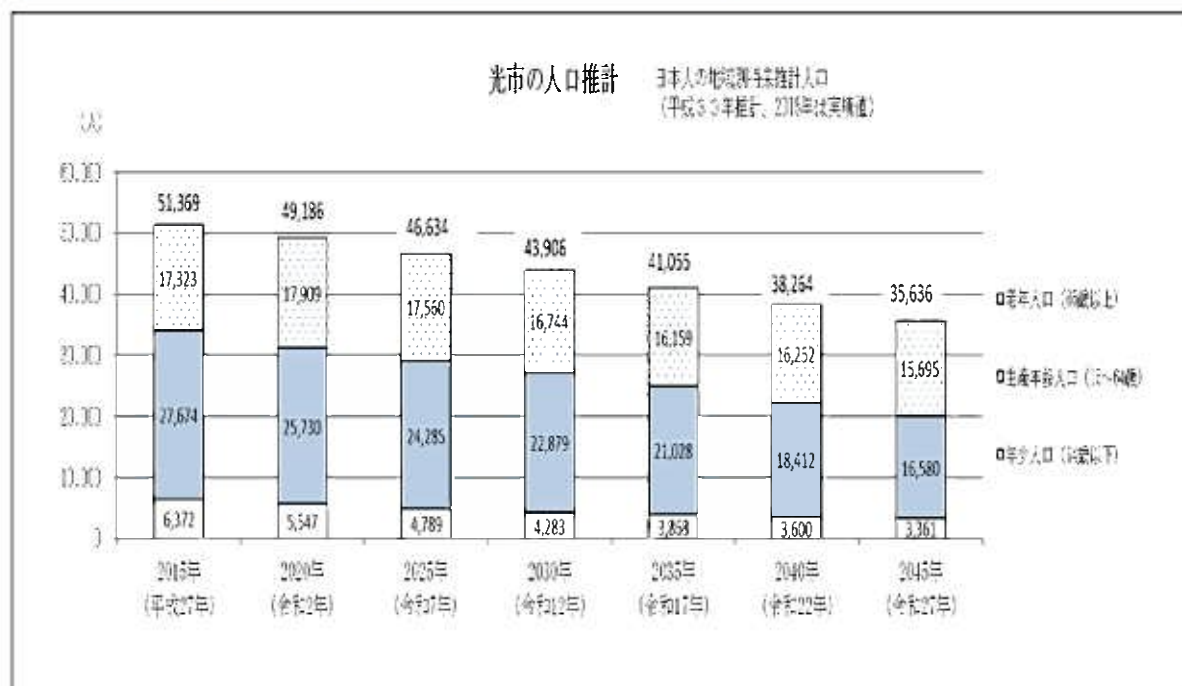
出生は、平成22年に400人を下回り、その後も減少傾向にあります。



出典：山口県人口移動統計調査

(4) 推計人口

人口は減少し、2035（令和17）年には41,055人程度（平成25年時点では41,640人程度）になると予測され、少子高齢化は進んでいきます。



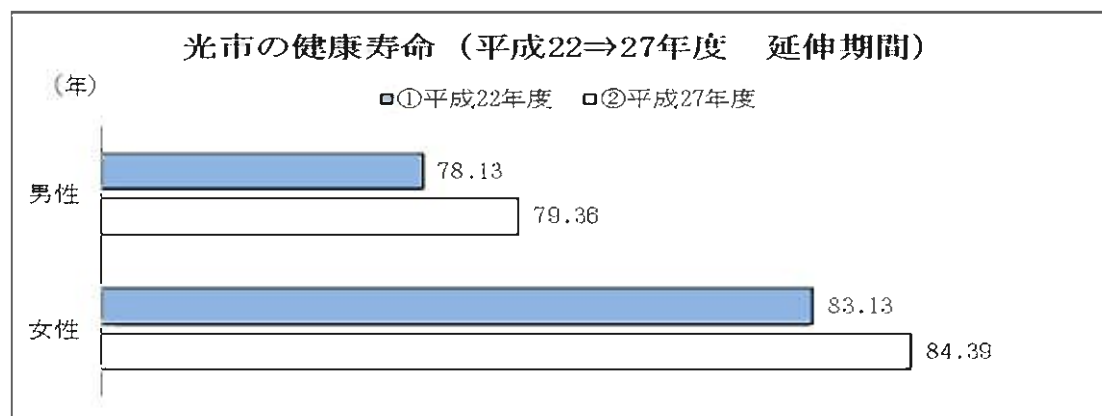
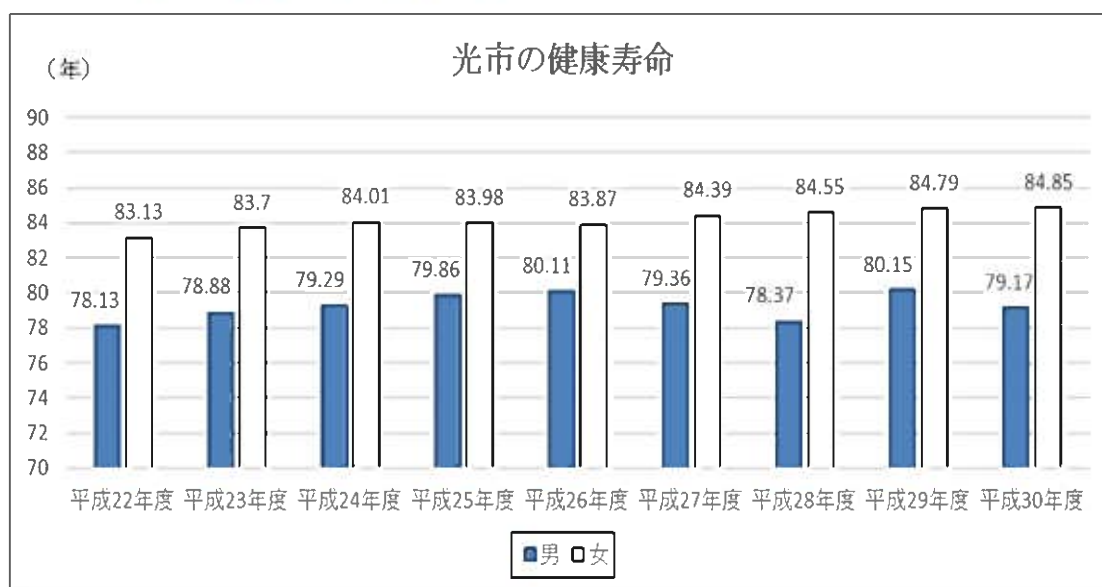
出典：国立社会保障・人口問題研究所

2 健康を取り巻く状況

(1) 健康寿命

光市の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、平成30年度男性79.17年、女性84.85年と近年延伸傾向にあり、平成22年度から平成27年度の5年間で、男性1.23年、女性1.26年延伸しています。

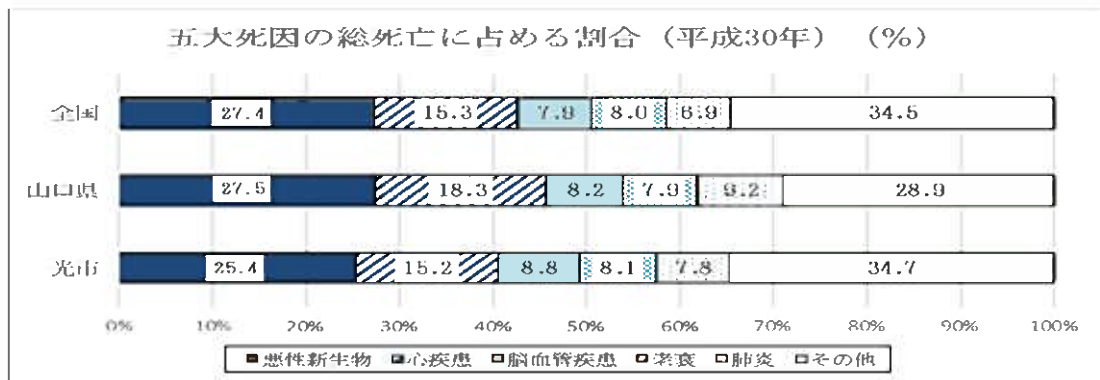
※延伸期間算出は、5年に1回の国勢調査年（国勢調査を反映した生命表を使用し、より精度が高い）としています。



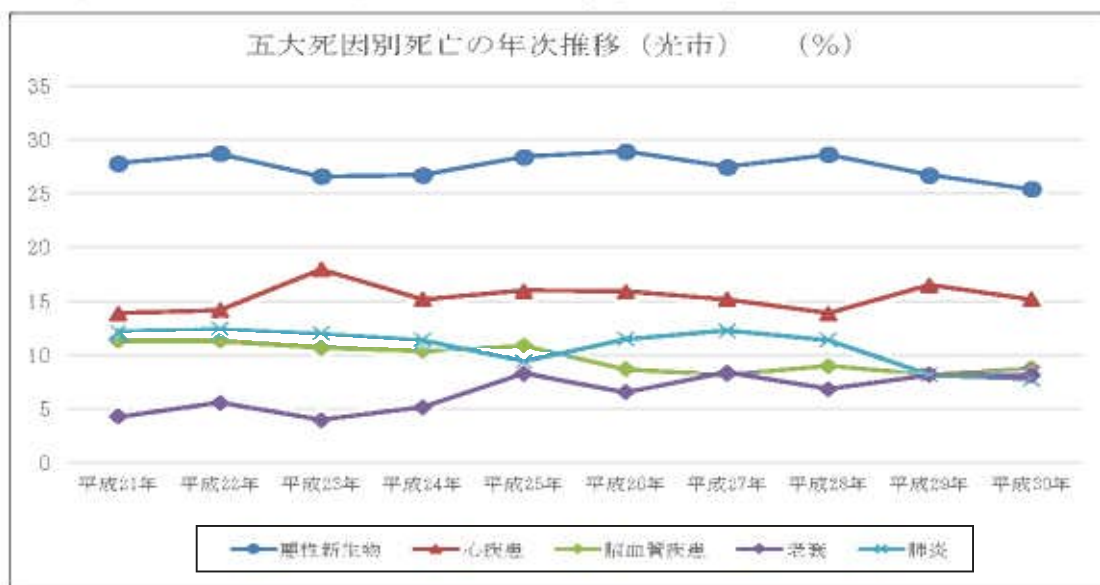
出典：山口県健康福祉部健康増進課

(2) 保健統計からみた状況（死亡原因）

本市の悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患、老衰、肺炎の五大死因による死亡は、全国・山口県と同様に死亡全体の約7割を占めています。なかでも、約25%が悪性新生物と最も高く、続いて心疾患、脳血管疾患と、生活習慣病による死亡割合が高い状況です。



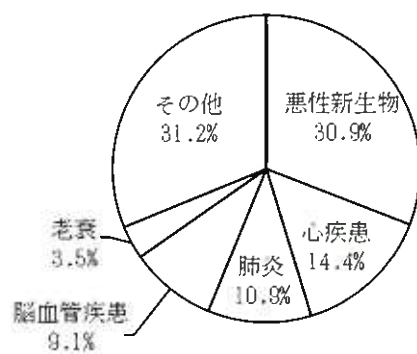
五大死因による死亡の推移では、高い順に悪性新生物、心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患、老衰、肺炎という状況です。第3位が、平成30年度は脳血管疾患ですが、それまでは、肺炎の割合が高い状況でした。



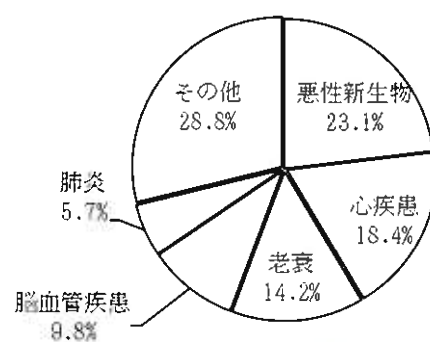
出典：厚生労働省「人口動態統計」、山口県厚生課「保健統計年報」

男女別では、男性の悪性新生物（がん）、肺炎、女性の老衰の割合が高い状況です。

光市の5大死因が占める性別
死亡割合：男（平成30年）



光市の5大死因が占める性別
死亡割合：女（平成30年）



出典：山口県厚生課「保健統計年報」

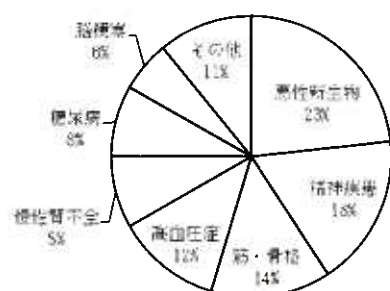
(3) 診療状況（光市国民健康保険）

令和元年度の最大医療資源傷病名による医療費割合では、悪性新生物 31%（平成 25 年度 23%）、精神疾患 18%（平成 25 年度 18%）、筋・骨格 16%（平成 25 年度 14%）となっており、平成 25 年度と比べ、悪性新生物や筋・骨格、糖尿病の割合の増加がみられます。一方で、高血圧症や慢性腎不全、脳梗塞の割合は減少しています。

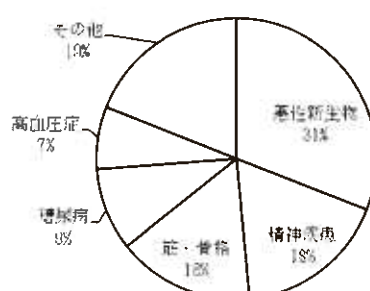
近年の光市の状況は、山口県や同規模保険者、全国と同様の傾向となっています。

※最大医療資源傷病名とは、医療資源をもっとも投入した傷病名のこと

光市の医療費割合（平成25年度）

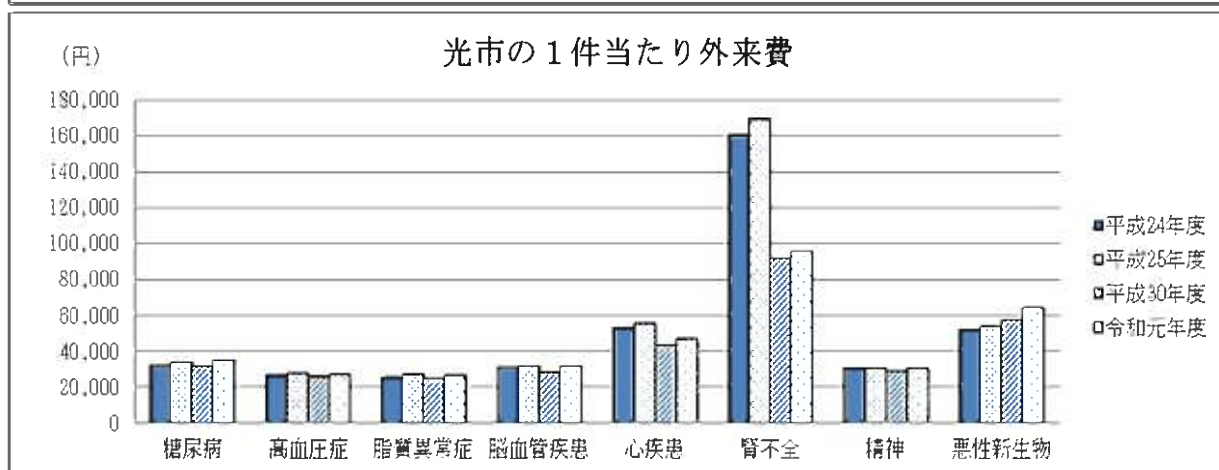
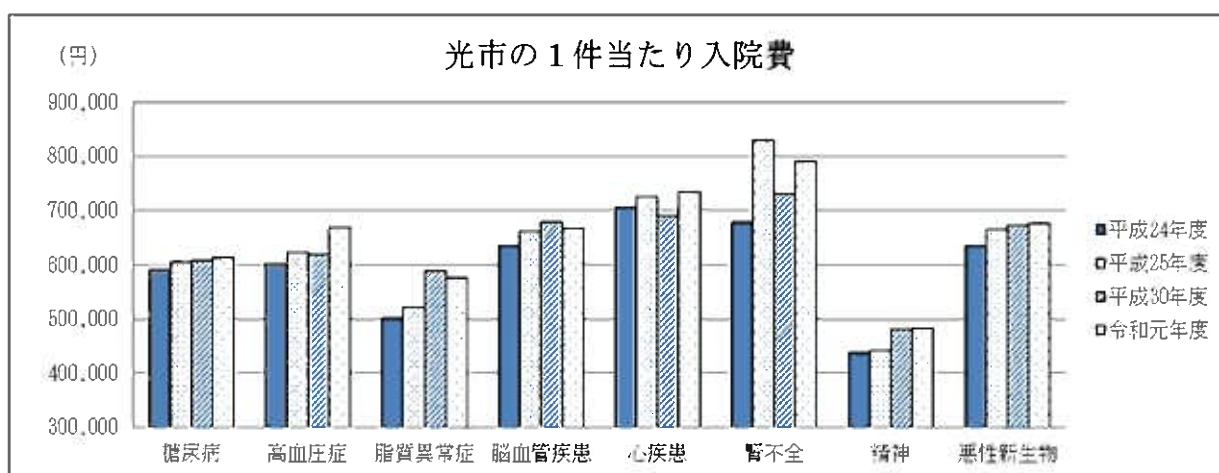


光市の医療費割合（令和元年度）



出典：国保データベース（KDB）

光市国民健康保険での1件当たりの医療費をみると、近年の入院・外来とも腎不全による費用は、約5年前に比べると減額しています。

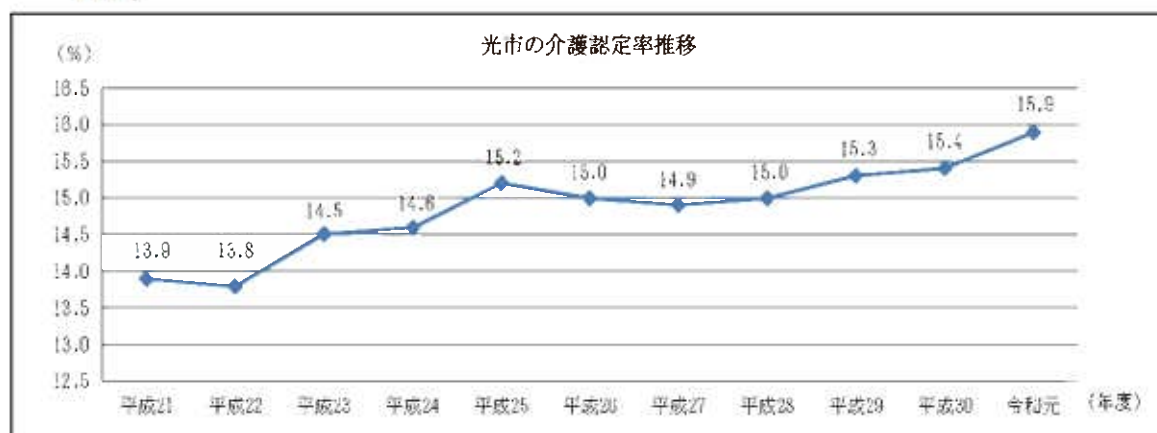


出典：国保データベース（KDB）

(4) 介護保険認定状況

ア 介護保険、要介護（要支援）認定者の状況

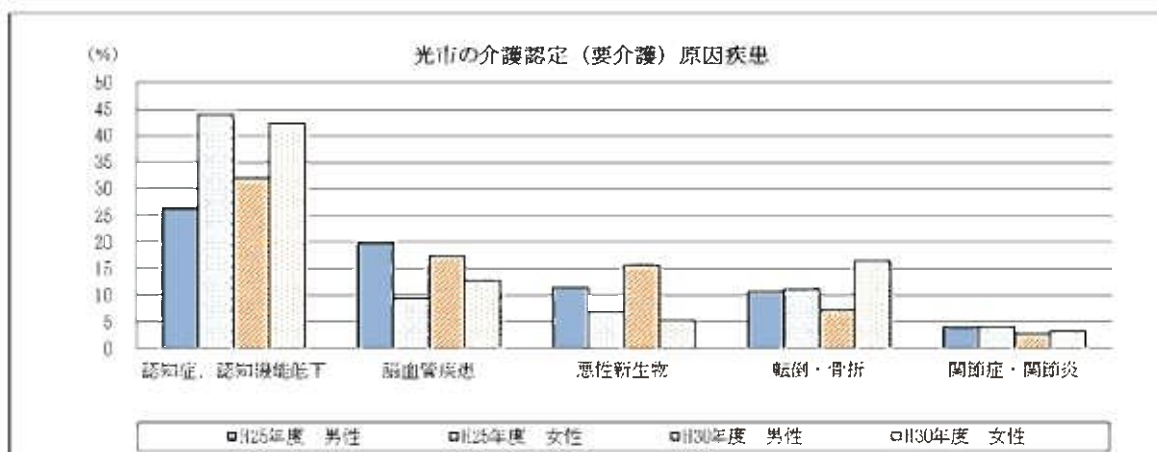
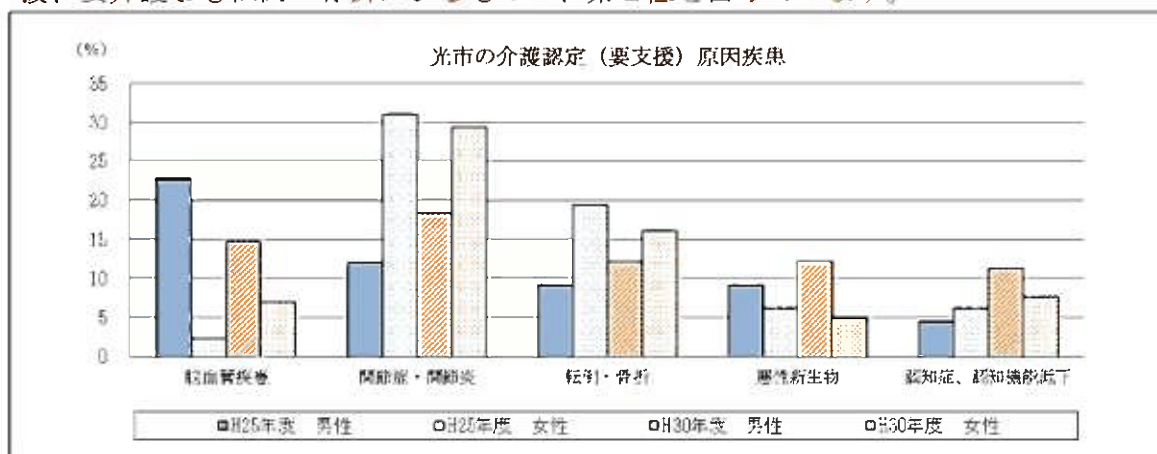
令和元年度の認定率は15.9%と、平成27年度の14.9%以降、増加傾向にあります。



出典：光市高齢者支援課

イ 原因疾患

平成30年度は、平成25年度と同様に、女性では要支援になる原因疾患の3割が関節炎・関節症であり、要介護になる原因疾患の1位が男女とも「認知症、認知機能低下」となっており、女性は4割を占めています。また、女性では、要支援、要介護とも転倒・骨折によるものが、第2位を占めています。



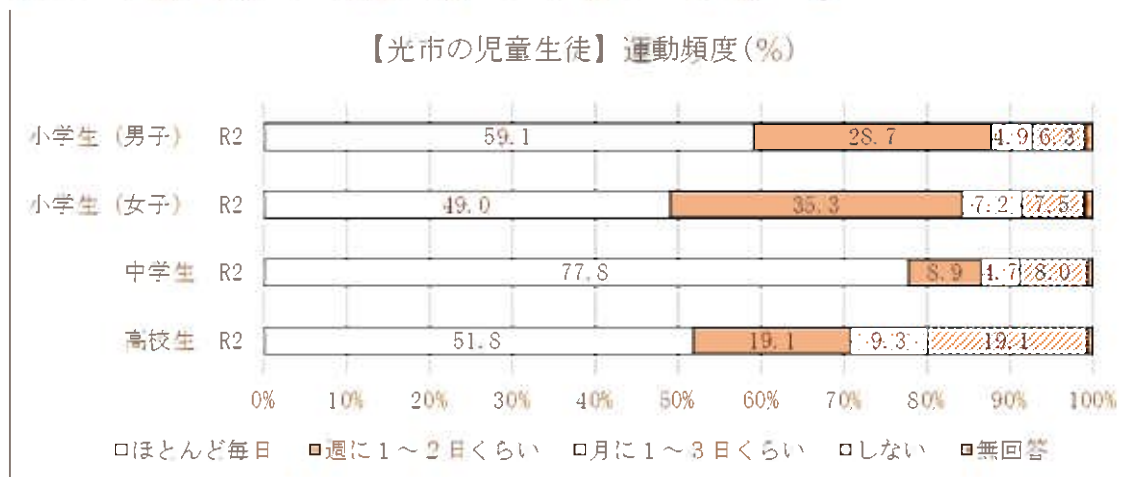
※ 男女上位を計上

出典：光市介護保険審査会

3 運動について

(1) 児童生徒の運動習慣

令和2年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「運動やスポーツをどのくらいしていますか（学校の体育の授業をのぞきます）」という設問に「ほとんど毎日（週に3日以上）」と回答の児童の割合は、小学生男子59.1%、小学生女子49.0%という状況です。また、学年別では、小学3年生49.9%、小学6年生57.3%、中学生77.8%、高校生51.8%という状況です。



(2) 児童生徒の体力状況

全体的には、中学生の持久走や小中学生の20mシャトルランで高い記録を計測し、全国・山口県平均ともに上回っており、全身持久力が優れています。また、小学生は、男女ともに5年生が平成25年度と比べ改善している項目が多く、中学生は、2年3年の女子が全国・山口県平均ともに上回っている項目が多い状況です。一方で、握力や長座位前屈などの筋力や柔軟性に課題がみられます。

	小学 男子		中学 男子			小学 女子		中学 女子		
	5年	6年	1年	2年	3年	5年	6年	1年	2年	3年
握力	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
上体起こし	×	○	×	○	○	○	×	×	◎	◎
長座位前屈	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×
反復横とび	○	×	×	○	×	×	×	×	◎	◎
持久走	△	△	×	○	○	△	△	○	◎	◎
20mシャトルラン	○	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
50m走	○	○	×	○	×	×	◎	○	×	○
立ち幅跳び	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
ハンドボール投げ	○	×	×	○	×	○	○	○	◎	×

◎全国、県平均に比べ上回る又は同じ
○どちらか一方で上回る又は同じ
×全国、県平均に比べ下回る

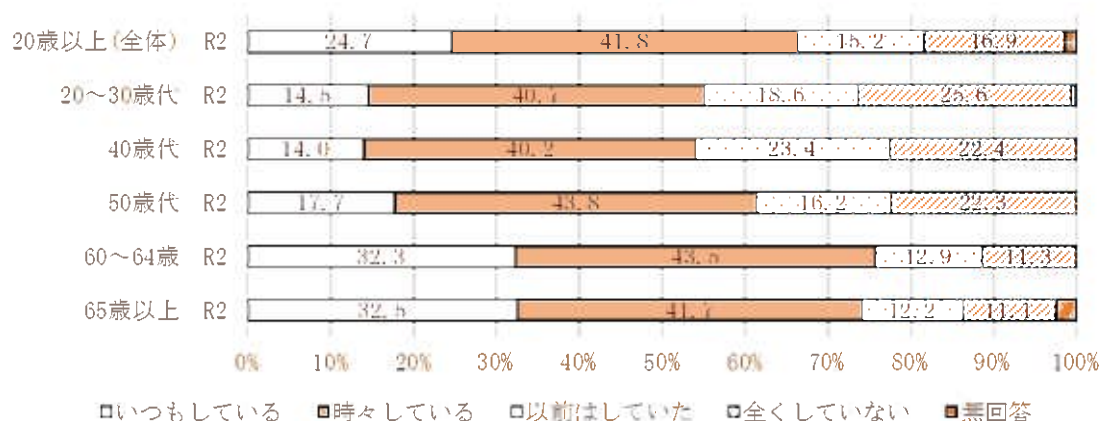
平成25年度と比べて改善（例：×⇒○か◎）
平成25年度と比べて悪化（例：◎⇒○か×）

出典：令和元年度光市定期健康診断及び新体力テスト統計
(光市教育研究会、光市学校保健会)

(3) 成人の運動習慣

令和2年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、「日頃から、日常生活の中で、健康を維持・増進するために意識的に身体を動かすなどの運動をしていますか」という設問に「いつもしている」「時々している」と回答の市民（20歳以上）の割合は66.5%という状況です。また、年代別では、20～30歳代 55.2%、40歳代 54.2%、50歳代 61.5%に比べ、60～64歳 75.8%、65歳以上 74.2%と、20～50歳代に比べ60歳以上の市民の運動習慣割合が高い状況です。

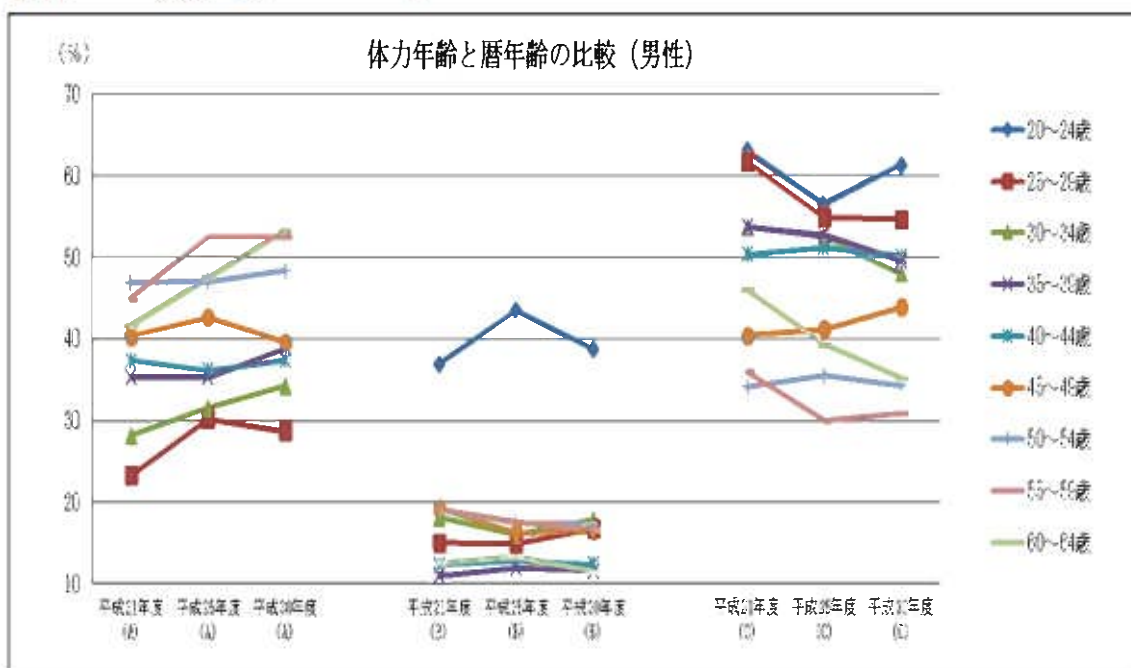
【光市の成人】健康を維持・増進するための運動習慣(%)

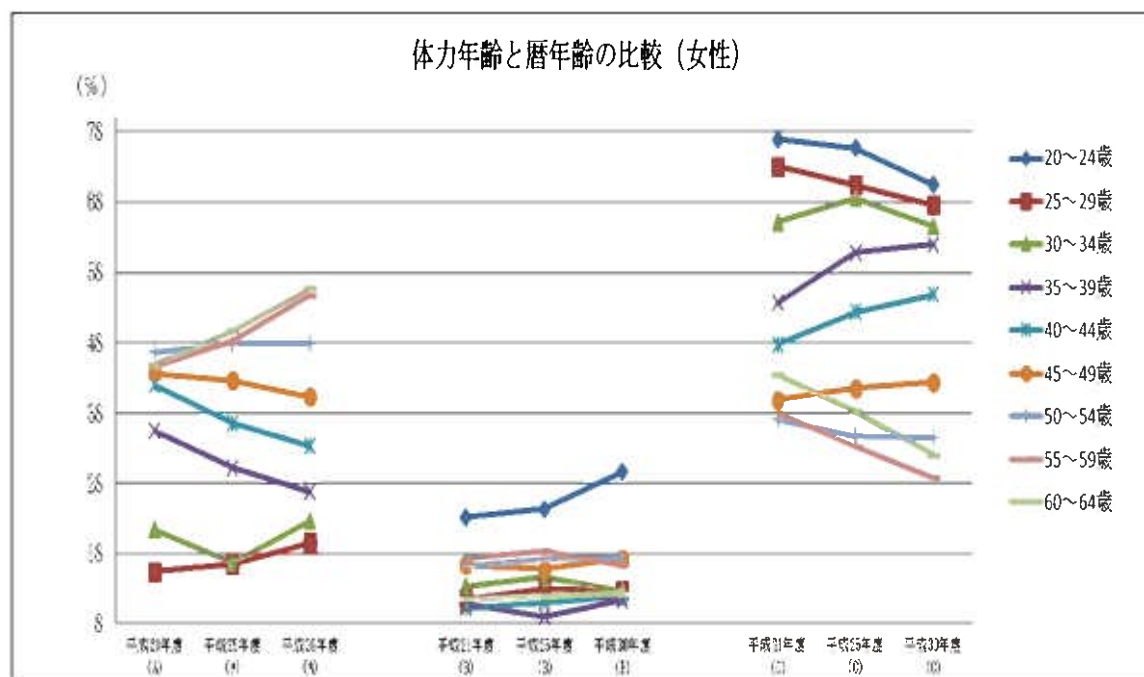


(4) 成人の体力状況

全国的に、男女とも50歳代以上の年代で暦年齢より体力年齢が低下（A）している者の割合が多く、40歳代以上の年代では暦年齢より体力年齢が上回って（B）います。

なかでも、平成21及び25年度に比べ体力が上昇しているのは、男性45～49歳、女性35～49歳の年代以降です。



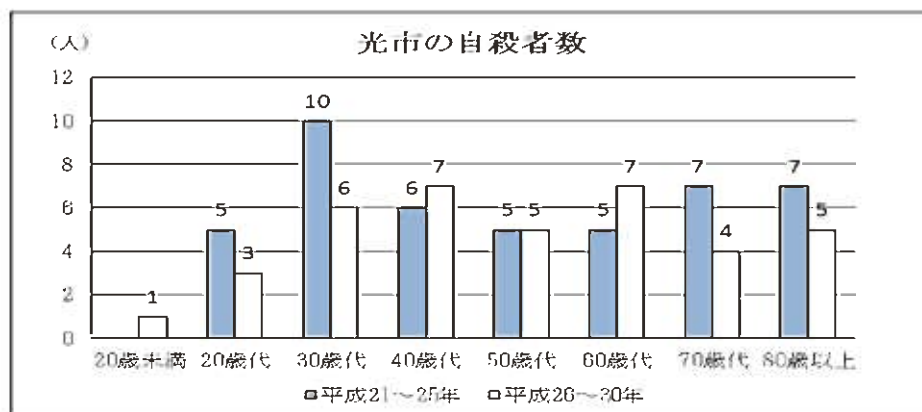


出典：体力・運動能力調査（平成21・25・30年度）
（文部科学省・スポーツ庁）

4 こころの健康について

(1) 自殺者の状況（数及び年代別）

自殺者数を年代別で表すと、平成21～25年（5年間）は30歳代、平成26～30年（5年間）は30・40・60歳代に多い状況です。いずれも性別では男性に多い状況です。

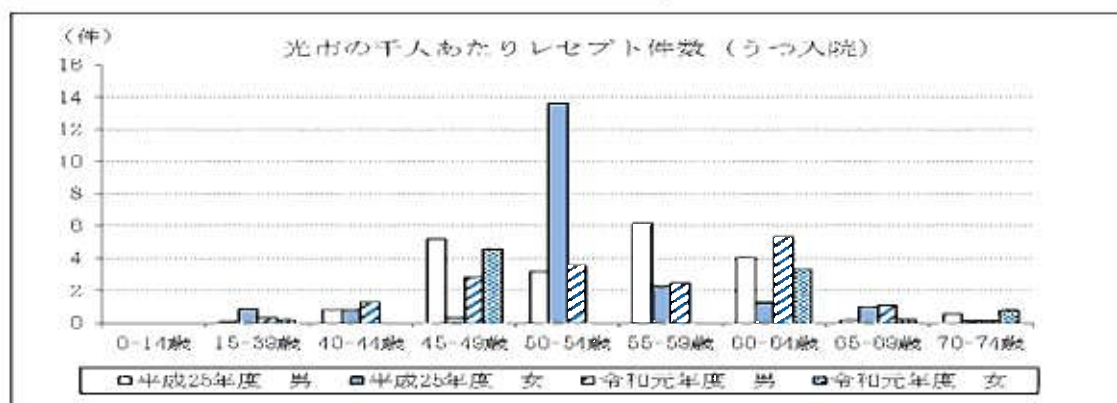
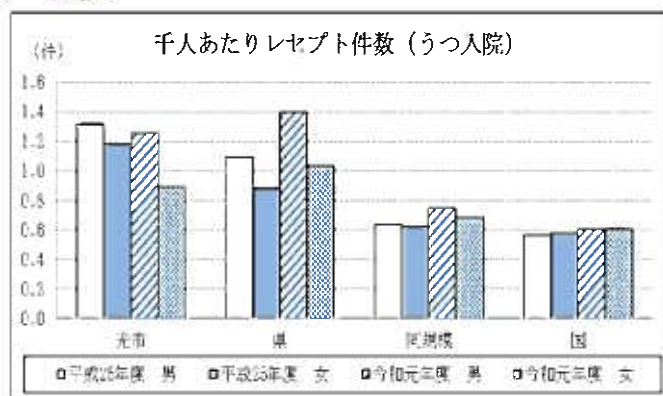


出典：厚生労働省 自殺統計

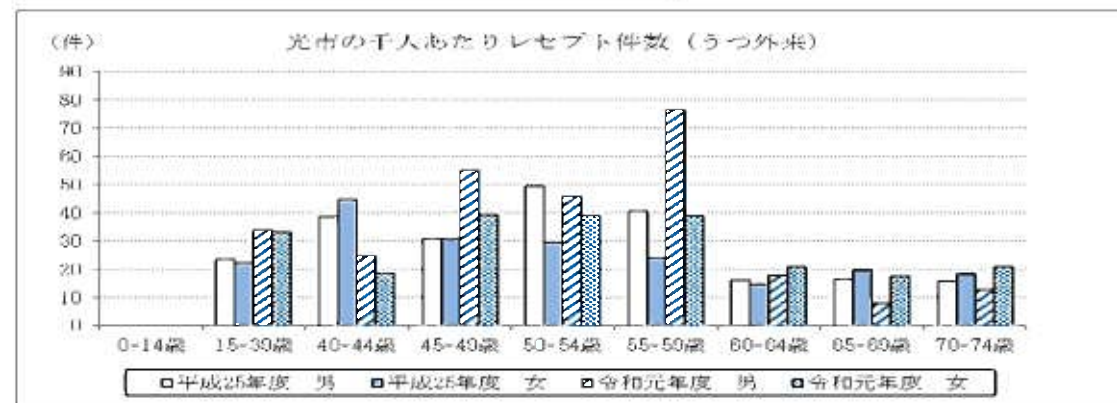
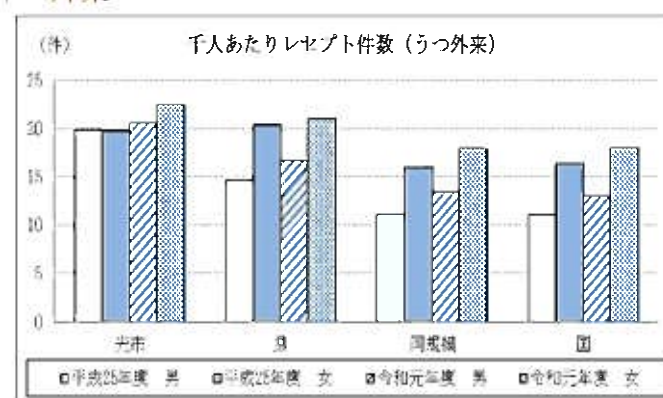
(2) うつ病の診療状況

うつ病で診療する件数が入院では同規模の市町、県、全国に比べ多く、外来では同規模の市町、全国に比べ多い状況です。年代別の入院では、平成25年度に50～54歳の女性が圧倒的に多い状況でしたが、令和元年度は60～64歳の男性及び45～49歳の女性が多い状況です。また、外来では、令和元年度55～59歳の男性を始め、男女とも働く世代に多い状況です。

ア 入院



イ 外来



出典：国保データベース (KDB)

5 栄養・食生活について

(1) 食事摂取（欠食）状況

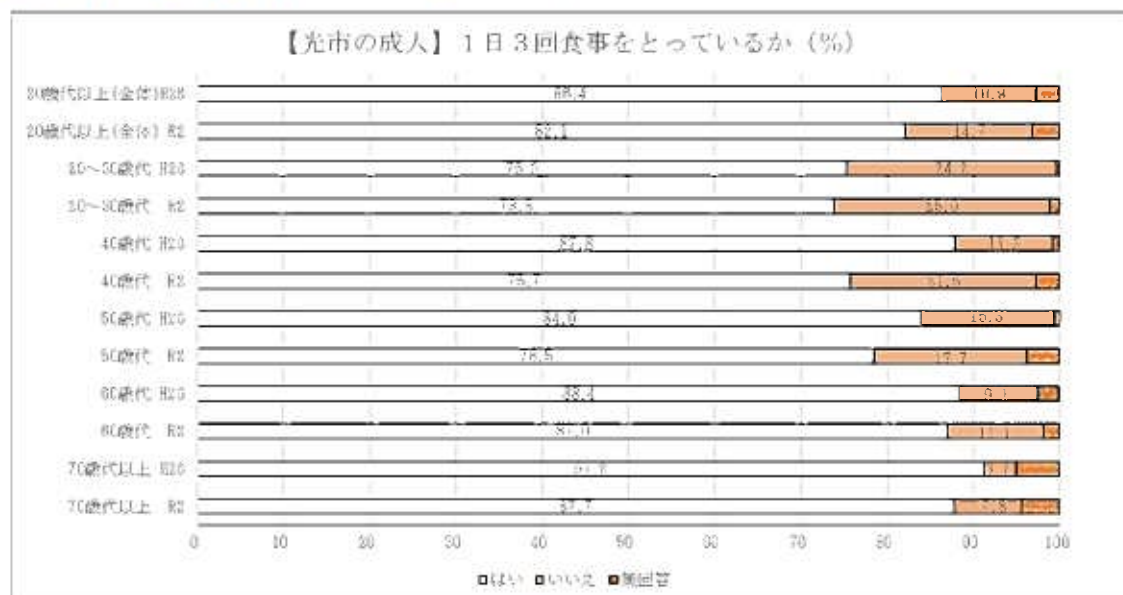
光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「朝食（朝ごはん）は、毎日、食べますか」という設問に「毎日食べる」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生はともに平成 26 年度（小学生 84.7%、中学生 85.2%）から、令和 2 年度（小学生 79.5%、中学生 80.5%）と減少しており、高校生は平成 26 年度（70.9%）から、令和 2 年度（71.8%）と微増しているものの、朝食の欠食がある児童生徒が約 2～3 割いる状況です。

また、朝食（朝ごはん）を食べないことがあると回答の児童生徒の「朝食を食べない理由」として、多い順に、「おなかがすかない・食欲がないから」「食べる時間がないから」「いつも食べないから（食べる習慣がないから）」でした。



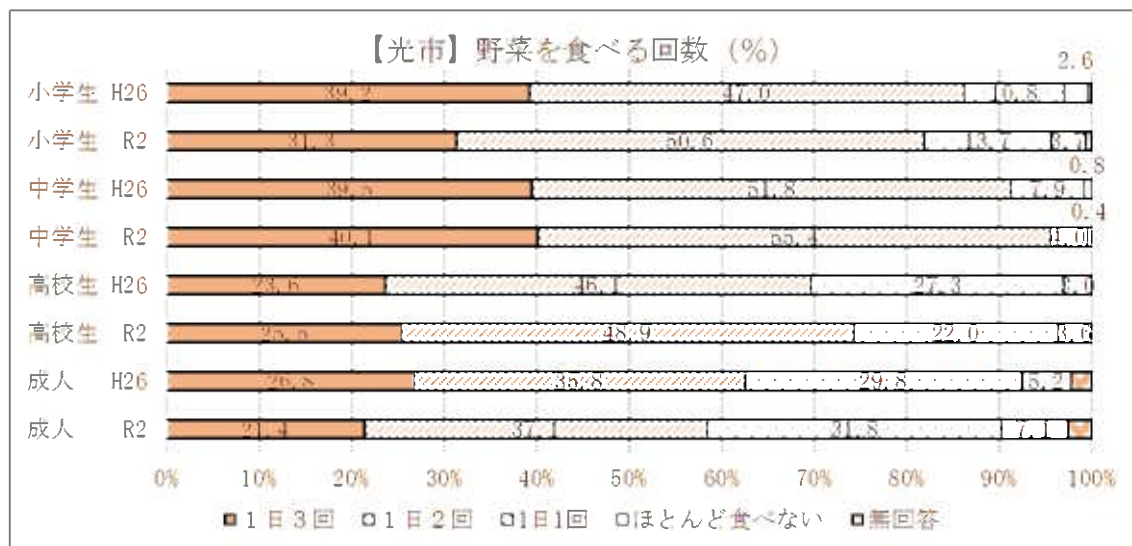
光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、「食事を 1 日 3 回（朝・昼・夜）食べていますか」という設問に「はい」と回答の市民の割合は、平成 26 年度 86.4%から、令和 2 年度 82.1%と減少しており、年代別では 20～50 歳代が 8 割に満たない状況です。

また、1 日 3 回食べていない人の中で、「欠食する（食事をぬく）」のは朝食が最も多く、回答者全体の約 1 割（9.3%）で、「欠食する（食事をぬく）理由」として、多い順に、「食欲がないから」「食事を摂る時間がないから」「自分の体調に合っているから」「食べる習慣がないから」でした。



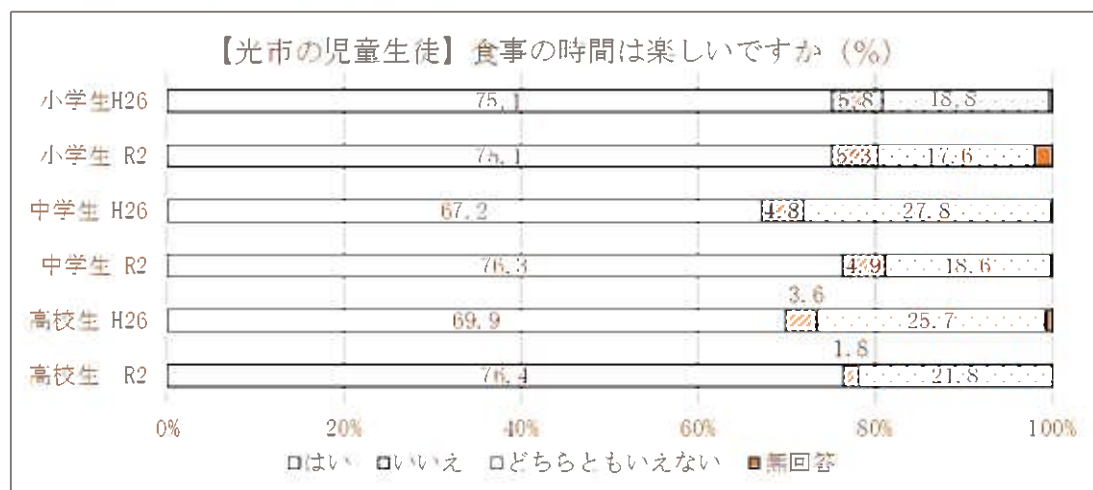
(2) 野菜摂取状況

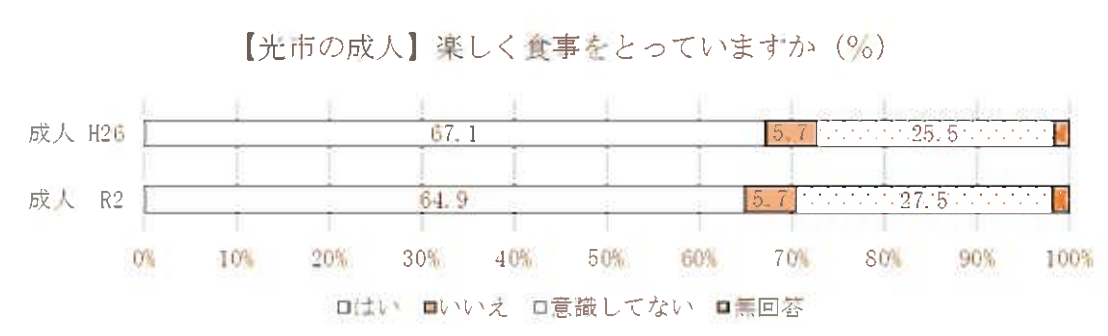
光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、1日3回野菜を食べる市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・成人はともに平成26年度（小学生39.2%、成人26.8%）から、令和2年度（小学生31.3%、成人21.4%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生39.5%、高校生23.6%）から、令和2年度（中学生40.1%、高校生25.5%）と増加している状況です。



(3) 食事時間の楽しさ

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食事の時間は楽しいですか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合について、小学生は平成26年度と令和2年度とも75.1%と変化なく、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生67.2%、高校生69.9%）から、令和2年度（中学生76.3%、高校生76.4%）と増加しています。一方、成人の「あなたは、楽しく食事をとっていますか」という設問に「はい」と回答の割合は、平成26年度67.1%から、令和2年度64.9%と減少しており、「意識していない」と回答の割合は、平成26年度25.5%から、令和2年度27.5%と増加している状況です。





6 光市健康づくり推進計画について

(1) 光市健康づくり推進計画の周知度

令和2年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（20歳以上成人）」の結果、「光市健康づくり推進計画」という「言葉も内容も知っている」市民の割合は13.3%、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」市民の割合は46.9%、「言葉も内容も知らなかった」市民の割合は37.1%という状況です。

(2) 光市朝ごはん部の周知度

令和2年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（20歳以上成人）」の結果、「光市朝ごはん部」という「言葉も内容も知っている」市民の割合は7.6%、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」市民の割合は15.8%、「言葉も内容も知らなかった」市民の割合は73.4%という状況です。

「光市健康づくり推進計画」

“あなたが主演 みんなが笑顔で元気に過ごせるまち 光”を目指し、光市の豊かな自然環境のもと、市民一人ひとりが無理なく健康づくりに取り組み、市民の皆さんがいつまでも笑顔で元気に暮らせるまちづくりを進めています。市民の皆さんが自分の健康状態を知自分に相応しい健康づくりの計画を立てる「まもる（健診・検診、計画）」に加え、自分自身で取り組む3つの行動「うごく（運動）」「たべる（食）」「なごむ（こころの健康、休息）」の4つの要素で健康づくりを推進している。

「光市朝ごはん部」

主に Facebook（フェイスブック）を利用した仮想の部で、光市からの情報発信のみならず、光市民の朝ごはんに関する情報や感想、取り組みなどを集約・発信し、朝ごはんを食べることやバランスのよい食生活の実践など、食を通した健康づくりを支援することを目的として活動している。

7 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について

（１）新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症は、新たなコロナウイルス感染症としてWHOによりCOVID-19と名付けられ、感染症法上の規定の全部又は一部を準用しなければ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるものとして、令和2年2月1日に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）により指定感染症に指定された感染症です。

（２）新型コロナウイルス感染症への対応について

ア 感染症法においては、国が「感染症予防の総合的な推進を図るための基本的な指針」（基本指針）を定め、これに即し、各都道府県が「感染症予防のための施策の実施に関する計画」（予防計画）を定めることとなっており、「感染症に関する情報の収集及び公表」や「健康診断、就業制限及び入院」、「消毒その他の措置」、「医療」等において、国または各都道府県が主体的に対策を実施することとなっています。

イ 本市においては、国、県の行動計画等の内容を踏まえ、「光市新型インフルエンザ等対策行動計画」を参考に、「感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護する」及び「市民生活及び市民経済に及ぼす影響が最小となるようにする」という目的を達成するために、(1) 実施体制、(2) 情報提供・共有、(3) まん延防止、(4) 予防接種、(5) 医療、(6) 市民生活及び市民経済の安定確保の6項目について、発生段階に応じて必要な対応を図ることとしています。

ウ 現状の対応では、「新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、各部署が定められた役割を果たすとともに、通常業務についても、業務継続計画等に基づき、市民サービスに支障をきたすことがないように対応しています。また、今後も、市内一丸となって業務の優先順位に基づき、感染拡大防止に努めるとともに、市民サービスの維持に努めていきます。

（３）新型コロナウイルス感染症が「健康づくり」に及ぼす影響について

新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、健康づくりに資する事業や研修会、イベント等の中止や延期、縮小をはじめ、自粛生活の中での身体活動量や交流の減少、生活習慣病健診やがん検診、乳幼児健診等の受診控え、医療機関への受診控えなど、食生活・運動・歯と口の健康・こころの健康など、健康づくりの推進に重大な影響を及ぼしています。

<心配される状況>

- ・自粛生活・閉じこもりがもたらす身体活動量の低下、交流の低下に伴う影響
- ・不安やストレスの増大（コロナへの不安、経済面からの不安、生活変化に対するストレス等）

第3章 これまでの取り組み状況

1 光 スマイル ライフ プロジェクト（光市健康応援プロジェクト）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
★プラスアップ作戦		「健康プラスアップ作戦リーフレット」作成、市広報に折込・全戸配布、各コミュニティセンター設置、市ホームページ掲載等	リーフレットを活用した啓発（出前講座やホームページ等）	継続実施	継続実施	継続実施
★スマイルチャレンジ事業 →キーワード『継続』『ともに』						
ま も る	セルフチェック 応援事業	健康の自己管理ができる市民の増加をめざし、継続的に健康づくりに取り組むサンプルデータ（一定期間、体重等を毎日測定・記録）を取得、具体的な実施方法等について検討。	健康管理を自ら習慣化できる市民の増加をめざし、そのきっかけとなる継続を支援する本市オリジナル健康記録帳の作成に向け、100名の協力を得て取り組んだ。	昨年度に引き続き、本市オリジナル健康記録帳の作成に向け、職場 de 体力アップ応援事業参加者 104名の協力を得て、意見集約等に取り組んだ。	昨年度の意見集約等をふまえた本市オリジナル健康記録帳を作成し、今年度食な de 体力アップ応援事業で活用するなど、普及に取り組んだ。 作成部数：初回3か月分記録用 2,000部、継続5か月分記録用 1,000部 配付実績：初回用 367部、継続用 47部	・光市オリジナル健康記録帳の普及啓発（継続実施） ・既存の光のあるくロードウォーキングラリーや今年度増刷する「ひかり健康・環境・観光ウォーキングマップ」の推進啓発
	健康ポイント事業	・光健康マイレージ事業：県「やまぐち健康マイレージ事業」と協働して開始。（健（検）診の受診、健康に関する教室やイベントへの参加等の主体的な取り組みにポイントを付与し、一定ポイントに達すると申請により、県内の協力店舗で特典やサービスを受けることができる特典カードを交付） ・トリプル検診お得事業：一部要件の緩和	継続実施 ※光健康マイレージ事業：市内16店舗、県内全178店舗が協力店として登録、本市では402件の特典カードを発行。	・光健康マイレージ事業：継続実施 ※市内22店舗、県内全202店舗が協力店として登録、本市では223件の特典カードを発行。 ※トリプル検診お得事業：個別がん検診を3つ以上受けた方に発行していた1,000円割引券受付は終了、市内協力店舗で利用できる「お得券」は光健康マイレージ事業と統合。	光健康マイレージ事業：継続実施 ※市内23店舗（新規登録3店舗）、県内全217店舗が協力店として登録、本市では104件の特典カードを発行。	光健康マイレージ事業：継続実施
	歯周病チェック事業	—	—	ふしめ歯周病検診を受診した際、歯科医療機関においてセルフケア用品とリーフレット等を配布し、定期的な歯科受診と自宅でのセルフケアを促した。 ※検診受診者 151名	継続実施 ※検診受診者 145名	継続実施
う ご く	仲間 de 体力アップ事業 （平成28・29年度）	「光のあるくロードウォーキングラリー」のチーム編として、仲間で声かけ誘い合うことで、運動習慣づくりの動機付け及び継続性を高めることを目的に実施。（市内通勤・通学者、1チーム2名以上のグループで3か月間取り組み、合計歩数・平均歩数・平均体重減少量の3部門で競った）※参加者数22チーム88名	合計歩数・平均歩数・チーム人数の3部門に部門を一部変更し、10月～1月の3か月間、平成28年度に引き続いて継続実施した。 ※参加者数27チーム96名。	「3か月間 歩数の記録にチャレンジ！」として、市内事業所等職場内1チーム2名以上のグループで登録、歩くことを意識し、毎日の生活での歩数等を記録する取り組みを実施し、グループで平均歩数を競った。 ※市内12事業所、26チーム104名参加（7月17日～10月17日実施）	継続実施 ※市内20事業所、39チーム178名参加（9月17日～12月17日実施）	—
	職場 de 体力アップ応援事業（平成30・令和元年度）					
	光のあるくロードウォーキングラリー	ウォーキングの啓発として、「光のあるくロードウォーキングマップ」（地図上に歩数を記録し、目標を立てて全国を旅するもの）を使ったウォーキングラリー参加者を平成18年度から引き続き募集した。新規26名登録、平成18年度からの累計登録者数679名。	継続実施 ※光のあるくロードウォーキングラリー新規23名登録、累計登録者数701名	継続実施 ※光のあるくロードウォーキングラリー新規13名登録、累計登録者数714名、地図上での日本1周踏破者累計115名	継続実施 ※光のあるくロードウォーキングラリー新規85名登録、累計登録者数799名、地図上での日本1周踏破者累計125名	継続実施 ・【再掲】既存の光のあるくロードウォーキングラリーや今年度増刷する「ひかり健康・環境・観光ウォーキングマップ」の推進啓発

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込)
た べ る	塩分チェック応援事業	汁物の塩分摂取状況等を確認し、理想の塩分摂取について理解を深めるとともに、食べることの始まりとなる乳幼児の保護者への薄味走着及び児の味覚形成、家族の健康づくりの支援を行うため開始。 ※離乳食教室において実施：希望者の持参した汁物の塩分測定及びアンケート調査、塩分濃度の異なるだし汁の飲み比べを実施し、塩分適正量を確認。	継続実施 その他、健康教室や出前講座、特定保健指導参加者が持参した汁物の塩分測定を実施した。 ※離乳食教室 6 回の参加者：持参された家庭の汁物の塩分濃度測定 32 人、塩分異なるだし汁の飲み比べ 99 人、振り返りアンケート 76 人、その他、健康教室等の参加者：汁物塩分濃度測定延べ 162 人実施。	継続実施 ※離乳食教室 6 回の参加者：持参された家庭の汁物の塩分濃度測定 72 人、塩分の異なるだし汁の飲み比べ 130 人、振り返りアンケート 124 人、その他、健康教室等の参加者：家庭の汁物の塩分濃度測定延べ 127 人実施。	継続実施 ※離乳食教室 6 回の参加者：持参された家庭の汁物の塩分濃度測定 64 人、塩分の異なるだし汁の飲み比べ 104 人、振り返りアンケート 99 人、その他、健康教室等の参加者：家庭の汁物の塩分濃度測定延べ 93 人実施。	継続実施
	光の恵みいただきます事業	おすすめの旬の食材及びレシピを紹介し、地産地消の推進を図るとともに、家庭における実践的な食の選択力・調理力の向上、地産地消の推進を図るため開始。 ※市内の食料品を扱う店舗等（レシピカード設置市内 11 店舗）と連携するとともに、市広報（毎月 25 日号掲載）やホームページの活用、地域や保健事業においてレシピを活用した啓発	継続実施 新たにバランスアップリーフレットを作成し、レシピカードと併せて設置。また、啓発として、保育園、小中学校給食でレシピを取り入れた。	継続実施	—	—
	光の恵み de 朝ごはん事業	—	—	「光市朝ごはん部」という、主にフェイスブックを利用した仮想の部を設立し、①市から情報発信、②部員（市民及び市内に通勤通学者）から「私の朝ごはん」及び「光の朝ごはん」投稿受付、③サポーター（市内事業所・団体・生産者）から「朝ごはんに関するおすすめの情報」の投稿受付を実施。 ※フェイスブック閲覧延べ 23,451 件 ①情報 42 件発信 ②部員 51 件投稿 ③PR 部員 69 件投稿 ④サポーター 2 件投稿	継続実施 ※フェイスブック閲覧延べ 23,221 件 ①情報 43 件発信 ②部員 48 件投稿 ③PR 部員 34 件投稿 ④サポーター 10 件投稿 ・朝ごはん部×朝ヨガ×光虹のスープ 10 月 5 日（土）冠山総合公園 実施 ・光市朝ごはん部子ども部員（小学生）の募集：3 色の食材がそろったバランスよい朝ごはんの写真 34 件投稿 ・モニター品提供の募集：朝ごはんに関する商品やサービスを提供いただける市内の店舗・生産者・団体・事業所等の募集	継続実施 ・光市朝ごはん部子ども部員（中高校生）の登録推進：バランスよい朝ごはんの写真やレシピ募集（780 件応募あり） ・部員合同活動：朝ごはんに実践的に使える時短お役立ちアイテム作り教室 10 月 7 日（水）あいばーく光 実施 ・モニター品提供の募集：朝ごはんに関する商品やサービスを提供いただける市内の店舗・生産者・団体・事業所等の募集（6 件提供あり）
	こころの健康チェック事業	携帯電話やパソコンを使って、気軽にセルフメンタルチェックができ、その結果に基づき相談窓口情報を入手できるシステム「こころの体温計」を導入（平成 25 年度）、継続実施。 ※総アクセス数（4 月～3 月）は 22,116 件（光市民からのアクセス数は 15,320 件）	継続実施 ※総アクセス数（4 月～3 月）は 16,160 件（光市民からのアクセス数は 10,361 件）	継続実施 ※総アクセス数（4 月～3 月）は 14,251 件	継続実施 ※総アクセス数（4 月～3 月）は 13,767 件	継続実施
な ご む	こころの処方箋事業	本の書名や著者がわからないように、オリジナルの薬袋に入れて貸し出す読書療法を取り入れた取組み。 ※3 月の自殺対策強化月間に合わせて、図書館と協働で行い、80 冊の貸出。	継続実施 ※3 月の自殺対策強化月間に合わせて、図書館と協働で行い、72 冊の貸出。	継続実施 ※3 月の自殺対策強化月間に合わせて、図書館と協働で行い、52 冊の貸出。	継続実施 ※3 月の自殺対策強化月間に合わせて、図書館と協働で行い、10 冊の貸出。【今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、月間中の図書館開館は 5 日間】	継続実施

2 施策の展開状況

基本目標1 ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標1 次世代の健康づくりの推進

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
ハイリスク妊産婦への支援の推進	【健康増進課】 母子保健事業（産後ケア）及び健康増進事業（自殺対策） 産後うつ質問票を用いた新生児・乳児訪問 【子ども家庭課】 養育支援訪問の実施	女性のライフサイクルの中で最も精神障害の発生率の高い時期である産後に、産後うつのスクリーニングを実施することで、母親への多面的な精神支援を行い、育児をサポートする。	・産後うつ質問票を用いた相談 341名 （ハイスコア 9.1%）	・産後うつ質問票を用いた相談 295名 （ハイスコア 8.1%）	・産後うつ質問票を用いた相談 304名 （ハイスコア 4.3%）	【健康増進課】 ・産後うつ質問票を用いた相談 292名 （ハイスコア 4.8%） 【子ども家庭課】 ・養育支援訪問の実施 保健師訪問363回、臨床心理士訪問2回	【健康増進課】 ・産後うつ質問票を用いた相談の実施 【子ども家庭課】 ・養育支援訪問の実施	
妊産婦・乳幼児健康診査の実施	【健康増進課】 母子保健事業 妊産婦・乳幼児健診	母子の健康の維持増進を図るとともに、安心して子どもを産み健やかに育てる体制づくりを目指す。	・妊婦健診（全14回の公費補助：医療機関随時） ・乳児健診（1か月・3か月・7か月・1歳6か月児健康診査：医療機関随時） ・3歳児健康診査（年6回実施） ・年中児（5歳児）発達相談事業	・妊婦健診（全14回の公費補助：医療機関随時） ・乳児健診（1か月・3か月・7か月・1歳6か月児健康診査：医療機関随時） ・3歳児健康診査（年6回実施） ・年中児（5歳児）発達相談事業	・妊婦健診（全14回の公費補助：医療機関随時） ・産婦健診（H30.4.1以降出産の産婦対象） 全2回の公費補助：医療機関にて産後2週間、1か月に実施 ・乳児健診（1か月・3か月・7か月・1歳6か月児健康診査：医療機関随時） ・3歳児健康診査（年6回実施） ・年中児（5歳児）発達相談事業	・妊婦健診（全14回の公費補助：医療機関にて産後2週間、1か月に実施） ・乳児健診（1か月・3か月・7か月・1歳6か月児健康診査：医療機関随時） ・3歳児健康診査（年6回実施） ・年中児（5歳児）発達相談事業	・妊婦健診（全14回の公費補助：医療機関にて産後2週間、1か月に実施） ・乳児健診（1か月・3か月・7か月・1歳6か月児健康診査：医療機関随時） ・3歳児健康診査（年6回実施） ・年中児（5歳児）相談事業	光市医師会、光市歯科医師会、光市母子保健推進協議会
こにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）の実施	【健康増進課】 母子保健事業 こにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）	母子の健康の維持増進を図るとともに、安心して子どもを産み健やかに育てる体制づくりを目指す。	訪問件数354件（訪問率100%）	訪問件数322件（訪問率100%）	訪問件数306件（訪問率100%）	訪問件数305件（訪問率100%）	継続実施	光市母子保健推進協議会
育児相談・1歳児お誕生相談・2歳児お誕生相談の実施	【健康増進課】 母子保健事業 育児相談・1歳児及び2歳児お誕生相談	母子の健康の維持増進を図るとともに、安心して子どもを産み健やかに育てる体制づくりを目指す。	・育児相談・1歳児及び2歳児お誕生相談（1歳児年29回・2歳児年12回実施）	・育児相談・1歳児及び2歳児お誕生相談（1歳児年39回・2歳児年13回実施）	・育児相談・1歳児及び2歳児お誕生相談（あいぱーく光及びコミュニティセンターで年35回実施）	・1歳児及び2歳児お誕生相談（あいぱーく光で年11回実施、窓口で随時受付） ※令和元年度より変更 ・育児相談（あいぱーく光で年11回実施及び窓口で随時受付）	・1歳児及び2歳児お誕生相談（あいぱーく光で年18回実施） ・育児相談（あいぱーく光で年10回実施及び窓口で随時受付）	光市母子保健推進協議会、歯科衛生士会光支部
食育子育て支援事業（幼稚園・保育所・認定こども園）の実施	【子ども家庭課】 食育子育て支援事業 ①食育活動への支援 ②食育指導者研修会 ③食育情報の発信	乳幼児期において必要な食の知識の普及や、実体験を通じた独自の取組みの展開を支援していくことで、子どもの健やかな成長に寄与することを目指す。	・市内幼稚園、保育所の食育活動への事業費補助（保育所10、幼稚園5） ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への事業費補助（保育所11、幼稚園5） ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会 中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため） ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	市内保育所・幼稚園
子育て講座の開催	【文化・社会教育課】 社会教育推進事業 少年少女セミナー 子育て講座	発達段階に応じた講座の実施により、子育て不安の解消や生きがいづくりを図る。 また、講座に食に関するテーマを取り入れ、健康づくりの啓発を図る。	少年少女セミナー 計5回 学童期子育て講座 計8回 思春期子育て講座 計3回 ※高年者生きがいセミナー、ウイメンズセミナーは、地域づくり推進課へ	少年少女チャレンジセミナー 計5回 学童期子育て講座 計9回 思春期子育て講座 計3回	少年少女チャレンジセミナー 計5回 学童期子育て講座 計9回 思春期子育て講座 計3回	少年少女チャレンジセミナー 計5回 学童期子育て講座 計9回 思春期子育て講座 計3回	少年少女チャレンジセミナー 計4回 ※当初5回を予定。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、第1回を中止。 学童期子育て講座 計8回 思春期子育て講座 計5回	
『早寝早起き朝ごはん運動』の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進	「光の恵みde朝ごはん事業」において、光市朝ごはん部員を募集し、生活リズムの確立と朝食摂取の重要性と実践の啓発を図る。	—	—	—	・光市朝ごはん部子ども部員の募集を小学生を対象に実施 34名の児童が参加	・光市朝ごはん部子ども部員の募集を中高校生を中心に実施 780名の児童生徒が参加	市内小中学校、高等学校、学校教育課

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
子どもの体力・スポーツ活動の推進	【体育課】 体育活動推進事業 スポーツ関係団体との連携により、市民のスポーツ活動に対する環境・体制づくりを推進する。	各種スポーツ行事や大会等を開催することで、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりかたを通じて、生涯スポーツの推進や市民の交流と地域の活性化を図る。 また、スポーツ活動に関わることで、ストレスの軽減や解消を図り、心身両面にわたる健康づくりを推進する。	・市民体育大会 1,438人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,165人 ・光市駅伝競走大会 中止 ・サンセットビーチランHikari 109人 ・梅まつりコバルトウォーク 485人 ・藤公の里ふれあいウォーク 59人 ・出前講座 161人 ・各競技団体による大会 36,096人 ・スポーツ振興事業 8,770人	・市民体育大会 1,547人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,485人 ・光市駅伝競走大会 912人 ・サンセットビーチランHikari 100人 ・梅まつりコバルトウォーク 407人 ・藤公の里ふれあいウォーク 102人 ・出前講座 373人 ・各競技団体による大会 36,491人 ・スポーツ振興事業 9,564人	・市民体育大会 1,632人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,574人 ・光市駅伝競走大会 930人 ・ビーチランHikari 154人 ・梅まつりコバルトウォーク 438人 ・藤公の里ふれあいウォーク 64人 ・出前講座 275人 ・各競技団体による大会 35,523人 ・スポーツ振興事業 9,332人	・市民体育大会 1,496人 ・光市小学生スポーツ交流大会 682人 ・光市駅伝競走大会 中止 ・ビーチランHikari 180人 ・梅まつりコバルトウォーク 432人 ・出前講座 375人 ・各競技団体による大会 33,288人 ・スポーツ振興事業 8,047人	・市民体育大会（競技スポーツの部） 784人 ・出前講座 23人 ・各競技団体による大会 15,000人 ・スポーツ振興事業 5,000人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・市民体育大会（本大会） ・光市小学生駅伝競走大会 ・光市駅伝競走大会 ・ビーチランHikari ・梅まつりコバルトウォーク	・光市スポーツ推進委員協議会 ・光市体育協会 ・（公財）光市スポーツ振興会 ・光市スポーツ少年団 ・NPO法人ひかりクラブ
	【子ども家庭課】 パパの子育て応援事業 パパ出番ですよ！事業 ・親子体操 ・親子クッキング ・親子工作	父と子、家族のふれあいの機会を増やし、子育ての楽しさを実感してもらうことを目的とする。	・親子体操講座、親子クッキング、親子工作を計4回実施。	・親子体操講座、親子クッキング、親子工作、親子写真講座の計4回実施。	・親子体操講座、親子クッキング、親子工作、親子写真講座の計4回実施。	・親子工作教室、親子鉄棒教室、親子料理教室の計3回実施。	・親子体操教室、親子粘土遊び教室の計2回実施。 （新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため料理教室は中止）	子育て支援センター
	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理運営事業 親子運動遊び（なかよし広場）	楽しい遊びを通して、運動機能の発達を促す。	・運動遊びを1回実施。13組27人参加。	・運動遊びを1回実施。12組31人参加。	・運動遊びを1回実施。16組45人参加。	・運動遊びを1回実施。13組27人参加	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	子育て支援センター
	【子ども家庭課】 保育・幼児教育の内容充実及び促進（子どもの体力向上及び運動機能の発達の促進） ①保育及び幼児教育の中で体力向上及び運動機能の発達促進支援 ②運動会実施	子どもの体力向上及び運動機能の発達を促す。	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	市内保育所・幼稚園
防煙教育の推進	【健康増進課】 思春期保健事業・健康増進事業 防煙教育の推進 未成年者の喫煙防止 【子ども家庭課】 未来のパパママ応援事業	煙草の害について正しい知識を習得し、喫煙防止を図る。	①出前健康講座（学校対象） 「ストップ・スモークিং ～未成年の喫煙防止～」 中学校1校（31名） ②市オリジナル防煙啓発リーフレット配布 小学6年・中学3年・高校3年 1,618部	①出前健康講座（学校対象） 「たばこについて考えよう」 中学校1校（39名） ②市オリジナル防煙啓発リーフレット配布 小学6年・中学3年・高校3年 1,670部	①出前健康講座（学校対象） 「たばこについて考えよう」 中学校1校（39名） ②市オリジナル防煙啓発リーフレット配布 小学6年・中学3年・高校3年 1,437部	①出前健康講座（学校対象） 「たばこについて考えよう」 中学校1校（32名）高等学校1校（35名） ②市オリジナル防煙啓発リーフレット配布 小学6年・中学3年・高校3年 1,313部	継続実施 【子ども家庭課】 ・未来のパパママ応援事業において、健康増進課が中学生に配布するリーフレットを活用し、「たばこの害」について説明。	学校教育課
一校一取組み（各校における課題を解決するための取組み）の一層の充実	【学校教育課】 児童生徒の体力向上をめざした授業以外の活動における一校一取組	児童生徒の体力向上の取組を充実するとともに、授業との関連強化や地域と協働した活動への広がりを図る	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と地域との連携 小11校・中5校	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と家庭・地域との連携 ・柔軟性の向上に向けた取組の継続 ・意欲を高める環境整備、情報発信などの実施 小11校・中5校	・各校で体力向上プログラムを作成し、年2回の調査の実施 ・柔軟性向上等の課題に取組の継続 ・各校における課題解決のための、家庭・地域との連携、情報発信 小11校・中5校	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と地域との連携を図った。 ・各校で体力向上プログラムを作成し、年2回の調査を行い、柔軟性向上等の課題に取り組んだ。 ・各校における課題解決のために、意欲を高める環境整備、家庭・地域との連携、情報発信、などの取組を継続的に実施するよう努めた。 小11校・中5校	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と地域との連携を図った。 ・各校で体力向上プログラムを作成し、年2回の調査を行い、柔軟性向上等の課題に取り組んだ。 ・各校における課題解決のために、意欲を高める環境整備、家庭・地域との連携、情報発信、などの取組を継続的に実施するよう努めた。 小11校・中5校	

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
生涯学習セミナー等の開催	【地域づくり推進課】 生涯学習推進事業	生きがいの創出や充実した人生を送ることを目的に60歳以上の高齢者や成人、子育て世代の子どもとその保護者を対象にした講座を開催する。	・ひかり高齢者生きがいセミナー7回開催 参加延べ人数297人 ・ひかりウィメンズセミナー7回開催 参加延べ人数248人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数215人 ・ひかりまなび応援セミナー5回 参加延べ人数123人 ・子育て支援セミナー3回 参加延べ人数106人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数179人 ・ひかりまなび応援セミナー5回 参加延べ人数106人 ・夏休み親子教室2回 参加延べ人数41人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数107人 ・光市史セミナー3回 参加延べ人数97人 ・心を調えるはじめての坐禅教室2回 参加延べ人数55人 ・サポートバンク登録者によるセミナー3回 参加延べ人数73人	・ひかり高齢者生きがいセミナー7回 参加延べ人数265人 ・光市史セミナー3回 参加延べ人数63人 ・サポートバンク登録者によるセミナー3回 参加延べ人数67人	生涯学習センター
子育て支援センター管理運営事業（なかよし広場、パパ出番ですよ！親子体験）の実施	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理運営事業 ①子育て支援員による相談 ②なかよし広場 ③保育出前講座	子育て支援の拠点として、育児不安等についての相談や指導、子育て家庭の交流支援を行う。	・相談286回 ・なかよし広場29回実施 ・保育出前講座6回・356人参加	・相談226回 ・なかよし広場25回実施 ・保育出前講座4回・185人参加	・相談188件 ・なかよし広場25回実施 ・保育出前講座4回・139人参加	・相談256件 ・なかよし広場12回実施	・相談随時 ・なかよし広場実施 （新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、内容や参加者数を変更する。）	子育て支援センター
児童館管理運営事業の実施	【子ども家庭課】 児童館管理運営事業 ①集団的及び個別的な遊びの指導（放課後児童館全育成事業） ②ものづくり体験講座	親子のふれあいやものづくり啓発を図る。	・ものづくり体験講座実施 ①利用状況 乳幼児・延べ585人、児童延べ2,658人 ②ものづくり体験講座 12回実施・115人参加	・ものづくり体験講座実施 ①利用状況 乳幼児・延べ904人、児童延べ1,844人 ②ものづくり体験講座18回実施・151人参加	・ものづくり体験講座実施 ①利用状況 乳幼児・延べ745人、児童延べ1,601人 ②ものづくり体験講座14回実施・98人参加	・ものづくり体験講座実施 ①利用状況 乳幼児・延べ644人、児童延べ1,464人 ②ものづくり体験講座6回実施・51人参加 （新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ものづくり講座1回減）	・ものづくり体験講座実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、夏休み講座、調理を伴う講座は中止。7回→5回）	わかば児童館
未来のパパママ応援事業（中学生と乳幼児のふれあい体験）の実施	【子ども家庭課】 未来のパパママ応援事業 ①いのちの授業 ②赤ちゃん講座、新生児訪問 ③赤ちゃんふれあい体験 ④園児との交流	中学生が、乳幼児とのふれあいを通して命の尊さを実感し、自己肯定感や他者への思いやりの気持ちを育む。	・市内5校、中学2年生・455人を対象に実施	・市内5校、中学2年生・449人を対象に実施	・市内5校、中学2年生428人を対象に実施	・市内5校、中学2年生420人を対象に実施 ・赤ちゃんふれあい体験を指定校に加え、希望校でも実施（計4校）	・市内5校で実施 （新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、新生児訪問、赤ちゃんふれあい体験は中止）	市内医療機関 健康増進課 市内市立中学校
妊産婦や子育て家庭への支援の推進	【健康増進課】 母子保健事業 ・妊産婦の受理、母子健康手帳の交付 ・訪問指導（妊産婦、新生児及び乳幼児） ・母親教室（妊婦とその家族対象、1コース5回で年4コース） ・離乳食教室（年6回実施） ・妊婦相談（随時） ・育児相談（あいぱーく光及びコミュニティセンターで年39回実施及び窓口で随時受付） ・食育相談（随時） ・母乳相談（あいぱーく光で年12回助産師の相談実施、他随時受付） 【子ども家庭課】 子育て支援事業 ・産前・産後サポーター派遣事業	母子の健康の維持増進を図るとともに、安心して子どもを産み、健やかに育てる体制づくりを目指す。	・妊産婦の受理、母子健康手帳の交付 ・訪問指導（妊産婦、新生児及び乳幼児） ・母親教室（妊婦とその家族対象、1コース5回で年4コース） ・離乳食教室（年6回実施） ・妊婦相談（随時） ・育児相談（あいぱーく光及びコミュニティセンターで年39回実施及び窓口で随時受付） ・食育相談（随時） ・母乳相談（あいぱーく光で年12回助産師の相談実施、他随時受付）	・妊産婦の受理、母子健康手帳の交付 ・訪問指導（妊産婦、新生児及び乳幼児） ・母親教室（妊婦とその家族対象、1コース5回で年4コース） ・離乳食教室（年6回実施） ・妊婦相談（随時） ・育児相談（あいぱーく光及びコミュニティセンターで年39回実施及び窓口で随時受付） ・食育相談（随時） ・母乳相談（あいぱーく光で年12回助産師の相談実施、他随時受付）	・妊産婦の受理、母子健康手帳の交付 ・訪問指導（妊産婦、新生児及び乳幼児） ・プレママ（母親教室）（妊婦とその家族対象、1コース3回で年4コース） ・離乳食教室（年6回実施） ・妊婦相談（随時） ・育児相談（あいぱーく光及びコミュニティセンターで年35回実施及び窓口で随時受付） ・食育相談（随時） ・母乳相談（あいぱーく光で年11回助産師の相談実施、他随時受付）	・妊産婦の受理、母子健康手帳の交付 ・訪問指導（妊産婦、新生児及び乳幼児） ・プレママ（母親教室）（妊婦とその家族対象、1コース3回で年4コース） ・離乳食教室（年6回実施） ・妊婦相談（随時） ・育児相談（あいぱーく光で年11回実施及び窓口で随時受付） ・食育相談（随時） ・母乳相談（あいぱーく光で年11回助産師の相談実施、他随時受付）	・妊産婦の受理、母子健康手帳の交付 ・訪問指導（妊産婦、新生児及び乳幼児） ・プレママ（母親教室）（妊婦とその家族対象、1コース3回で年4コース） ・離乳食教室（年6回実施） ・妊婦相談（随時） ・育児相談（あいぱーく光で年9回実施及び窓口で随時受付） ・食育相談（随時） ・母乳相談（あいぱーく光で月1回助産師の相談実施、他随時受付） 【子ども家庭課】 ・産前・産後サポーター派遣事業を開始	

基本目標 1 ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標 2 働く世代の健康づくりの推進

	【担当課】 事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
各種がん検診の推進	【健康増進課】 がん検診普及啓発	がん検診の重要性、受診方法について周知する	・広報、HP掲載 ・ポスター掲示 ・ピンクリボン運動推進 ・特定検診未受診者通知時にチラシ配布 ・国保切り替え時にチラシ配布 ☆新規 「かかりつけ医からの個別受診勧奨」として、特定検診やけが・病気等がかかりつけ医を受診したがん検診未受診者にリーフレットの配付・受診勧奨を行った。	紙続実施	紙続実施 ☆新規 「光市がん検診すすめ隊すすめ隊」登録店へ受診勧奨リーフレットを設置	紙続実施	紙続実施	市民課 地域づくり推進課 コミュニティセンター 光市社会福祉協議会 光市医師会 光市歯科医師会 光商工会議所 光市がん検診すすめ隊登録店舗
	【健康増進課】 がん検診 ①胃がん（集団・個別） ②肺がん（集団・個別） ③大腸がん（集団・個別） ④子宮・乳がん（個別） ⑤前立腺がん（個別） ⑥口腔がん（集団）	がんの早期発見・早期対応と市民の健康増進を図る	平成28年度 受診者数 胃がん検診（40歳以上）：1,437人 肺がん検診（40歳以上）：3,523人 大腸がん検診（40歳以上）：3,299人 子宮頸がん検診（20歳以上女性）：1,500人 乳がん検診（40歳以上女性）：1,061人 前立腺がん検診（50～75歳男性）：782人 口腔がん検診（50歳以上）：定期5回、イベント1回、計147人受診	平成29年度 受診者数 胃がん検診（40歳以上）：1,299人 肺がん検診（40歳以上）：3,369人 大腸がん検診（40歳以上）：3,209人 子宮頸がん検診（20歳以上女性）：1,496人 乳がん検診（40歳以上女性）：1,069人 前立腺がん検診（50～75歳男性）：728人 口腔がん検診（50歳以上）：定期5回、イベント1回、計148人受診	平成30年度 受診者数 胃がん検診（50歳以上）：エックス線821人、内視鏡362人 肺がん検診（40歳以上）：3,067人 大腸がん検診（40歳以上）：3,001人 子宮頸がん検診（20歳以上女性）：1,324人 乳がん検診（40歳以上女性）：1,108人 前立腺がん検診（50～75歳男性）：609人 口腔がん検診（50歳以上）：定期5回、イベント1回、計142人受診 【前年度からの変更点】 胃がん検診における胃内視鏡検査の導入及び対象者50歳以上に変更、集団検診における日曜日検診の導入など。	令和元年度 受診者数 胃がん検診（50歳以上）：エックス線253人、内視鏡388人 肺がん検診（40歳以上）：3,065人 大腸がん検診（40歳以上）：3,018人 子宮頸がん検診（20歳以上女性）：1,565人 乳がん検診（40歳以上女性）：1,281人 前立腺がん検診（50～75歳男性）：630人 口腔がん検診（50歳以上）：定期5回、イベント1回、計132人受診	令和2年度 胃がん検診（50歳以上）：エックス線 肺がん検診（40歳以上） 大腸がん検診（40歳以上） 子宮頸がん検診（20歳以上女性） 乳がん検診（40歳以上女性） 前立腺がん検診（50～75歳男性） 口腔がん検診（50歳以上）定期5回：97人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、個別がん検診（医療機関委託）の実施開始を例年6月から、今年度は7月からとした。	光市医師会、光市歯科医師会
	【健康増進課】 がん検診推進事業	節目年齢の市民に対して、無料で受診できるがん検診を実施し、受診促進を図り、がんの早期発見と市民の健康増進を図る	子宮がん検診（前年度に20歳になった女性市民）：9人（4.1%） 乳がん検診（前年度に40歳になった女性市民）：79人（21.2%） 大腸がん検診（前年度に40～60歳までの5歳刻みの市民対象）：149人（4.7%）	子宮がん検診（前年度に20歳になった女性市民）：17人（7.4%） 乳がん検診（前年度に40歳になった女性市民）：68人（21.0%）	子宮がん検診（前年度に20歳になった女性市民）：13人（6.8%） 乳がん検診（前年度に40歳になった女性市民）：56人（18.2%）	子宮がん検診（前年度に20歳になった女性市民）：14人（6.3%） 乳がん検診（前年度に40歳になった女性市民）：69人（22.5%）	紙続実施	光市医師会 徳山医師会 下松医師会 他医療機関
	【健康増進課】 40歳がん検診推進事業	40歳の節目年齢の市民に対して、自己負担額を助成することで、受診促進を図り、がんの早期発見と市民の健康増進を図る	前年度40歳になった方対象 胃がん検診：36人（25.2%） 肺がん検診：45人（31.5%）	前年度40歳になった方対象 胃がん検診：23人（16.1%） 肺がん検診：46人（32.2%） 大腸がん検診：48人（33.6%）	前年度40歳になった方対象 肺がん検診：33人【5.4%】 大腸がん検診：35人【5.8%】 ※【受診率】は全住民を対象として算出。	前年度40歳になった方対象 肺がん検診：44人【7.4%】 大腸がん検診：47人【7.9%】 ※【受診率】は全住民を対象として算出。	紙続実施	光市医師会
	【健康増進課】 健康ポイント事業、がん検診推進事業、トリプル検診お得意事業	関係機関・団体・事業所等の協力を得て、市民のがん検診受診を促進し、受診率向上を目指す。もって、各種がんの早期発見・早期対応を図るとともに、健康管理意識の向上を図り、市民の健康増進を図る。	・がん検診すすめ隊登録29店 ・お得意（3つ以上のがん検診を受けた方に光市がん検診すすめ隊店舗で使えるクーポン券）申請者 549人（対象者1,668人、32.9%） ・1000円割引券（40～70歳未満の方のうち、医療機関で3つ以上のがん検診を受診された方に次年度の医療機関でのがん検診で使える利用券）申請者 247人（対象者620人、39.8%） ・1000円割引券利用者 178人（発行者221人、80.5%）	・がん検診すすめ隊登録36店 ・お得意（3つ以上のがん検診を受けた方に光市がん検診すすめ隊店舗で使えるクーポン券）申請者 471人（対象者1,617人、29.1%） ・1000円割引券（40～70歳未満の方のうち、医療機関で3つ以上のがん検診を受診された方に次年度の医療機関でのがん検診で使える利用券）申請者 231人（対象者597人、38.7%） ・1000円割引券利用者 193人（発行者247人、78.1%）	健康ポイント事業（光健康マイレージ事業）に統合。 ・がん検診すすめ隊登録35店	—	—	光市がん検診すすめ隊登録店舗 光市医師会

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
健康教育・出前健康教育の実施	【健康増進課】 健康増進事業 健康教育・出前健康教育の実施	生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及を図り、市民の健康づくりの向上に寄与する。	・健康手帳の交付（40歳以上） ・健康教育（各地区コミュニティセンター等において健康教室、出前健康講座）88回 延2,813人	・健康手帳の交付（40歳以上） ・健康教育（各地区コミュニティセンター等において健康教室、出前健康講座）85回 延2,308人	・健康手帳の交付（40歳以上） ・健康教育（各地区コミュニティセンター等において健康教室、出前健康講座）91回 延2,398人	・健康手帳の交付（40歳以上） ・健康教育（各地区コミュニティセンター等において健康教室、出前健康講座）54回 延1,357人	継続実施	
各種健康相談（健康・栄養・禁煙）の実施	【健康増進課】 健康増進事業 各種相談（健康・栄養・禁煙）等の実施	生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及を図り、市民の健康づくりの向上に寄与する。	・健康相談（あいぱーく光で年12回実施及び窓口等で随時受付）318回 延2,608人 ・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施）84人（延102人） ・禁煙相談	・健康相談（あいぱーく光で年12回実施及び窓口等で随時受付）307回 延2,044人 ・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施）87人（延97人） ・禁煙相談	・健康相談（あいぱーく光で年12回実施及び窓口等で随時受付）327回 延1,843人 ・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施）57人（延62人） ・禁煙相談	・健康相談（あいぱーく光で年12回実施及び窓口等で随時受付）409回 延1,422人 ・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施）41人（延44人） ・禁煙相談	継続実施	
特定健康診査・特定保健指導の充実・実施（国民健康保険）	【市民課】 40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、特定健康診査を実施する。	年々増加する医療費を抑制するため、特定健診の受診率向上に努め、予防医療の推進を図る。	・未受診者全員に勧奨を実施 ・集団・日曜日健診の実施（1会場・1日） （受診者数：38人） ・特定健診の集団健診をがん検診の集団検診と同時実施（5会場・6日） （受診者数：74人） ○受診率：28.3%	・未受診者全員に勧奨を実施 ・集団・日曜日健診の実施（1会場・1日） （受診者数：28人） ・特定健診の集団健診をがん検診の集団検診と同時実施（5会場・6日） （受診者数：95人） ○受診率：27.4%	・未受診者全員に勧奨を実施 ・特定健診の集団健診をがん検診の集団検診と同時実施（5会場・6日） ※うち1会場・1日を日曜日に実施 （受診者数：189人（うち日曜日52人）） ○受診率27.6%	・A Iを活用した未受診者勧奨を実施 ・特定健診の集団健診をがん検診の集団検診と同時実施（5会場・6日） ※うち1会場・1日を日曜日に実施 （受診者数：139人（うち日曜日28人）） ・特定健診自己負担額無料化（1,000円→無料） ○受診率34.4%	・A Iを活用した未受診者勧奨を実施 ・特定健診の集団健診をがん検診の集団検診と同時実施（5会場・6日） ※うち1会場・1日を日曜日に実施 （受診者数：52人（うち日曜日8人）） ・特定健診の受診期間を12月25日から3月31日に延長	健康増進課
高血圧症重症化予防事業の実施（国民健康保険）	【市民課】 高血圧症重症化予防事業 特定健診検査結果が一定の基準に該当する者を対象に、保健師が訪問等による医療機関への受診勧奨及び勧奨後の受診状況の確認を行う。	高血圧症の悪化、重症化を予防し、合併症への進行を防ぐことにより、被保険者の健康保持増進と医療費の抑制を図る。	対象者：9人 勧奨実施者：8人 受診確認：6人 ○医療機関受診率：75.0%	対象者：12人 勧奨実施者：4人 受診確認：3人 ○医療機関受診率：75.0%	対象者：52人 勧奨実施者：39人 受診確認：17人 ○医療機関受診率：43.6%	対象者：42人 勧奨実施者：18人 受診確認：8人 ○医療機関受診率：44.4%	特定健診検査結果が下記の基準に該当する者に対して実施 ①血圧（収縮期）140mmHg以上かつ 中性脂肪 300mg/dl以上又は空腹時血糖 126mg/dl以上（HbA1cの場合 6.5%以上） ②血圧（収縮期）160mmHg以上	健康増進課
【再掲】生涯学習セミナー等の開催	【地域づくり推進課】 生涯学習推進事業	生きがいの創出や充実した人生を送ることを目的に60歳以上の高齢者や成人、子育て世代の子どもとその保護者を対象にした講座を開催する。	・ひかり高齢者生きがいセミナー7回開催 参加延べ人数297人 ・ひかりウィメンズセミナー7回開催 参加延べ人数248人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数215人 ・ひかりまなび応援セミナー5回 参加延べ人数123人 ・子育て支援セミナー3回 参加延べ人数106人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数179人 ・ひかりまなび応援セミナー5回 参加延べ人数106人 ・夏休み親子教室2回 参加延べ人数41人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数107人 ・光市史セミナー3回 参加延べ人数97人 ・心を調えるはじめての坐禅教室2回 参加延べ人数55人 ・サポートバンク登録者によるセミナー3回 参加延べ人数73人	・ひかり高齢者生きがいセミナー7回 参加延べ人数265人 ・光市史セミナー3回 参加延べ人数63人 ・サポートバンク登録者によるセミナー3回 参加延べ人数67人	生涯学習センター
がん検診・特定健康診査の受診率向上	【市民課】 市における検診（健診）の受診率向上のため、がん検診と特定健診の受診券を一体化する。	検診（健診）受診率を向上させることで、病気の早期発見・早期治療に努め、医療費の抑制に繋げる。	がん検診と特定健診受診券の一体化に向け検討	がん検診と特定健診受診券の一体化に向け検討	がん検診と特定健診受診券の一体化に向け検討	がん検診と特定健診受診券の一体化に向け検討。	がん検診と特定健診受診券の一体化をR3に行うため、システム改修を行う。	健康増進課
糖尿病性腎症重症化予防事業の実施（国民健康保険）	【市民課】 糖尿病性腎症重症化予防事業 糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者に対する医療機関への受診勧奨や、糖尿病性腎症等で通院する患者に対する保健指導を行う。	糖尿病患者の人工透析への移行を防止することにより、被保険者の健康保持増進と医療費の抑制を図る。	—	・保健指導 対象者：10人（事業終了者9人） 実施内容：面談2回、電話10回 実施期間：6か月（9月～2月） 委託業者：DPPヘルスパートナーズ ○参加人数における人工透析に移行した人数：0人	・保健指導 対象者：9人（事業終了者6人） 実施内容：面談2回、電話10回 実施期間：6か月（9月～2月） 委託業者：DPPヘルスパートナーズ ○参加人数における人工透析に移行した人数：1人	・保健指導 対象者：9人（事業終了者8人） 実施内容：面談2回、電話10回 実施期間：6か月（9月～2月） 委託業者：DPPヘルスパートナーズ ○参加人数における人工透析に移行した人数：0人	・保健指導 対象者：7人（予定） 実施内容：面談2回、電話10回 実施期間：6か月（9月～2月） 委託業者：DPPヘルスパートナーズ	光市医師会 医療機関
各種健康診査等の実施（30・35歳女性の生活習慣病予防健康診査、骨粗しょう症検診、医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査）	【健康増進課】 健康増進事業 30・35歳女性の生活習慣病予防健康診査、骨粗しょう症検診、医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査	各種健康診査及び検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を図る。	・30・35歳女性の生活習慣病予防健康診査 受診者38人 受診率9.3% ・骨粗しょう症検診（40歳～70歳の間の5歳刻みの年齢の女性対象） 受診者数122人 受診率6.2% ・医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査（生活保護受給者対象） 受診者数0人	・30・35歳女性の生活習慣病予防健康診査 受診者56人 受診率12.5% ・骨粗しょう症検診（40歳～70歳の間の5歳刻みの年齢の女性対象） 受診者数102人 受診率3.9% ・医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査（生活保護受給者対象） 受診者数2人	・30・35歳女性の生活習慣病予防健康診査は廃止。 ・骨粗しょう症検診（40歳～70歳の間の5歳刻みの年齢の女性対象） 受診者数87人 受診率3.3% ・医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査（生活保護受給者対象） 受診者数2人	・骨粗しょう症検診（40歳～70歳の間の5歳刻みの年齢の女性対象） 受診者数79人 受診率3.1% ・医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査（生活保護受給者対象） 受診者数2人	・骨粗しょう症検診（40歳～70歳の間の5歳刻みの年齢の女性対象） 受診者数61人 受診率2.6% ・医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査（生活保護受給者対象） 受診者数0人	光市医師会

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
健康増進事業 「健康プラスアップ作戦事業」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「健康プラスアップ作戦」に基づく事業の推進	これまでの生活に少しプラスして取り組むポイント（まもる・うごく・たべる・なごむ）を紹介したリーフレットを市民に配布し、日常生活の中で目に触れる機会をつくることで健康づくりへの意識づけを行う。	☆新規事業 「健康プラスアップ作戦リーフレット」作成・市広報12/10号折込により全戸配布、各コミュニティセンター設置・市ホームページ掲載等	昨年度作成リーフレットを活用した啓発（市広報「すこやか通信」あなたの健康プラスアップ作戦」や健康教育等）	平成28年度作成リーフレットを活用した啓発	継続実施	継続実施	光市健康づくり推進計画市民協議会
健康増進事業 「スマイルチャレンジ事業（まもる）」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（まもる）」の推進 健康ポイント事業	健診（検診）の受診・健康に関する教室やイベントの参加・生活習慣の改善に向けた取り組みによってポイントを取得し特典を得る事業により、健康づくりに取り組む動機づけを行う。	☆新規事業 光健康マイレージ事業：県が実施する「やまぐち健康マイレージ事業」と協働し、検診の受診を必須項目として、合計35ポイントで特典カードを発行。 登録協力店舗：市内12店舗（県内174店舗） 特典カード発行：483件（県内2,978件）	平成28年度に引き続き実施 登録協力店舗：市内16店舗（県内174店舗） 特典カード発行：402件（県内3,468件）	継続実施 登録協力店舗：市内22店舗（県内203店舗） 特典カード発行：223件	継続実施 登録協力店舗：市内23店舗（県内217店舗） 特典カード発行：104件	継続実施	

基本目標1 ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標3 高齢期の健康づくりの推進

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 出前講座を開催する。	疾病予防や介護予防についての普及啓発を図る。	出前講座：25回開催 延べ585名参加	出前講座：34回開催 延べ830名参加	出前講座：32回開催 延べ763名参加	出前講座：24回開催 延べ590名参加	継続実施	—
	【地域づくり推進課】 生涯学習推進事業 生涯学習サポートバンクの充実	生涯学習サポートバンクへの登録、活用により、健康に関する教室や指導者の集約を図り、情報を発信し、生きがいづくりを図る。	生涯学習サポートバンク登録者数（H28年度末） 団体：84 個人：61 うち「食」に関するもの 団体2 個人0	生涯学習サポートバンク登録者数（H29年度末） 団体：84 個人：55 うち「健康」に関するもの 団体7 個人5	生涯学習サポートバンク登録者数（H30年度末） 団体：73 個人：60 うち「健康」に関するもの 団体2 個人5	生涯学習サポートバンク登録者数（R元年度末） 団体：62 個人：57 うち「健康」に関するもの 団体2 個人4	生涯学習サポートバンク登録者数（R2年度末） 団体：56 個人：51 うち「健康」に関するもの 団体1 個人5	光市生涯学習センター 関係各課
認知症予防事業（講演会や講座等）の実施	【高齢者支援課】 認知症予防介護予防普及啓発事業 講演会を開催する。 50歳以上の市民を対象とした脳力アップセミナーを開催する。	認知症予防についての普及啓発を図る。	認知症予防講演会：1回開催・230名参加 脳力アップセミナー：4回開催・26名参加（65歳以上）	認知症予防講演会：1回開催・231名参加 脳力アップセミナー：4回開催・29名参加（65歳以上）	認知症予防講演会：1回開催・210名参加 脳力アップセミナー：4回開催・23名参加（65歳以上）	認知症予防講演会：1回開催・321名参加 脳力アップセミナーについては、参加者の固定化傾向等に伴い事業廃止	継続実施	光市認知症を支える会・光市地域活動栄養士会・山口県スポーツ交流村・光市社会福祉協議会・健康増進課
	【健康増進課】 介護予防事業 認知症予防教室の開催	認知症の正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣改善を促し、認知症を予防する。（概ね60歳以上の市民対象）	脳力アップセミナー 1コース4回 参加者 延96人	脳力アップセミナー 1コース4回 参加者 延103人	脳力アップセミナー 1コース4回 参加者 延81人	参加者の固定化傾向等に伴い事業廃止 今後は、出前講座等を活用し普及啓発を図る	—	高齢者支援課
介護予防事業の充実	【高齢者支援課】 通所型介護予防事業（運動器機能向上等事業） 特定高齢者に対し、通所により短期集中的に、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等の介護予防プログラムを提供する。	運動習慣や生活機能の維持・向上により、要介護状態への進行防止を図り、在宅での自立生活継続に繋げる。	市内6か所（事業所）で開催 全体で23名の参加	総合事業における新たなサービス（通所型サービスC）として再編	—	—	—	介護サービス事業所
	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 転倒骨折予防教室を開催する。	転倒骨折予防についての普及啓発を図る。	転倒骨折予防教室：238回開催 延べ3,484名参加	転倒骨折予防教室：240回開催 延べ3,503名参加	転倒骨折予防教室：237回開催 延べ3,221名参加	転倒骨折予防教室：218回開催 延べ2,858名参加	市内の在宅介護支援センター4か所への委託により昨年度と同様に実施 全体で約240回程度開催予定	在宅介護支援センター

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
介護予防事業の充実	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 口腔機能向上講演会を開催する。	口腔機能向上についての普及啓発を図る。	口腔機能向上講演会：1回開催 ・68名参加	口腔機能向上講演会：1回開催 ・54名参加	参加者の減少、固定化傾向に伴い事業廃止 今後は、出前講座等を活用し、普及啓発を図る	—	—	—
地域コミュニティ活動（自治会やいきいきサロン等）への参加促進	【地域づくり推進課】 コミュニティ協議会支援事業	地域活動の見直しや新たな活動計画（コミュニティプラン）を策定し、より地域住民が参加しやすい活動の場をつくるため支援する。	コミュニティプラン策定6地区 （塩田・伊保木・周防・東荷・大和・三島）	コミュニティプラン策定6地区 （塩田・伊保木・周防・東荷・大和・三島）	コミュニティプラン策定7地区 （塩田・伊保木・周防・東荷・大和・三島・島田）	コミュニティプラン策定7地区 （塩田・伊保木・周防・東荷・大和・三島・島田）	コミュニティプラン策定7地区 （塩田・伊保木・周防・東荷・大和・三島・島田）	
	【高齢者支援課】 地域介護予防活動支援事業 ふれあい・いきいきサロン等に健康チェックや相談、いきいき百歳体操の補助等を行う看護師を派遣し、介護予防活動への支援を行う。	サロン等に対して活動支援を行うことで、住民主体による運営と参加を促進するとともに、参加者の介護予防を図る。	派遣先サロン等：35か所 看護師派遣回数：212回	派遣先サロン等：37か所 看護師派遣回数：217回	派遣先サロン等：75か所 看護師派遣回数：428回	派遣先サロン等：61か所 看護師派遣回数：424回	継続実施	光市社会福祉協議会
	【高齢者支援課】 地域介護予防活動支援事業 概ね65歳以上の高齢者を中心とした5人以上の団体に対し、リハビリ専門職や看護師等を派遣し、いきいき百歳体操の自主的実施に向けた支援を行う。	団体に対して活動支援を行うことで、住民主体による運営と参加を促進するとともに、参加者の介護予防を図る。	育成支援（年5回・技術支援及び体力測定） 支援団体：2団体 参加実人数：32名	育成支援（年5回・技術支援及び体力測定） 支援団体：6団体 参加実人数：113名 継続支援（年1回・体力測定） 支援団体：2団体 参加実人数：24名	育成支援（年5回・技術支援及び体力測定） 支援団体：10団体 参加実人数：168名 継続支援（年1回・体力測定） 支援団体：7団体 参加実人数：105名	育成支援（年5回・技術支援及び体力測定） 支援団体：9団体 継続支援（年1回・体力測定） 支援団体：17団体	継続実施	大和総合病院・光市社会福祉協議会・在宅介護支援センター
	【高齢者支援課】 地域介護予防活動支援事業 いきいき百歳体操や地域ケア個別会議にリハビリ専門職を派遣し、高齢者の自立支援に向けた助言等を行う。	リハビリ専門職が地域住民や介護支援専門員及び介護事業者に対して高齢者の自立支援に向けた助言等を行うことで、介護予防の取組みを総合的に支援する。	—	いきいき百歳体操派遣団体数：6団体 地域ケア会議参加回数：9回（17事例）	いきいき百歳体操派遣団体数：10団体 地域ケア会議参加回数：12回（23事例）	いきいき百歳体操派遣団体数：9団体 地域ケア会議参加回数：11回（23事例）	継続実施	大和総合病院・医療法人愛命会
【再掲】 生涯学習セミナー等の開催	【地域づくり推進課】 生涯学習推進事業	生きがいの創出や充実した人生を送ることを目的に60歳以上の高齢者や成人、子育て世代の子どもとその保護者を対象にした講座を開催する。	・ひかり高齢者生きがいセミナー7回開催 参加延べ人数297人 ・ひかりウィメンズセミナー7回開催 参加延べ人数248人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数215人 ・ひかりまなび応援セミナー5回 参加延べ人数123人 ・子育て支援セミナー3回 参加延べ人数106人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数179人 ・ひかりまなび応援セミナー5回 参加延べ人数106人 ・夏休み親子教室2回 参加延べ人数41人	・ひかり高齢者生きがいセミナー5回 参加延べ人数107人 ・光市史セミナー3回 参加延べ人数97人 ・心を調えるはじめての坐禅教室2回 参加延べ人数55人 ・サポートバンク登録者によるセミナー3回 参加延べ人数73人	・ひかり高齢者生きがいセミナー7回 参加延べ人数265人 ・光市史セミナー3回 参加延べ人数63人 ・サポートバンク登録者によるセミナー3回 参加延べ人数67人	生涯学習センター
介護支援ボランティアポイント事業	【高齢者支援課】 地域介護予防活動支援事業 ふれあいサポーターが行うボランティア活動に対してふれあいポイントを付与し、ポイント数に応じて交付金を支払う。	介護支援ボランティア活動を通じて、元気な高齢者の増加や、高齢者の生きがい創出の機会の提供により介護予防を図る。	施設系（施設利用者向け） 登録者数：144名 活動実人数：68名	施設系（施設利用者向け） 登録者数：202名 活動実人数：97名 在宅系（在宅高齢者向け） 登録グループ数：2グループ サポーター数：28名	施設系（施設利用者向け） 登録者数：206名 活動実人数：96名 在宅系（在宅高齢者向け） 登録グループ数：2グループ サポーター数：31名	施設系（施設利用者向け） 登録者数：203名 活動実人数：115名 在宅系（在宅高齢者向け） 登録グループ数：2グループ サポーター数：30名	継続実施	光市社会福祉協議会

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標1 身体活動と運動の促進

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
ウォーキングの推進（光のあるくロードウォーキンググラリーの実施、ひかり環境・健康ウォーキングマップの普及啓発等）	【健康増進課】 健康増進事業 「光のあるくロードウォーキンググラリー」 「ひかり環境・健康ウォーキングマップ普及啓発」	安全で、楽しく無理なく続けられる運動を紹介することで、生涯スポーツの推進を図る。楽しみながらウォーキングを実践することで、運動習慣の定着を図る。 ※光のあるくロードマップ：地図上に歩数を記録し、目標を立てて全国を旅するもの	・光のあるくロードウォーキンググラリー 累計登録者数 679名 (H29.3.31時点) ・ひかり環境・健康ウォーキングマップ普及啓発	・光のあるくロードウォーキンググラリー 累計登録者数 715名 (H30.3.31時点) ・ひかり環境・健康ウォーキングマップ普及啓発	・光のあるくロードウォーキンググラリー 累計登録者数 714名 (H31.3.31時点) ※新規13人 ※地図上での日本1周踏破者累計115名 ・ひかり環境・健康ウォーキングマップ普及啓発	・光のあるくロードウォーキンググラリー 累計登録者数 799名 (R2.3.31時点) ※新規85人 ※地図上での日本1周踏破者累計125名 ・ひかり環境・健康ウォーキングマップ普及啓発	継続実施	体育課 マップ：環境政策課、スポーツ推進委員協議会、ひかりクラブ
各種スポーツイベント・スポーツ教室の開催	【体育課】 体育活動推進事業 スポーツ関係団体との連携により、市民のスポーツ活動に対する環境・体制づくりを推進する。	各種スポーツ行事や大会等を開催することで、スポーツを「する」「みる」「とさえる」など様々な関わりかたを通じて、生涯スポーツの推進や市民の交流と地域の活性化を図る。 また、スポーツ活動に関わることで、ストレスの軽減や解消を図り、心身両面にわたる健康づくりを推進する。	・市民体育大会 1,438人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,165人 ・光市駅伝競走大会 中止 ・サンセットビーチランHikari 109人 ・梅まつりコバルトウォーク 485人 ・藤公の里ふれあいウォーク 59人 ・出前講座 161人 ・各競技団体による大会 36,096人 ・スポーツ振興事業 8,770人	・市民体育大会 1,547人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,485人 ・光市駅伝競走大会 912人 ・サンセットビーチランHikari 100人 ・梅まつりコバルトウォーク 407人 ・藤公の里ふれあいウォーク 102人 ・出前講座 373人 ・各競技団体による大会 36,491人 ・スポーツ振興事業 9,564人	・市民体育大会 1,632人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,574人 ・光市駅伝競走大会 930人 ・ビーチランHikari 154人 ・梅まつりコバルトウォーク 438人 ・藤公の里ふれあいウォーク 64人 ・出前講座 275人 ・各競技団体による大会 35,523人 ・スポーツ振興事業 9,332人	・市民体育大会 1,496人 ・光市小学生スポーツ交流大会 682人 ・光市駅伝競走大会 中止 ・ビーチランHikari 180人 ・梅まつりコバルトウォーク 432人 ・出前講座 375人 ・各競技団体による大会 33,288人 ・スポーツ振興事業 8,047人	・市民体育大会（競技スポーツの部）784人 ・出前講座 23人 ・各競技団体による大会 15,000人 ・スポーツ振興事業 5,000人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・市民体育大会（本大会） ・光市小学生駅伝競走大会 ・光市駅伝競走大会 ・ビーチランHikari ・梅まつりコバルトウォーク	・光市スポーツ推進委員協議会 ・光市体育協会 ・（公財）光市スポーツ振興会 ・光市スポーツ少年団 ・NPO法人ひかりクラブ
冠山総合公園を中心とした健康づくりイベントの実施	【都市政策課】 冠山総合公園オートキャンプ場においてキャンプの体験会や工作教室の開催	仲間づくりや家族交流の場として冠山総合公園オートキャンプ場の利用促進を図る。	工作教室 5回 85名 絵手紙教室 12回 91名 ツリークライミング 8回 67名	工作教室 5回 92人 絵手紙教室 10回 87人 ツリークライミング 4回 43人	工作教室 5回 60人 絵手紙教室 12回 73人 ツリークライミング 5回 74人	工作教室 6回 104人 絵手紙教室 7回 44人 ツリークライミング 3回 19人	工作教室 2回 絵手紙教室 8回 ツリークライミング 6回	冠山総合公園指定管理者株式会社ピークルーエッセ 冠山総合公園イベント実行委員
	【都市政策課】 冠山総合公園において園芸教室を開催	趣味の体験講座を開催	園芸教室 4回 43名	園芸教室 4回 27人	園芸教室 6回 45人	園芸教室 5回 58人	園芸教室 1回	冠山総合公園指定管理者株式会社ピークルーエッセ 冠山総合公園イベント実行委員
	【都市政策課】 健康づくりのための運動教室の開催 冠山総合公園においてヨガ教室やウォーキングの体験教室を開催	誰でも参加できる軽度な運動を行い、健康づくりと冠山総合公園のイメージアップを図る。	かるかる教室 4回 47名 ヨガ体験教室 5回 163名	ヨガ体験教室 4回 134人	ヨガ体験教室 4回 126人	ヨガ教室 5回 196人	ヨガ教室 3回	冠山総合公園指定管理者株式会社ピークルーエッセ 冠山総合公園イベント実行委員
	【都市政策課】 砲台山登山道整備 冠山総合公園内の砲台山に登山道の整備を行う。	冠山総合公園の自然環境を活かした遊歩道（ウォーキングコース）の環境整備を行う。	砲台山クリーンハイキング 1回 14名	砲台山クリーンハイキング 1回 43人	砲台山クリーンハイキング 1回 31人	砲台山クリーンハイキング 1回 43人	砲台山クリーンハイキング（中止）	冠山総合公園指定管理者株式会社ピークルーエッセ 冠山総合公園イベント実行委員
ニュースポーツの普及・啓発	【体育課】 体育活動推進事業 スポーツ関係団体との連携により、市民のスポーツ活動に対する環境・体制づくりを推進する。	誰もが気軽に楽しめる各種ニュースポーツの積極的な普及のため、出前講座やイベント等において体験や競技を行うことにより、楽しめるスポーツの周知や生涯スポーツの推進を図る。	・出前講座 161人 ・市民体育大会 1,438人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,165人	・出前講座 373人 ・市民体育大会 1,547人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,485人	・出前講座 275人 ・市民体育大会 1,632人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,574人	・出前講座 375人 ・市民体育大会 1,496人 ・光市小学生スポーツ交流大会 682人	・出前講座 23人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・市民体育大会（本大会） ・光市小学生駅伝競走大会	・光市スポーツ推進委員協議会 ・光市体育協会 ・（公財）光市スポーツ振興会 ・光市スポーツ少年団 ・NPO法人ひかりクラブ

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
コミュニティセンター事業 （健康ウォーキング、チャレンジ先歩等）の実施	【地域づくり推進課】 コミュニティ協議会支援事業	各地域において、健康ウォーキングやウォークラリー等を開催し、誰もが楽しめるウォーキングの普及啓発を図る。	・健康ウォーキング ・チャレンジ先歩 ・ウォークラリー	・健康ウォーキング ・チャレンジ先歩 ・ウォークラリー	・健康ウォーキング ・ウォークラリー	・健康ウォーキング ・ウォークラリー	健康ウォーキング（大和）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	光市体育協会等
運動施設や環境の整備	【地域づくり推進課】 地域づくり支援センター管理事業	気軽にスポーツを楽しめるよう、施設の維持・管理に努める。	・施設の適正な維持管理 ・保守点検 ・備品の更新	・施設の適正な維持管理 ・保守点検 ・備品の更新	・施設の適正な維持管理 ・保守点検 ・備品の更新	・施設の適正な維持管理 ・保守点検 ・備品の更新	・施設の適正な維持管理 ・保守点検 ・備品の更新	
健康づくり拠点としての公園の維持管理の実施	【都市政策課】 公園緑地維持管理事業	市が管理する都市公園等について、除草、剪定、伐採、消毒など適切な維持管理を行う。	公園管理（都市公園、その他公園） 62箇所	公園管理（都市公園、その他公園） 62箇所	公園管理（都市公園、その他公園） 62箇所	公園管理（都市公園、その他公園） 62箇所	公園管理（都市公園、その他公園） 62箇所	都市政策課
【再掲】 子どもの体力・スポーツ活動の推進	【体育課】 体育活動推進事業 スポーツ関係団体との連携により、市民のスポーツ活動に対する環境・体制づくりを推進する。	各種スポーツ行事や大会等を開催することで、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりかたを通じて、生涯スポーツの推進や市民の交流と地域の活性化を図る。 また、スポーツ活動に関わることで、ストレスの軽減や解消を図り、心身両面にわたる健康づくりを推進する。	・市民体育大会 1,438人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,165人 ・光市駅伝競走大会 中止 ・サンセットビーチランHikari 109人 ・梅まつりコバルトウォーク 485人 ・藤公の里ふれあいウォーク 59人 ・出前講座 161人 ・各競技団体による大会 36,096人 ・スポーツ振興事業 8,770人	・市民体育大会 1,547人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,485人 ・光市駅伝競走大会 912人 ・サンセットビーチランHikari 100人 ・梅まつりコバルトウォーク 407人 ・藤公の里ふれあいウォーク 102人 ・出前講座 373人 ・各競技団体による大会 36,491人 ・スポーツ振興事業 9,564人	・市民体育大会 1,632人 ・光市小学生スポーツ交流大会 1,574人 ・光市駅伝競走大会 930人 ・ビーチランHikari 154人 ・梅まつりコバルトウォーク 438人 ・藤公の里ふれあいウォーク 64人 ・出前講座 275人 ・各競技団体による大会 35,523人 ・スポーツ振興事業 9,332人	・市民体育大会 1,496人 ・光市小学生スポーツ交流大会 682人 ・光市駅伝競走大会 中止 ・ビーチランHikari 180人 ・梅まつりコバルトウォーク 432人 ・出前講座 375人 ・各競技団体による大会 33,288人 ・スポーツ振興事業 8,047人	・市民体育大会（競技スポーツの部）784人 ・出前講座 23人 ・各競技団体による大会 15,000人 ・スポーツ振興事業 5,000人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・市民体育大会（本大会） ・光市小学生駅伝競走大会 ・光市駅伝競走大会 ・ビーチランHikari ・梅まつりコバルトウォーク	・光市スポーツ推進委員協議会 ・光市体育協会 ・（公財）光市スポーツ振興会 ・光市スポーツ少年団 ・NPO法人ひかりクラブ
	【子ども家庭課】 パパの子育て応援事業 （パパ出張ですよ！事業） ・親子体操 ・親子クッキング ・親子工作	父と子、家族のふれあいの機会を増やし、子育ての楽しさを実感してもらうことを目的とする。	・親子体操講座、親子クッキング、親子工作を計4回実施。	・親子体操講座、親子クッキング、親子工作、親子写真講座の計4回実施。	・親子体操講座、親子クッキング、親子工作、親子写真講座の計4回実施。	・親子工作教室、親子鉄棒教室、親子料理教室の計3回実施。	・親子体操教室、親子粘土遊び教室の計2回実施。 （新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため料理教室は中止）	子育て支援センター
	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理運営事業 親子運動遊び（なかよし広場）	楽しい遊びを通して、運動機能の発達を促す。	・運動遊びを1回実施。13組27人参加。	・運動遊びを1回実施。12組31人参加。	・運動遊びを1回実施。16組45人参加。	・運動遊びを1回実施、13組27人参加	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	子育て支援センター
	【子ども家庭課】 保育・幼児教育の内容充実及び促進（子どもの体力向上及び運動機能の発達の促進） ①保育及び幼児教育の中で体力向上及び運動機能の発達促進支援 ②運動会実施	子どもの体力向上及び運動機能の発達を促す。	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	市内保育所・幼稚園
【再掲】 介護予防事業（いきいき百歳普及事業、運動器機能向上等事業、転倒骨折予防教室等）の充実	【高齢者支援課】 通所型介護予防事業 （運動器機能向上等事業） 特定高齢者に対し、通所により短期集中的に、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等の介護予防プログラムを提供する。	運動習慣や生活機能の維持・向上により、要介護状態への進行防止を図り、在宅での自立生活継続に繋げる。	市内6か所（事業所）で開催全体で23名の参加	総合事業における新たなサービス（通所型サービスC）として再編	—	—	—	介護サービス事業所
	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 転倒骨折予防教室を開催する。	転倒骨折予防についての普及啓発を図る。	転倒骨折予防教室：238回開催 延べ3,484名参加	転倒骨折予防教室：240回開催 延べ3,503名参加	転倒骨折予防教室：237回開催 延べ3,221名参加	転倒骨折予防教室：218回開催 延べ2,858名参加	市内の在宅介護支援センター4か所への委託により昨年度と同様に実施 全体で約240回程度開催予定	在宅介護支援センター
	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 いきいき百歳体操普及事業を推進する。	住民が主体となって行うことのできる百歳体操を普及する。				百歳体操 延べ435名参加	継続実施	

	【担当課】 事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
【再掲】 一校一取組み（各校における課題を解決するための取組み）の一層の充実	【学校教育課】 児童生徒の体力向上をめざした授業以外の活動における一校一取組	児童生徒の体力向上の取組を充実するとともに、授業との関連強化や地域と協働した活動への広がりを図る。	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と地域との連携 小11校・中5校	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と家庭・地域との連携 ・柔軟性の向上に向けた取組の継続 ・意欲を高める環境整備、情報発信などの実施 小11校・中5校	・各校で体力向上プログラムを作成し、年2回の調査の実施 ・柔軟性向上等の課題に取組の継続 ・各校における課題解決のための、家庭・地域との連携、情報発信 小11校・中5校	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と地域との連携を図った。 ・各校で体力向上プログラムを作成し、年2回の調査を行い、柔軟性向上等の課題に取り組んだ。 ・各校における課題解決のために、意欲を高める環境整備、家庭・地域との連携、情報発信、などの取組を継続的に実施するよう努めた。 小11校・中5校	・児童生徒の体力分析を基に、各校が設定した課題の解決に向けた一校一取組の充実と地域との連携を図った。 ・各校で体力向上プログラムを作成し、年2回の調査を行い、柔軟性向上等の課題に取り組んだ。 ・各校における課題解決のために、意欲を高める環境整備、家庭・地域との連携、情報発信、などの取組を継続的に実施するよう努めた。 小11校・中5校	
【再掲】 子育て支援センター管理運営事業（なかよし広場、パパ出番ですよ！親子体操）の実施	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理運営事業 ①子育て支援員による相談 ②なかよし広場 ③保育出前講座	子育て支援の拠点として、育児不安等についての相談や指導、子育て家庭の交流支援を行う。	・相談286回 ・なかよし広場29回実施 ・保育出前講座6回・356人参加	・相談226回 ・なかよし広場25回実施 ・保育出前講座4回・185人参加	・相談188件 ・なかよし広場25回実施 ・保育出前講座4回・139人参加	・相談256件 ・なかよし広場12回実施	・相談随時 ・なかよし広場実施 （新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、内容や参加者数を変更する。）	子育て支援センター
健康増進事業 「スマイルチャレンジ事業（まもる）」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（まもる）」の推進 セルフチェック応援事業	自身の健康状態を知り、健康意識を高めるとともに、生活習慣改善に向けた目標設定や実践により健康管理の習慣を身につけ、生活習慣等を改善するプロセスにより、生活習慣病予防の支援を行う。	☆新規事業 市民が一定期間、日々測定した体重等のデータを取得するとともに、市民の健康づくりを応援する事業の実施方法等の検討を行い、今後、市民全体へ広く普及させていくための制度設計を行った。	健康の自己管理ができる市民の増加を目指し、市民等100名の協力を得て「100日間 健康貯金にチャレンジ」と題し、100日間、毎日、歩数等を測定し、記録帳に記録する取組を通して、継続を支援する本市オリジナル記録帳づくりに向け意見聴取を行った。	健康管理を自ら習慣化できる市民の増加を目指し、そのきっかけとなる継続を支援する本市オリジナル記録帳づくりに向け、職場de体力アップ応援事業参加者（104名）に3か月間、前年度の意見を反映した記録帳を使用してのアンケート等を通じて意見集約を行った。	健康管理を自ら習慣化できる市民の増加を目指し、そのきっかけとなる継続を支援する本市オリジナル記録帳（初回配付用：3か月分、継続用：5か月分記録）を作成。職場de体力アップ応援事業や光のあるくロード参加者、市民希望者へ配付。	継続実施	平成28・29年度：NP0法人 山ロヘルスプロモーションネットワーク
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業（うごく）」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（うごく）」の推進 ・仲間de体力アップ応援事業（光のあるくロードウォーキングラリー・チーム編） ・職場de体力アップ応援事業	「光のあるくロードウォーキングラリー」のチーム編として、仲間と取り組むことで運動習慣づくりの動機づけ及び運動効果の向上を図る。また、既存の光のあるくロードウォーキングラリー（個人で登録）の新規参加者増を図る。	☆新規事業『仲間de体力アップ応援事業（光のあるくロードウォーキングラリー・チーム編）』 ①オープニングイベント「ウォーキング講習会」9月10日（土）光市総合体育館 71名参加 ②18歳以上の市民または市内に通勤・通学の2名以上のグループで登録後、3か月間毎日ウォーキングを各自実践し、報告書提出。3部門（合計歩数・平均歩数・平均体重減少）で表彰。 参加者数：22チーム88名	『仲間de体力アップ応援事業（光のあるくロードウォーキングラリー・チーム編）』 18歳以上の市民または市内に通勤・通学の2名以上のグループで登録後、3か月間毎日ウォーキングを各自実践し、報告書提出。3部門（合計歩数・平均歩数・チーム人数）で表彰。 参加者数：27チーム96名	☆移行事業『職場de体力アップ応援事業』 18歳以上の市内の事業所に勤務の2名以上のグループで登録後、3か月間毎日ウォーキングを各自実践し、報告書提出。平均歩数上位チームを表彰。 参加者数：12事業所 26チーム104名	☆移行事業『職場de体力アップ応援事業』 18歳以上の市内の事業所に勤務の2名以上のグループで登録後、3か月間毎日ウォーキングを各自実践し、報告書提出。平均歩数上位チームを表彰。 参加者数：20事業所 39チーム178名	—	H28、29年度：体育課 H30年度：光商工会議所、光地区労働福祉協議会

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標2 こころの健康づくりの推進

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
こころの健康について情報発信 （こころの体温計、心の健康カード）	【健康増進課】 こころの健康チェック事業（こころの体温計）	気軽にいつでもどこでも自分のこころの健康状態をチェックできるシステム「こころの体温計」を活用して、こころの健康の保持増進を図るとともに、適切な相談窓口へつながる支援を行う。	こころの体温計 総アクセス数 22,116件（内 市民15,320件）	こころの体温計 総アクセス数 16,160件（内 市民10,361件）	こころの体温計 総アクセス数 14,351件	こころの体温計 総アクセス数 13,767件	継続実施	
産後うつ予防事業の実施	【健康増進課】 母子保健事業（産後ケア）及び健康増進事業（自殺対策） 産後うつ質問票を用いた新生児・乳児訪問 ＊ハイリスク妊産婦への支援	女性のライフサイクルの中で最も精神障害の発生率の高い時期である産後に、産後うつのスクリーニングを実施することで、母親への多面的な精神支援を行い、育児をサポートする。	・産後うつ質問票を用いた相談 341名 （ハイスコア 9.1%）	・産後うつ質問票を用いた相談 296名 （ハイスコア 8.1%）	・産後うつ質問票を用いた相談 304名 （ハイスコア 4.3%）	・産後うつ質問票を用いた相談 292名 （ハイスコア 4.8%）	・産後うつ質問票を用いた相談の実施	子ども家庭課
おっぱい育児の推進	【健康増進課】 おっぱい冊子の配布	母子の健康の維持増進を図るとともに、安心して子どもを産み健やかに育てる体制づくりを目指す。	・おっぱい冊子の配布（妊娠 期、幼児期、小学5年、中学2 年）	・おっぱい冊子の配布（妊娠 期、幼児期、小学5年、中学2 年）	・おっぱい冊子の配布（妊娠 期、幼児期、小学5年、中学2 年）	・おっぱい冊子の配布（妊娠 期、幼児期、小学5年、中学2 年）	・おっぱい冊子の配布（妊娠 期、幼児期、小学5年、中学2 年）	子ども家庭課
心の健康相談・癒しのカウンセリングの実施	【健康増進課】 健康増進事業 心の健康相談（癒しのカウンセリング）、ゲートキーパー研修の開催等	心の健康づくりに関する正しい知識を得て、こころの健康の保持増進を図る。また、ストレスや生活上の悩みをもつ市民に対し相談できる窓口、睡眠相談対応のかかりつけ医情報等、うつ予防に関する知識普及を図り、健康づくり、うつ症状の早期発見早期対応を図る。	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年18回 延18人、 保健師相談随時受付 ・ゲートキーパー研修（教職員 対象）受講者20人 ・普及啓発 睡眠キャンパシーリーフレット 作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年9回 延9人、 保健師相談随時受付 ・ゲートキーパー研修（教職員 対象）受講者42人 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレット 作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年8回 延10人、 保健師相談随時受付 ・ゲートキーパー研修 受講者 1団体6人 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレット 作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年5回 延6人、 保健師相談随時受付 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレット 作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）、保健師相談 ・ゲートキーパー研修 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレット （令和2年3月に策定した光市 自殺対策計画の周知と併せて リーフレットを作成）全戸配 布、心の健康カード配布等	学校教育課 光市医師会 商工会議所 その他 関係機関・ 関係団体
【再掲】 子育て支援センター管理 運営事業（子育て支援員 による相談）の実施	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理 運営事業 ①子育て支援員による相談 ②なかよし広場 ③保育出前講座	子育て支援の拠点として、育児不安等についての相談や指導、子育て家庭の交流支援を行う。	・相談266回 ・なかよし広場29回実施 ・保育出前講座6回・356人参加	・相談226回 ・なかよし広場25回実施 ・保育出前講座4回・185人参加	・相談183件 ・なかよし広場25回実施 ・保育出前講座4回・139人参加	・相談266件 ・なかよし広場12回実施	・相談随時 ・なかよし広場実施 （新型コロナウイルス感染症拡大 防止対策のため、内容や参加 者数を変更する。）	子育て支援センター
子育て支援の「わ」事業の実施 （園庭開放、身近な相談 場所）	【子ども家庭課】 子育て支援の「わ」事業 ①園開放・園庭開放 ②子育て相談	公立・私立保育所・幼稚園で、子育て家庭の交流や相談を行い、子育ての「わ」を地域に広げる。	・公立6園と私立園で実施 ①園開放、園庭開放416回・ 6,447人 ②相談75人	・公立6園と私立園で実施 ①園開放、園庭開放388回・ 5,677人 ②相談80人	・公立6園と私立園で実施 ①園開放、園庭開放359回・ 4,920人 ②相談50人	・公立6園と私立園で実施 ①園開放、園庭開放306回・ 4,087人 ②相談54人	・公立6園と私立園で実施	市内保育所・幼稚園 子育て支援センター
ストレスマネジメント力の育成	【学校教育課】 ストレスマネジメント力の育成 児童生徒の発達段階や地域の実情に応じた健康教育の推進	児童生徒が、自らの健康に対し、「自ら守り・鍛える」態度を養うことをめざし、取組を推進する	・児童生徒のストレスマネジメント力の育成に向けた取組	・アンケートの有効的な活用や 教育相談機能の充実 ・児童生徒のストレスマネジメント力の育成に向けた取組	・アンケートの有効的な活用や 教育相談機能の充実 ・家庭や地域との連携を図り、 児童生徒のストレスマネジメント力の育成の取組	・思春期GHIプログラムを活用して、様々なストレスに対する 対処法を学び、「リラクゼー ション」「コーピング（対処 法）」を学習した。 ・アンケートの有効的な活用や 教育相談機能の充実 ・各教科や各種行事等の教育活動 全体を通じた、児童生徒のスト レスマネジメント力の育成に係 る取組。	・思春期GHIプログラムを活用して、様々なストレスに対する 対処法を学び、「アンガーマネ ジメント」「ストレスマネジメ ント」を学習した。 ・アンケートの有効的な活用や 教育相談機能の充実をはじめ、 各教科や各種行事等の教育活動 全体を通じた、児童生徒のスト レスマネジメント力の育成。	
障害がある人の相談支援の実施	【福祉総務課】 地域生活支援事業 障害者総合相談支援事業 地域活動支援センター運営事業	障害がある人や家族の相談に総合的に応じ、安心して地域生活を送ることができるよう支援する。 また、創作的活動等社会との交流促進の便宜を供与し、障害がある人の地域生活支援の促進を図る。	総合相談支援事業相談件数 210件 地域活動支援センター利用件数 603件	総合相談支援事業相談件数 235件 地域活動支援センター利用件数 809件	総合相談支援事業相談件数 382件 10月から社会福祉法人ひかり 苑に障害者総合相談支援事業を 委託 地域活動支援センター利用件数 747件	総合相談支援事業相談件数 682件 地域活動支援センター利用件数 765件	総合相談支援事業相談件数 600件（見込） 地域活動支援センター利用件数 430件（見込）	相談支援センターひ かり苑 相談支援センター しょうせい苑 地域活動支援セン ターウイング 総合相談支援セン ターぱれっと

	【担当課】 事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
着者の就業的自立の支援 心理カウンセリングの実施	【商工観光課】 就業支援対策事業 概ね15歳以上40歳未満 （令和2年度から50歳未 満に拡大）の無職者 （ニート）に対し、無料 就職相談・カウンセリング ・臨床心理士相談・職 業体験を実施	ストレスや悩みを持つ着者に対 し、相談に応じることで就業的 自立を目指す。	出張相談会（光会場） 平成28年9月10日実施 5件 平成28年12月10日実施 5件 平成29年2月25日実施 2件	出張相談会（光会場） 平成29年7月1日実施 4件 平成29年10月7日実施 3件 平成30年3月10日実施 2件	出張相談会（光会場） 平成30年6月9日実施 4件 平成30年11月10日実施 5件 平成31年2月2日実施 0件	出張相談会（光会場） 令和元年7月6日実施 2件 令和元年12月7日実施 4件 ※令和元年度から、相談会の実 施回数を年3回から年2回に変更	出張相談会（光会場） 令和2年7月4日実施 1件 令和2年12月5日実施 1件	しゅうなん着者サ ポートステーション
心の不調に気づき、適切 な支援につなげられる人 材の育成、見守り体制の 整備	【子ども家庭課】 ひかり子育て見守りネッ トワーク事業 ①子育て支援コーディネ ーターの養成 ②子育てサポーター（地 域サポーター及び職員サ ポーターの養成	地域・家庭・行政が一体とな り、児童虐待の未然防止、早期 発見、早期対応、地域養育力の 向上を目的とした、子育て見 守りネットワークの構築を図る	・市民向け子育てサポーター研 修に17人参加 ・市内全保育所・幼稚園・全小 中学校から合計48人の子育て支 援コーディネーターを選任	・市内全保育所・幼稚園・全小 中学校から合計48人の子育て支 援コーディネーターを選任 ・職員サポーター研修を実施	・市内全保育所・幼稚園・全小 中学校から合計48人の子育て支 援コーディネーターを選任 ・職員サポーター研修を実施	・子育て支援コーディネーター を選任	・子育て支援コーディネーター を選任 ・職員サポーター研修を実施	市内保育所・幼稚園 市内小中学校
	【子ども家庭課】 要保護児童対策地域協議 会 ①代表者会議 ②実務者会議 ③個別ケース会議	要保護児童の早期発見や適切な 保護または要支援児童若しくは 特定妊婦への適切な支援を図 る。	・代表者会議1回、実務者会議5 回、個別ケース会議44回実施	・代表者会議1回、実務者会議3 回、個別ケース会議44回実施	・代表者会議1回、実務者会議3 回、個別ケース会議36回実施	・代表者会議1回、実務者会議3 回、個別ケース会議23回実施	・代表者会議1回、実務者会議3 回、個別ケース会議随時実施	教育委員会・警察 署・児童相談所・人 権推進課・健康増進 課・健康福祉セン ター・医師会・民生 委員児童委員協議 会・母子保護推進協 議会・消防組合・弁 護士会・保育協会・ 小中学校・幼稚園・ 法務局
	【健康増進課】 健康増進事業 心の健康相談（癒しのカ ウンセリング）、ゲート キーパー研修の開催等	心の健康づくりに関する正しい 知識を得て、こころの健康の保 持増進を図る。また、ストレス や生活上の悩みをもつ市民に対 し相談できる窓口、睡眠相談対 応のかかりつけ医療情報等、うつ 予防に関する知識普及を図り、 健康づくり、うつ症状の早期発 見早期対応を図る。	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年18回 延18人、 保健師相談随時受付 ・ゲートキーパー研修（教職員 対象）受講者20人 ・普及啓発 睡眠キャンペーンリーフレッ ト作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年9回 延9人、保 健師相談随時受付 ・ゲートキーパー研修（教職員 対象）受講者42人 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレッ ト作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年8回 延10人、 保健師相談随時受付 ・ゲートキーパー研修 受講者 1団体6人 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレッ ト作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）年5回 延6人、保 健師相談随時受付 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレッ ト作成・公共機関や医療機関に 設置、心の健康カード配布等	・心の健康相談 癒しのカウンセリング（臨床 心理士相談）、保健師相談 ・ゲートキーパー研修 ・普及啓発 困りごと相談窓口リーフレッ ト（令和2年3月に策定した光市 自殺対策計画の周知と併せて リーフレットを作成）全戸配 布、心の健康カード配布等	学校教育課 光市医師会 商工会議所 その他 関係機関・ 関係団体
自然とふれあう機会の推進	【環境政策課】 自然感受推進事業 自然体験学習の推進	自然とのふれあいにより、自然 に対する理解や環境を大切に心 を育むことを目的に実施。自然 とのつながりは、心の健康の保 持・増進に繋がる。	島田川におけるフィールド体験 を中心とした自然体験学習とし て、市民団体と協働で「ひかり エコ自然塾」を2回開催。	島田川におけるフィールド体験 を中心とした自然体験学習とし て、市民団体と協働で「ひかり エコ自然塾」を2回、「水辺の 教室」を1回開催。	次代を担う子どもたちの自然を 敬愛する心を育むとともに、環 境問題について認識を深めるた め、「ひかりエコくらぶ」を創 設し、自然体験学習会を2回開 催	次代を担う子どもたちの自然を 敬愛する心を育むとともに、環 境問題について認識を深めるた め、「ひかりエコくらぶ」にお いて、自然体験学習会を2回開 催	次代を担う子どもたちの自然を 敬愛する心を育むとともに、環 境問題について認識を深めるた め、「ひかりエコくらぶ」にお いて、自然体験学習会を3回開 催 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止対策のため全ての回の開 催を中止	都市政策課
植樹や花壇づくり等による 緑化の推進と環境の向上	【都市政策課】 緑化推進事業	市民が花と緑に触れ合う機会を 設け、緑化活動の普及及び緑地 の整備を図る。	花壇コンクール 参加団体 77 誕生記念植樹 参加者 58名	花壇コンクール 参加団体 74 誕生記念植樹 参加者 43名	花壇コンクール 参加団体 67 誕生記念植樹 参加者 44名	花壇コンクール 参加団体 62 誕生記念植樹 参加者 56名	花壇コンクール（中止） 花壇コンクールに代え、花苗 配付64団体 誕生記念植樹 参加者 60名	都市政策課
保育・幼児期の教育の推 進（子どもの心の発達の特 進）	【子ども家庭課】 保育・幼児教育の内容充 実及び促進（子どもの心 の発達の促進） ①保育及び幼児教育の中 で心の発達の促進支援 ②保護者への啓発（講演 会等の実施）	子どもの心の発達を支援し、豊 かな感性を育むとともに、友達 への思いやりの心を育み、いじ め等の防止を図る。	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	・市内各園で取り組み実施	市内保育所・幼稚園
「スマイルチャレンジ 事業（なごむ）」の推 進	【図書館・健康増進 課】 市民を対象とした光市健 康づくり推進計画に基づ く「スマイルチャレンジ 事業（なごむ）」の推進 こころの処方箋事業	本の書名や著者が分からないよ うに、オリジナルの薬袋に入れ たまま本を貸出す読書療法を取 り入れた取組みにより、こころ の健康の保持増進を図るととも に、こころの健康相談窓口の周 知を行う。	・読む処方箋の実施（3月 自 殺対策強化月間にあわせて実 施） 貸出：80冊 ・読む処方箋にこころの健康 カード等を同封する ・図書館の棚のマークにタッチ するだけで、テーマに合わせた 様々な情報にアクセスできるア プリを使用（カーリルタッチ）	・読む処方箋の実施（3月 自 殺対策強化月間にあわせて実 施） 貸出：72冊 ・読む処方箋にこころの健康 カード等を同封する ・図書館の棚のマークにタッチ するだけで、テーマに合わせた 様々な情報にアクセスできるア プリを使用（カーリルタッチ）	・読む処方箋の実施（3月 自 殺対策強化月間にあわせて実 施） 貸出：52冊 ・読む処方箋にこころの健康 カード等を同封する ・図書館の棚のマークにタッチ するだけで、テーマに合わせた 様々な情報にアクセスできるア プリを使用（カーリルタッチ）	・読む処方箋の実施（3月 自 殺対策強化月間にあわせて実 施） 貸出：10冊 ・読む処方箋にこころの健康 カード等を同封する	継続実施	

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上
個別目標3 歯と口腔の健康づくりの推進

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
歯の健康相談・成人歯科健診の実施	【健康増進課】 歯科保健事業 歯の健康相談・成人歯科健診の実施	正しい口腔衛生知識の普及啓発を図り、むし歯や歯周病予防とともに、8020（80歳で自分の歯を20本以上持つ）運動を啓発し、生涯を通じた歯の健康づくりを図る。	・歯の健康相談（あいぱーく光及び各コミュニティセンターで年39回実施及び窓口で随時受付） ・成人歯科健診（年12回実施） ・歯の無料健診と相談（歯と口の健康週間に年1回実施） ・出前講座（希望に応じて実施）	継続実施	・歯の健康相談（あいぱーく光で年11回、コミュニティセンターで年24回及び窓口で随時受付） ・成人歯科健診（年11回実施） ・歯の無料健診と相談（歯と口の健康週間に年1回実施） ・出前講座（希望に応じて実施）	・歯の健康相談（あいぱーく光で年11回及び窓口で随時受付） ・成人歯科健診（年11回実施） ・歯の無料健診と相談（歯と口の健康週間に年1回実施） ・出前講座（希望に応じて実施）	・歯の健康相談（あいぱーく光で年11回及び窓口で随時受付） ・成人歯科健診（年11回） ・出前講座（希望に応じて実施） ※「歯の無料健診と相談」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	光市歯科医師会、歯科衛生士会光支部、小中学校、学校教育課
幼稚園・保育所・認定こども園 歯科指導の推進	【健康増進課】 歯科保健事業 幼稚園・保育所・認定こども園 歯科指導	正しい口腔衛生知識の普及啓発を図り、むし歯や歯周病予防とともに、8020（80歳で自分の歯を21本以上持つ）運動を啓発し、生涯を通じた歯の健康づくりを図る。	・市内保育園幼稚園等の歯みがき指導（計55回）	・市内保育園幼稚園等の歯みがき指導（計53回）	・市内保育園幼稚園等の歯みがき指導（計45回）	・市内保育園幼稚園等の歯みがき指導（計37回）	・市内保育園幼稚園等の歯みがき指導（計20回）	市内保育園・幼稚園・認定こども園・
光市よい歯のコンクールの展開と8020運動の推進	【健康増進課】 歯科保健事業 光市よい歯のコンクール	正しい口腔衛生知識の普及啓発を図り、むし歯や歯周病予防とともに、8020（80歳で自分の歯を22本以上持つ）運動を啓発し、生涯を通じた歯の健康づくりを図る。	・光市よい歯のコンクール（年1回）	・光市よい歯のコンクール（年1回）	・光市よい歯のコンクール（年1回）	・光市よい歯のコンクール（年1回）	※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止	光市歯科医師会、歯科衛生士会光支部、小中学校、学校教育課
障害者口腔健診及び口腔衛生指導の実施	【健康増進課】 歯科保健事業 障害者口腔健診及び口腔衛生指導	正しい口腔衛生知識の普及啓発を図り、むし歯や歯周病予防とともに、8020（80歳で自分の歯を23本以上持つ）運動を啓発し、生涯を通じた歯の健康づくりを図る。	・障害者口腔健診（年2回実施）及び口腔衛生指導（年4回実施）	・障害者口腔健診（年2回実施）及び口腔衛生指導（年4回実施）	・成人歯科健康診査と同時実施（年11回）	・成人歯科健康診査と同時実施（年11回）	・成人歯科健康診査と同時実施（年11回）	光市歯科医師会
歯周病検診・口腔がん検診の実施	【健康増進課】 口腔がん検診	口腔がんの早期発見・早期対応と市民の健康増進を図る。（50歳以上の市民を対象）	定期5回、イベント1回、計147人受診	定期5回、イベント1回、計148人受診	定期5回、イベント1回、計142人受診	定期5回、イベント1回、計132人受診	定期5回97人受診 ※イベント検診は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	光市歯科医師会
	【健康増進課】 ふしめ歯周病検診	市民を対象としたふしめ歯周病検診	・医療機関個別検診（受診81名）	・医療機関個別検診（受診67名）	・医療機関個別検診（受診151名） ・歯周病チェック事業実施	・医療機関個別検診（受診145名） ・歯周病チェック事業実施	・医療機関個別検診（150人） ・歯周病チェック事業実施	光市歯科医師会
【再掲】 介護予防事業の充実（口腔機能向上講演会の実施等）	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 口腔機能向上講演会を開催する。	口腔機能向上についての普及啓発を図る。	口腔機能向上講演会：1回開催・68名参加	口腔機能向上講演会：1回開催・54名参加	参加者の減少、固定化傾向に伴い事業廃止 今後は、出前講座等を活用し、普及啓発を図る	—	—	—
「スマイルチャレンジ事業（まもる）」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（まもる）」の推進 歯周病チェック事業	歯周病は歯喪失の大きな原因であるとともに、全身の健康状態に影響を及ぼす。早期発見・早期治療を促すため、市が実施しているふしめ歯周病検診実施時に併せて歯周病チェック事業を行うことで受診率向上を図り、ひいては市民の健康寿命の延伸につなげる。	実施なし	実施なし	☆新規事業 ・ふしめ歯周病検診対象者受診券送付の際にPRチラシを送付し、受診動員とともに歯周病予防を推進する。委託医療機関における検診受診者（151人）へ、特典セット（歯ブラシ等）を渡し、定期的な歯科受診と自宅でのセルフケアを促した。	継続実施（受診者145人）	継続実施（受診者150人）	光市歯科医師会

基本目標Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

個別目標 1 望ましい栄養摂取と食生活の実践

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
ライフステージに応じた食育相談・栄養相談の実施	【健康増進課】 食育相談、栄養相談等の実施	栄養・食に関する視点からの生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及を図り、市民の食を通じた健康づくりの向上に寄与する。	・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施） 84人（延102人）【乳児56件、幼児19件、成人27件】	・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施） 87人（延97人）【乳児38件、幼児14件、成人25件】	・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施） 57人（延62人）【乳児38件、幼児12件、成人12件】	・食育相談（毎月19日の食育の日にあわせた定例日・予約にて年12回及び随時実施） 41人（延44人）【乳児27件、幼児10件、成人7件】	継続実施	
健康教室やおやこ料理教室等の実施	【健康増進課】 栄養・食生活に関する出前講座等の実施	栄養・食に関する視点からの生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及を図り、市民の食を通じた健康づくりの向上に寄与する。	・健康教室（栄養・食生活に関する出前健康講座等）	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	光市食生活改善推進協議会、各地区コミュニティセンター
	【地域づくり推進課】 コミュニティ協議会支援事業	小学生と保護者、男性及び高齢者を対象とした料理教室を開催し、望ましい食習慣や知識を習得する機会の拡充や高齢者の心と体の健康づくりや交流を図る。	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	光市老人クラブ連合会、光市食生活改善推進協議会、学校関係、健康増進課、等
レシピカードを活用した栄養・食生活に関する普及啓発	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進 光の恵みいただきます事業	おすすめの旬の食材とその旬の食材を活用したレシピを紹介し、地産地消の推進を図るとともに、家庭における実践的な食の選択力・調理力の向上を図る。	☆新規事業 ①開始PR オープニングイベント実施 【食育月間】平成28年6月3日（金）里の厨 ②普及啓発、レシピカードの活用、旬の食材（野菜）PR 各月指定の旬の食材を使った料理のレシピカードを市内の食料品を扱う店舗等との連携による設置・配布等 設置：11店舗、9,364枚配布 「光の恵みいただきますレシピ」市広報掲載：年12回 市ホームページ掲載：配信延8回、アクセス月平均129件 地域等の教室で活用：計11回・9品・参加者延269人 窓口やイベントでのレシピカード配布：1,047枚	普及啓発、レシピカード・リーフレットの活用、旬の食材（野菜）PR ・市内店舗での配布：11店舗、レシピカード7,713枚、リーフレット3,950枚配布 ・「光の恵みいただきますレシピ」市広報掲載：年11回 ・市フェイスブック掲載：投稿7回、投稿を見た人数（総数）2,749人 ・地域等の教室で活用：計11回・11品・参加者延213人 ・給食での活用：小中学校7回、保育園（8園）26回	食育推進事業 『光の恵みde朝ごはん事業』へ移行	—	—	市内食料品を扱う店舗、光市農業振興拠点施設「里の厨」等
チャイベビ食育事業の実施（未就園親子の食育推進）	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理運営事業 ①親子クッキング（なかよし広場） ②おはなしでてこい（食育に関する絵本の読み聞かせ）	乳幼児期から身近に食とふれあい、楽しく食育を始めることを目的とする。	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出席ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを 「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出席ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを 「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出席ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを 「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出席ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを 「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキングは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・「チャイベビつうしん」に食育について掲載	子育て支援センター
【再掲】 食育子育て支援事業（幼稚園・保育所・認定こども園）の実施	【子ども家庭課】 食育子育て支援事業 ①食育活動への支援 ②食育指導者研修会 ③食育情報の発信	乳幼児期において必要な食の知識の普及や、実体験を通じた独自の取組みの展開を支援していくことで、子どもの健やかな成長に寄与することを目指す。	・市内幼稚園、保育所の食育活動への事業費補助（保育所10、幼稚園5） ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への事業費補助（保育所11、幼稚園5） ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会 中止（新型コロナウイルス感染症の影響による） ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	市内保育所・幼稚園
高齢期の食育推進の展開（栄養調理教室の開催、訪問栄養指導の実施等）	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 高齢者及びその家族等を対象にした栄養調理教室を開催する。	食生活の改善及び健康増進により介護予防を図り、在宅での自立生活継続に繋げる。	光市食生活改善推進協議会：16回開催 （市内8か所で2回ずつ） 光市地域活動栄養士会：2回開催 （市内2か所で1回ずつ） 全体で延べ293名参加	光市食生活改善推進協議会：14回開催 （市内7か所で2回ずつ） 光市地域活動栄養士会：2回開催 （市内2か所で1回ずつ） 全体で延べ283名参加	光市食生活改善推進協議会：14回開催 （市内7か所で2回ずつ） 光市地域活動栄養士会：2回開催 （市内2か所で1回ずつ） 全体で延べ275名参加	光市食生活改善推進協議会：14回開催 （市内7か所で2回ずつ） 光市地域活動栄養士会：2回開催 （市内2か所で1回ずつ） 全体で延べ280名参加	光市食生活改善推進協議会：14回開催 （市内7か所で2回ずつ） 光市地域活動栄養士会：2回開催 （市内2か所で1回ずつ）	光市食生活改善推進協議会・光市地域活動栄養士会・健康増進課
	【高齢者支援課】 介護予防普及啓発事業 高齢者に対し、自宅を訪問して栄養指導及び調理指導等を行う。	食生活の改善及び健康増進により介護予防を図り、在宅での自立生活継続に繋げる。	実績なし	近年における実績もないため事業廃止	—	—	—	光市地域活動栄養士会・健康増進課

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
地域における食生活改善推進活動の支援	【健康増進課】 地域における食生活改善推進活動の支援	栄養・食に関する視点からの生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及を図り、市民の食を通じた健康づくりの向上に寄与する。	・光市食生活改善推進員研修年5回 ・光市食生活改善推進協議会及び推進員活動の支援	・光市食生活改善推進員研修年5回 ・光市食生活改善推進協議会及び推進員活動の支援	・光市食生活改善推進員研修年5回 ・光市食生活改善推進協議会及び推進員活動の支援 ・光市ヘルスメイト（食生活改善推進員）養成講座 7回開催、11人受講	・光市食生活改善推進員研修年6回 ・光市食生活改善推進協議会及び推進員活動の支援	・光市食生活改善推進員研修年4回 ・光市食生活改善推進協議会及び推進員活動の支援	光市食生活改善推進協議会
地産地消の推進	H30～【農林水産課（農政係）】 （～H29農業耕地課） 地産地消推進事業 量の厩及び周辺農地を活用した、農業体験教室、加工体験教室、調理体験教室	農業体験教室を通じ、農業に親しみを感じ、生産者と消費者の交流により、相互理解を深め、農業振興につなげる。	農業振興拠点施設「量の厩」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば、収穫、栽培応用（6コース204人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、いちごスイーツ、木工、土鈴づくり（6コース174人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理（2コース75人）	農業振興拠点施設「量の厩」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば、収穫、栽培応用（6コース131人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり（6コース186人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理（2コース90人）	農業振興拠点施設「量の厩」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、収穫、栽培応用（5コース78人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり、紙芝居づくり（7コース278人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理、食育教室、こどもパン作り教室（4コース139人）	農業振興拠点施設「量の厩」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば栽培、収穫、栽培応用（6コース234人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり、絵画（7コース152人） 調理体験：さとくり料理教室、イタリア料理教室、ゆるべし料理教室、ゆめカフェ料理教室等（5コース132人）	農業振興拠点施設「量の厩」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：加工品づくり、調理体験	量の厩事業協同組合、光市生活改善実行グループ
	H30～【農林水産課（水産係）】 （～H29水産林業課） 学校給食県産食材利用拡大事業 学校給食における県産水産物の利用に補助金交付	地産・地消を推進するため、県内において供給が可能な県産水産物の利用拡大を推進する。	平成29年1月20日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,341人、教職員364人、計3,705人）において、はもの光ソースがけの提供を実施した。	平成29年6月19日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,310人、教職員357人、計3,667人）において、れんこ鯛のから揚げの提供を実施した。	平成30年6月20日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,114人、教職員392人、計3,506人）において、瀬つきあじフライの提供を実施した。	令和元年6月19日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,416人、教職員388人、計3,804人）において、れんこだいのカリカリフライの提供を実施した。	令和2年6月15日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,309人、教職員377人、計3,686人）において、れんこだいのカリカリフライの提供を実施した。	漁業関係者 学校給食センター
「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進 塩分チェック応援事業	汁物の塩分摂取状況等を確認し、理想の塩分摂取について理解を深めるとともに、食べることの始まりとなる乳幼児の保護者への薄味定着及び児の味覚形成、家族の健康づくりの支援を行う。	☆新規事業 乳幼児をもつ保護者とその家族（離乳食教室参加者）を対象に計6回実施。 汁物塩分測定：32人 アンケート調査：76人 塩分の異なるだし汁の飲み比べ：99人 ・その他教室等での塩分測定の実施 健康教室：163人 食生活改善推進員研修：37人 特定保健指導：3人	・乳幼児をもつ保護者とその家族（離乳食教室参加者）を対象に計6回実施。 汁物塩分測定：72人 アンケート調査：124人 塩分の異なるだし汁の飲み比べ：130人 ・その他教室等での塩分測定の実施 延137人	・乳幼児をもつ保護者とその家族（離乳食教室参加者）を対象に計6回実施。 汁物塩分測定：72人 アンケート調査：124人 塩分の異なるだし汁の飲み比べ：130人 ・その他教室等での塩分測定の実施 延137人	・乳幼児をもつ保護者とその家族（離乳食教室参加者）を対象に計6回実施。 汁物塩分測定：64人 アンケート調査：99人 塩分の異なるだし汁の飲み比べ：104人 ・その他教室等での塩分測定の実施 延93人	継続実施	
「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進 光の恵みde朝ごはん事業	朝食や野菜の摂取等、適切な食生活を実践し食を通じた健康づくりを市民が実践できるよう支援することを目的とし、特に若い世代の朝食の欠食が多いため、若い世代の食習慣の確立を重点目的とする。	実施なし	実施なし	☆新規事業 主にフェイスブックを利用した「光市朝ごはん部」という仮想の部を設立。 閲覧：延23,451件 ・市から朝ごはんや食育に関する情報発信 42件 ・部員（市民及び市内に通勤・通学の方）から家庭で調理した「私の朝ごはん」及び市内店舗で購入し食べた「光の朝ごはん」の写真投稿 51件 ・PR部員（旬の食材・モニター品の光の恵みで朝ごはんを作った感想とともに写真投稿）69件 ・サポーター（市内の事業所・団体・生産者）から朝ごはんに関するおすすめ情報投稿 2件	・「光市朝ごはん部」フェイスブックページ閲覧 延23,221件 ・市から朝ごはんや食育に関する情報発信 43件 ・部員（市民及び市内に通勤・通学の方）から朝ごはんの写真投稿 48件 ・PR部員からモニター品を使っの朝ごはんの写真と感想投稿 34件 ・サポーター（市内の事業所・団体・生産者）から朝ごはんに関するおすすめ情報投稿 8件 ・子ども朝ごはん部員から朝ごはんの写真投稿 34件 ・部員合同活動「光市朝ごはん部×朝ヨガ」の実施 30名参加	継続実施	

基本目標Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

個別目標2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
家庭における共食等の推進	【健康増進課】 市民を対象とした光市健康づくり推進計画に基づく「スマイルチャレンジ事業（たべる）」の推進	「光の恵みde朝ごはん事業」において、児童生徒に朝ごはんの写真及びレシピを募集。事業を通して食を話題とし、家庭におけるふれあいの機会とする。	—	—	—	市内の小学生児童全員に応募用紙の配布。応募があったのは34名のうち4名のレシピを市広報に掲載した。	中高校生を中心に継続実施	市内小中学校、高等学校
学校給食における地産地消の推進（地場産食材の活用）	【学校給食センター】 学校給食における地産地消の推進	JAと里の厨が連携した地産地消システムにより、学校給食における地場産食材の安定納入を図る。学校給食における地産地消及び農業振興を図る。児童生徒の感謝の気持ちの育成及び生産者の生産意欲の向上といった効果が期待できる。	地場産（光市産）使用率：22.8%	地場産（光市産）使用率：22.7%	地場産（光市産）使用率：25.0%	地場産（光市産）使用率：25.0%	地場産（光市産）使用率：25.0%	農業・漁業・商工関係者、市内関係各課等
【再掲】 地産地消の推進	H30～【農林水産課（農政係）】 （～H29農業耕地課） 地産地消推進事業 里の厨及び周辺農地を活用した、農業体験教室、加工体験教室、調理体験教室	農業体験教室を通じ、農業に親しみを感じ、生産者と消費者の交流により、相互理解を深め、農業振興につなげる。	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば、収穫、栽培応用（6コース204人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、いちごスイーツ、木工、土鈴づくり（6コース174人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理（2コース75人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば、収穫、栽培応用（6コース131人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり（6コース186人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理（2コース90人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、収穫、栽培応用（5コース78人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり、紙芝居づくり（7コース278人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理、食育教室、こどもパン作り教室（4コース139人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば栽培、収穫、栽培応用（6コース234人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり、絵画（7コース152人） 調理体験：さとくり料理教室、イタリヤ料理教室、ゆるべじ料理教室、ゆめカフェ料理教室等（5コース132人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：加工品づくり、調理体験	里の厨事業協同組合、光市生活改善実行グループ
【再掲】 地産地消の推進	H30～【農林水産課（水産係）】 （～H29水産林業課） 学校給食県産食材利用拡大事業 学校給食における県産水産物の利用に補助金交付	地産・地消を推進するため、県内において供給が可能な県産水産物の利用拡大を推進する。	平成29年1月20日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,341人、教職員364人、計3,705人）において、ほもの光ソースがけの提供を実施した。	平成29年6月19日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,310人、教職員357人、計3,667人）において、れんこ鮎のから揚げの提供を実施した。	平成30年6月20日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,114人、教職員392人、計3,506人）において、瀬つきあじフライの提供を実施した。	令和元年6月19日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,416人、教職員388人、計3,804人）において、れんこだいのカリカリフライの提供を実施した。	令和2年6月15日の市内各小中学校の給食（供給人数：児童生徒3,309人、教職員377人、計3,686人）において、れんこだいのカリカリフライの提供を実施した。	漁業関係者 学校給食センター
農業体験教室等の実施	H30～【農林水産課（農政係）】 （～H29農業耕地課） 地産地消推進事業 里の厨及び周辺農地を活用した、農業体験教室、加工体験教室、調理体験教室	農業体験教室を通じ、農業に親しみを感じ、生産者と消費者の交流により、相互理解を深め、農業振興につなげる。	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば、収穫、栽培応用（6コース204人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、いちごスイーツ、木工、土鈴づくり（6コース174人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理（2コース75人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば、収穫、栽培応用（6コース131人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり（6コース186人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理（2コース90人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、収穫、栽培応用（5コース78人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり、紙芝居づくり（7コース278人） 調理体験：さとくり料理教室、野菜料理、食育教室、こどもパン作り教室（4コース139人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：夏野菜、秋冬野菜、サツマイモ・落花生、そば栽培、収穫、栽培応用（6コース234人） 加工品づくり：そば打ち、豆腐づくり、ハーブ、スイーツづくり、木工、干支づくり、絵画（7コース152人） 調理体験：さとくり料理教室、イタリヤ料理教室、ゆるべじ料理教室、ゆめカフェ料理教室等（5コース132人）	農業振興拠点施設「里の厨」を中心に農業体験研修を実施し、農業に対して親しみを感じてもらうとともに、生産者と消費者の交流を図り、地産地消を推進しました。 農業体験：加工品づくり、調理体験	里の厨事業協同組合、光市生活改善実行グループ

	【担当課】事業名等	事業概要（目的・効果等）	概要の詳細（開催日、参加者数等）					関係機関・関係団体
			平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績見込）	
調理体験教室等の開催	【地域づくり推進課】 コミュニティ協議会支援事業	小学生と保護者、男性及び高齢者を対象とした料理教室を開催し、望ましい食習慣や知識を習得する機会の拡充や高齢者の心と体の健康づくりや交流を図る。	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	・男性料理教室 ・シニア料理教室 （・おやこ料理教室）	光市老人クラブ連合会、光市食生活改善推進協議会、学校関係、健康増進課 等
【再掲】 チャイベビ食育事業の実施	【子ども家庭課】 子育て支援センター管理運営事業 ①親子クッキング（なかよし広場） ②おはなしでてこい（食育に関する絵本の読み聞かせ）	乳幼児期から身近に食とふれあい、楽しく食育を始めることを目的とする。	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出番ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出番ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出番ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキング3回実施（うち1回はパパ出番ですよ！事業） ・食育講座1回 ・親子クッキング実施の様子及びメニューを「食育だより」として掲示 ・年数回食育に関する絵本の読み聞かせを実施	・親子クッキングは新型コロナウイルス感染症大防止対策のため中止 ・「チャイベビつうしん」に食育について掲載	子育て支援センター
【再掲】 食育子育て支援事業（幼稚園・保育所・認定こども園）の実施	【子ども家庭課】 食育子育て支援事業 ①食育活動への支援 ②食育指導者研修会 ③食育情報の発信	乳幼児期において必要な食の知識の普及や、実体験を通じた独自の取組みの展開を支援していくことで、子どもの健やかな成長に寄与することを目指す。	・市内幼稚園、保育所の食育活動への事業費補助（保育所10、幼稚園5） ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への事業費補助（保育所11、幼稚園5） ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会 中止（新型コロナウイルス感染症大防止対策のため） ・食育情報の発信	・市内幼稚園、保育所の食育活動への支援 ・食育指導者研修会1回 ・食育情報の発信	市内保育所・幼稚園
食の安全・安心に関する取組み（情報発信）	【生活安全課】 食の安心・安全に関する情報提供	食の安心・安全に関する情報を提供することで、食の安全性に関する意識の向上を図る。	市ホームページで食の安心・安全に関する情報を掲載	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	光市消費者の会
	【生活安全課】 消費生活研修会の開催	食の安心・安全に関するテーマの学習会を実施することで、食の安全性に関する意識の向上を図る。	他のテーマで実施	消費者の食品選択に役立てるため、生産者の食品の安全確保のための取組みを学ぶ講座を実施 開催日：平成29年11月18日	他のテーマで実施	他のテーマで実施	新型コロナウイルス感染症大防止対策のため、中止	光市消費者の会
ごみの減量に関する取組み（環境学習や啓発活動等）	【環境事業課】 幼稚園・保育園の園児及びその保護者、小学生、中学生を対象とした環境学習の実施 自治会や各種団体を対象とした出前講座の実施	各世代に応じた環境学習を実施することで、ごみに対する関心や意識の高揚を図る。 また、各自治会や各種団体を対象としたごみの分別や出し方に関する出前講座を実施することで、ごみの減量に向けた市民の自発性を促す。	・幼稚園、保育園 9園 園児478人 保護者94人 ・小学校 10校 445人 ・中学校 5回 1,223人 ・出前講座 12件 429人	・幼稚園、保育園 9園 園児470人 保護者88人 ・小学校 12校 478人 ・中学校 8回 1,259人 ・出前講座 18件 860人	・幼稚園、保育園 9園 園児373人 保護者101人 ・小学校 10校 464人 ・中学校 8回 1,190人 ・出前講座 14件 320人	・幼稚園、保育園 7園 園児244人 保護者92人 ・小学校 12校 449人 ・中学校 9回 1,267人 ・出前講座 16件 474人	・小学校 11校 415人 ・出前講座 1件 60人	市内幼稚園・保育園 市内小中学校

第4章 中間評価の結果

計画の指標項目について、以下のとおり、評価を行いました。今後、全計画期間最終年度（令和7年度）に向けて、令和3年度からの計画後期期間（5年間）において、これまで以上に関係者や関係機関と連携を図り、前期期間に引き続いて、市民の皆さんが自分の健康状態を知り、自分に相応しい健康づくりの計画を立てること、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も含めた「まもる」に加え、自分自身で取り組む3つの行動「うごく」「たべる」「なごむ」の4つの要素で構成する「光 スマイルライフ プロジェクト ～光市健康応援プロジェクト～」についても新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した推進を図り、「あなたが主役 みんなが笑顔で元気に過ごせるまち 光」の実現を目指します。

1 指標の評価方法

計画策定時の値（基準値）と、直近値を比較し、以下のとおり a・b・c・d・e の5段階で各指標（項目）を評価しました。

- a 改善している：改善しており、中間目標に到達している
- b 改善傾向：改善傾向であるが、中間目標に到達していない
- c 変わらない：計画策定時の近況値（基準値）とほぼ変わらない（±0.1%）
- d 悪化傾向：計画策定時の近況値（基準値）に比べ悪化傾向である
- e 評価困難：設定した指標又は把握方法が策定時と異なるため評価困難

2 指標の現状値

（1）健康指標

健康指標	基準値 (平成36年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 健康寿命 男性 女性	(H22年) 78.13年 83.13年	増加 (※)	(H27年) 79.36年 84.39年	a a	増加 (※)	㉞
② 「健康寿命」の周知度 （「健康寿命」という言葉 も内容も知っている人）	48.0%	60.0%	65.0%	a	75.0%	㉟
③ 普段から健康に心がけ ている人の割合	84.8%	95.0%	84.7%	c	95.0%	㊲

（※）平均寿命の増加分を上回る健康寿命の延伸

㉞ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県健康福祉部健康増進課（令和2年7月）※現状値は5年に1回の国勢調査年

㉟ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㊲ 光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

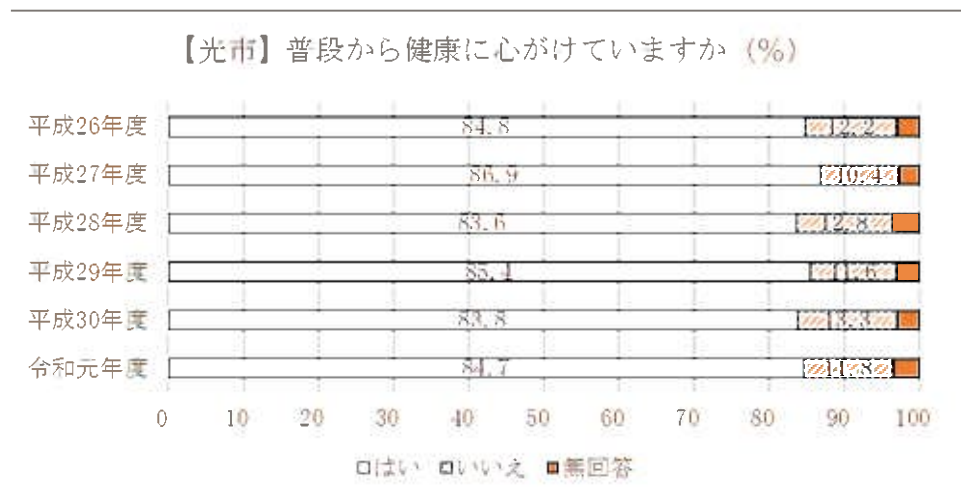
① 健康寿命【第2章 光市の現状 2（1）（4ページ）参照】

光市の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は近年延伸傾向にあり、平成22年度から平成27年度の5年間で、男性1.23年、女性1.26年延伸しています。

② 「健康寿命」の周知度

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「健康寿命」という言葉も内容も知っている市民（20歳以上）の割合は、平成26年度48.0%から、令和2年度65.0%と増加している状況です。

③ 普段から健康に心がけている人



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、普段から健康に心がけている市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（84.8%）から令和元年度（84.7%）まで、大きな変化はみられない状況です。

（2）個別指標

Ⅰ ライフステージに応じた健康づくりの推進

1 次世代の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 全出生児数中の低体重児 (2,500g未満)の割合	9.0%	減少	(R1年) 9.0%	c	減少	㊦
② 妊婦の喫煙者の割合	4.5%	減少	(R1年) 1.2%	a	0%	㊦
③ 喫煙に興味(関心)がある 生徒の割合 (中学生・高校生)	4.1%	減少	3.6%	a	減少	㊦
④ 「自分は健康(元気)だ」 と思う児童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	79.6% 76.6% 75.6%	85.0%	81.5% 86.5% 79.5%	b a b	増加	㊦
⑤ 朝食を毎日とっている児 童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	84.7% 85.2% 70.9%	増加	79.5% 80.5% 71.8%	d d a	100%に 近づける	㊦

⑥ 運動を習慣的にしている 子どもの割合（学校の体育 の授業以外に、ほとんど毎日 （週に3日以上）運動・スポー ツをしている児童の割合） （小学5年生男子） （小学5年生女子）	(H25) 60.0% 34.7%	増加	—	e e ※	増加	㊦
⑦ 睡眠で休養が十分にとれ ていると思う生徒の割合 （中学生・高校生）	51.4%	55.0%	61.7%	a	60.0%	㊦

㊦光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㊦光市健康増進課

㊦文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（平成25年度）

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成29・30・令和元年度）同設問の実施がない状況

① 低出生体重児

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
9.0%	11.1%	8.7%	6.1%	10.4%	9.0%

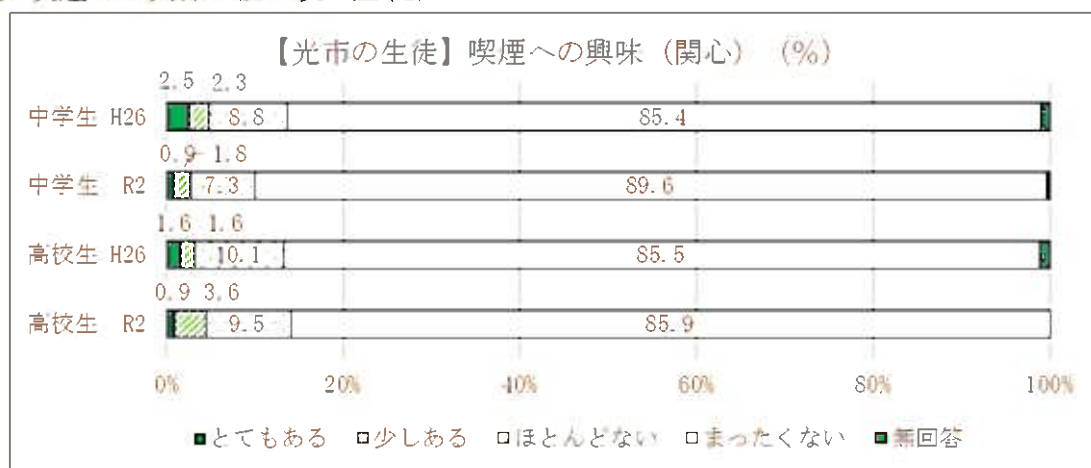
光市の全出生児数中の低体重児（2,500g未満）の割合は、近年増減はあるものの平成26年度と令和元年度は同じ状況です。

② 妊婦の喫煙者

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4.5%	2.6%	2.7%	5.3%	1.6%	1.2%

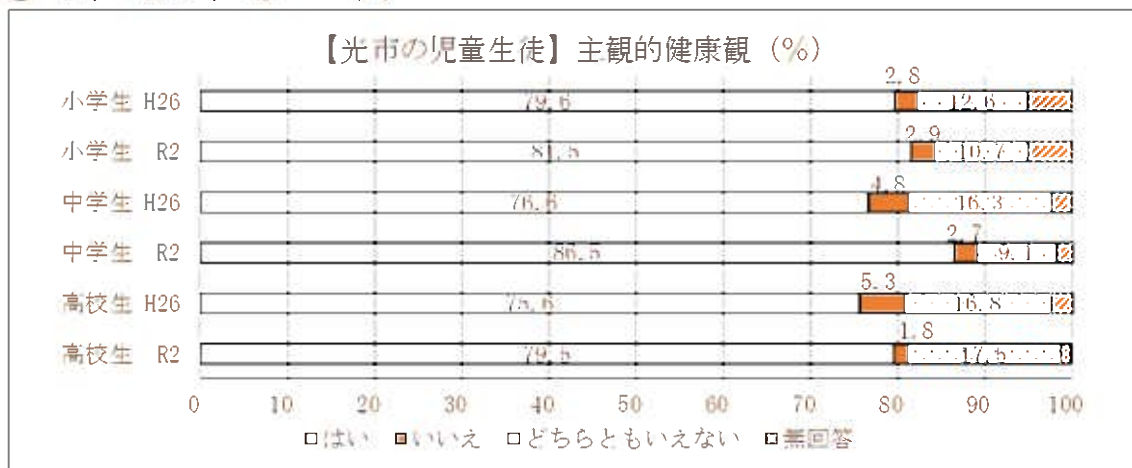
光市の妊婦（妊娠届出者数）中の喫煙者の割合は、平成29年度が多かったものの平成26年度以降、減少傾向の状況です。

③ 喫煙への興味・関心度（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、たばこを吸うことに興味（関心）がある（とてもある・少しある）生徒（中高生）の割合は、平成26年度4.1%（中学生4.8%、高校生3.2%）から、令和2年度3.6%（中学生2.7%、高校生4.5%）と減少している状況です。

④ 主観的健康観（児童生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「自分は健康（元気）だと思いますか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生・高校生ともに平成 26 年度（小学生 79.6%、中学生 76.6%、高校生 75.6%）から、令和 2 年度（小学生 81.5%、中学生 86.5%、高校生 79.5%）と増加しています。

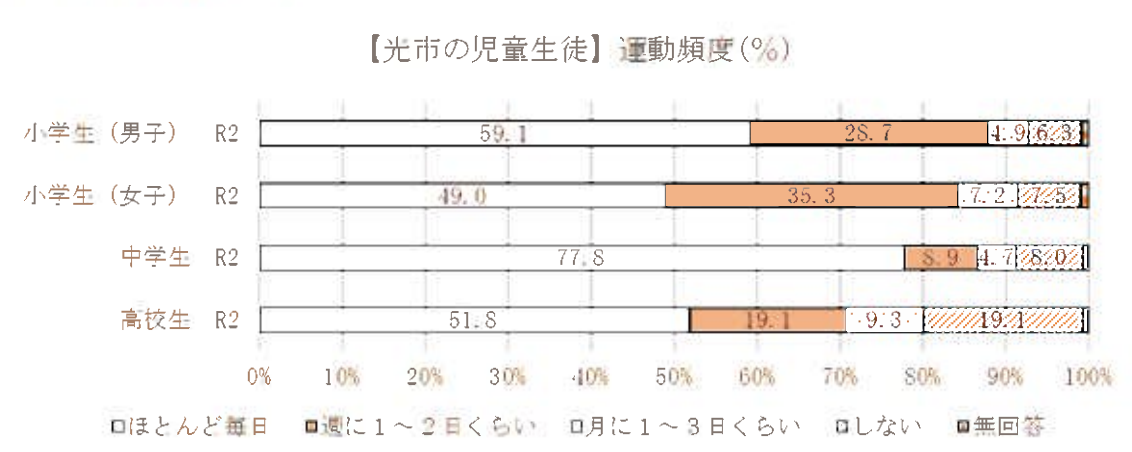
しかし、自分は健康（元気）だと思っていない児童生徒も数パーセントいる状況です。

⑤ 朝食の摂取状況（児童生徒）【第 2 章 光市の現状 5（1）（12 ページ）参照】

光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「朝食（朝ごはん）は、毎日、食べますか」という設問に「毎日食べる」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生はともに平成 26 年度（小学生 84.7%、中学生 85.2%）から、令和 2 年度（小学生 79.5%、中学生 80.5%）と減少しており、高校生は平成 26 年度（70.9%）から、令和 2 年度（71.8%）と微増しているものの、朝食の欠食がある児童生徒が約 2～3 割いる状況です。

⑥ 運動習慣（児童生徒）

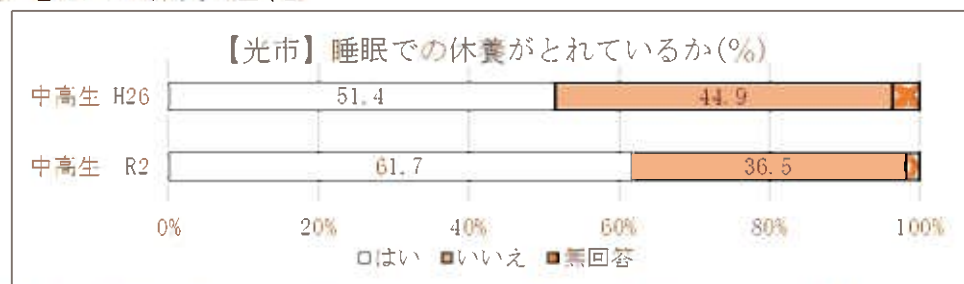
スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成 29・30・令和元年度）、平成 25 年度と同調査において、同じ設問の実施がない状況のため、比較しての評価は困難です。



【第2章 光市の現状 3（1）（8ページ）参照】

参考として、令和2年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果では、「運動やスポーツをどのくらいしていますか（学校の体育の授業をのぞきます）」という設問に「ほとんど毎日（週に3日以上）」と回答の児童の割合は、小学生男子59.1%、小学生女子49.0%という状況です。また、学年別では、小学3年生49.9%、小学6年生57.3%、中学生77.8%、高校生51.8%という状況です。

⑦ 睡眠での休養（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、最近、睡眠で休養が十分とれている生徒（中高生）の割合は、平成26年度51.4%（中学生52.2%、高校生50.7%）から、令和2年度61.7%（中学生61.6%、高校生61.8%）と増加している状況です。

2 働く世代の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① がん検診受診率 ・胃がん検診	7.8%	増加	(H29) 6.9%	d	40%	㊦
・肺がん検診	19.0%		(H29) 17.8%	d		
・大腸がん検診	16.6%		(H29) 17.0%	a		
・子宮がん検診	23.1%		(H29) 23.0%	c	50%	
・乳がん検診	18.9%		(H29) 18.4%	d		
② 「自分は健康だ（非常に健康だ・健康な方だ）」と思う人の割合	69.3%	75.0%	68.9%	d	増加	㊦
③ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	(H24) 男 38.0 女 29.0	減少	(H29) 男 35.2 女 21.5	a a	男 32.0 女 26.6	㊦
④ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	(H24) 男 18.5 女 8.2	減少	(H29) 男 19.4 女 8.5	d d	男 16.0 女 7.3	㊦

㊦ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「やまぐち健康マップ」（令和2年3月）

㊦ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

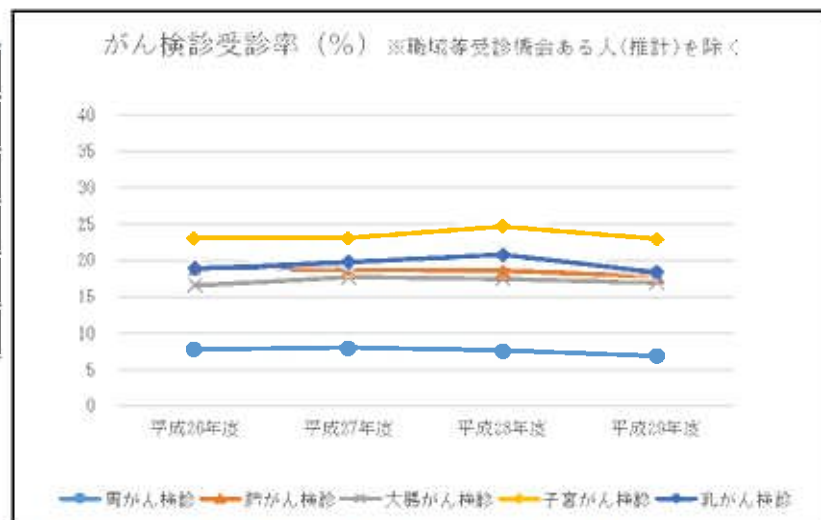
⑤ 光市健康増進課

※計画策定時の基準値（平成 26 年度）は、職域等で受診機会がある人を推計し、全住民より引いた数を対象者としている。平成 28 年度より国報告において全住民を対象として受診率を算出することとなり、平成 29 年度までは比較するため同様の算出方法での受診率も公表しているため、直近値は平成 29 年度としている。

① がん検診受診状況

	(%)			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
胃がん検診	7.8	8.0	7.6	6.9
肺がん検診	19.0	18.7	18.6	17.8
大腸がん検診	16.6	17.7	17.5	17.0
子宮がん検診	23.1	23.1	24.7	23.0
乳がん検診	18.9	19.8	20.8	18.4

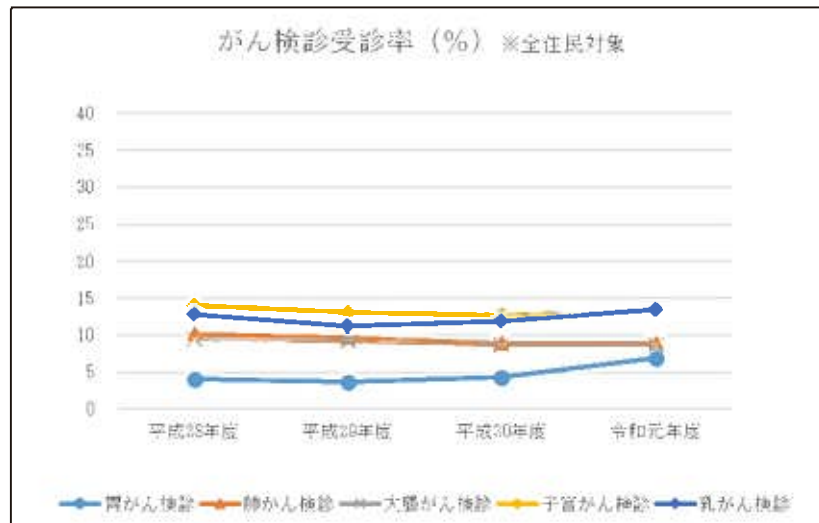
（対象者数：職域等で受診機会がある人を推計し、全住民より引いた数）



本市の平成 26 年度から平成 29 年度のがん検診受診率は、大腸がん検診はやや増加傾向ですが、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診は減少傾向です。いずれも、受診率は低い状況です。

	(%)			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
胃がん検診	4.1	3.7	4.3	6.9
肺がん検診	10.2	9.7	8.9	8.9
大腸がん検診	9.5	9.2	8.7	8.7
子宮がん検診	14.0	13.1	12.8	13.2
乳がん検診	12.8	11.7	11.9	13.4

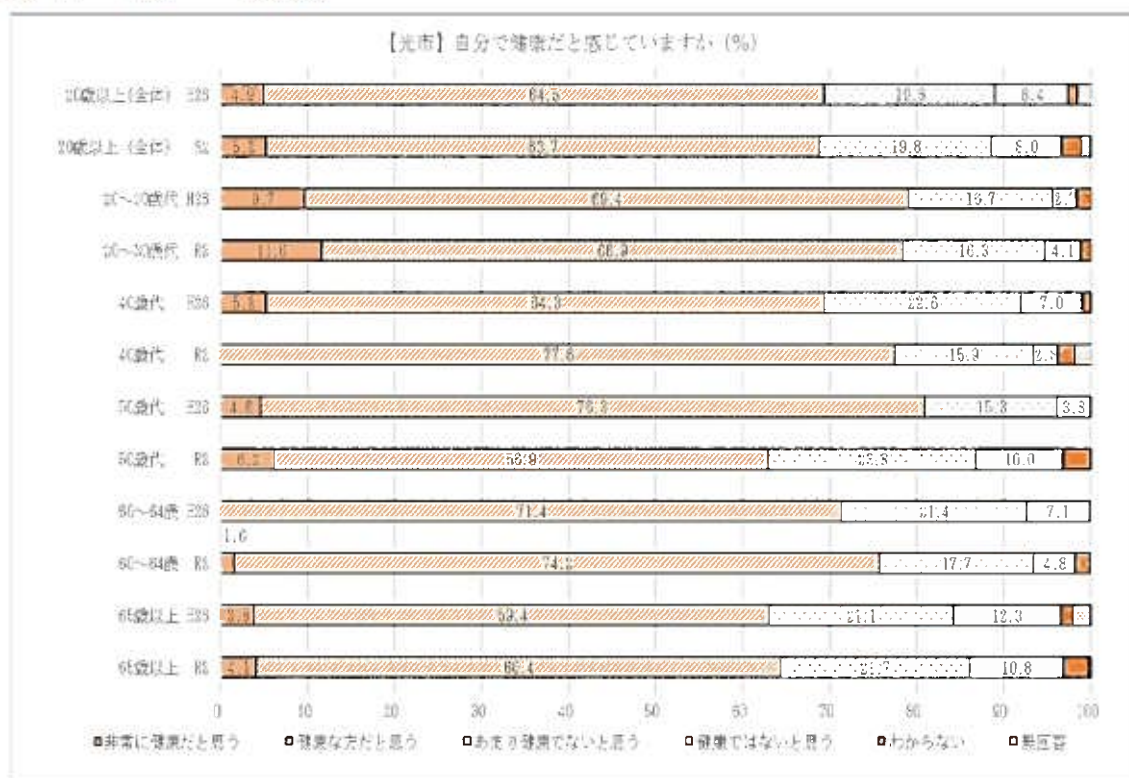
（対象者数：全住民）



参考として、平成 28 年度より国報告において全住民を対象として受診率を算出することとなり、平成 28 年度から令和元年度のがん検診受診率では、胃がん検診及び乳がん検診は増加傾向ですが、肺がん検診・大腸がん検診・子宮がん検診は減少傾向です。

なお、胃がん検診は平成 30 年度から対象者（40 歳以上から 50 歳以上へ）・受診間隔（毎年から 2 年に 1 回へ）の変更、また、検査方法がエックス線検査と内視鏡検査（胃カメラ）の選択制となっています。

② 主観的健康観（成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「あなたは、自分で健康だと感じていますか」という設問に「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答の市民（20歳以上）の割合は、平成26年度（69.3％）から、令和2年度（68.9％）と減少しています。なかでも、年代別で50歳代が「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答する割合は平成26年度（80.9％）から、令和2年度（63.1％）と大幅に減少しており、「あまり健康でないと思う」「健康でないと思う」と回答する割合が平成26年度（19.1％）から令和2年度（33.8％）と大きく増加している状況です。

③ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
男	38.0	37.0	37.5	32.6	48.9	35.2
女	29.0	24.5	20.8	20.6	13.5	21.5

光市の脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は、男女とも減少傾向です。

④ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
男	18.5	15.0	17.5	20.1	18.8	19.4
女	8.2	8.3	11.2	8.9	7.8	8.5

光市の虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は、男女とも横ばいの状況です。

3 高齢期の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
①「自分は健康だ(非常に健康だ・健康な方だ)」と思う人の割合(65歳以上)	63.2%	70.0%	64.5%	b	増加	㊦
②日頃、楽しめる趣味や生きがいがある人の割合(65歳以上)	82.6%	85.0%	82.3%	d	増加	㊦
④地域の自治会やコミュニティ活動への参加率「参加している(いつも＋時々)」	60.8%	80.0%	51.3%	d	増加	㊦

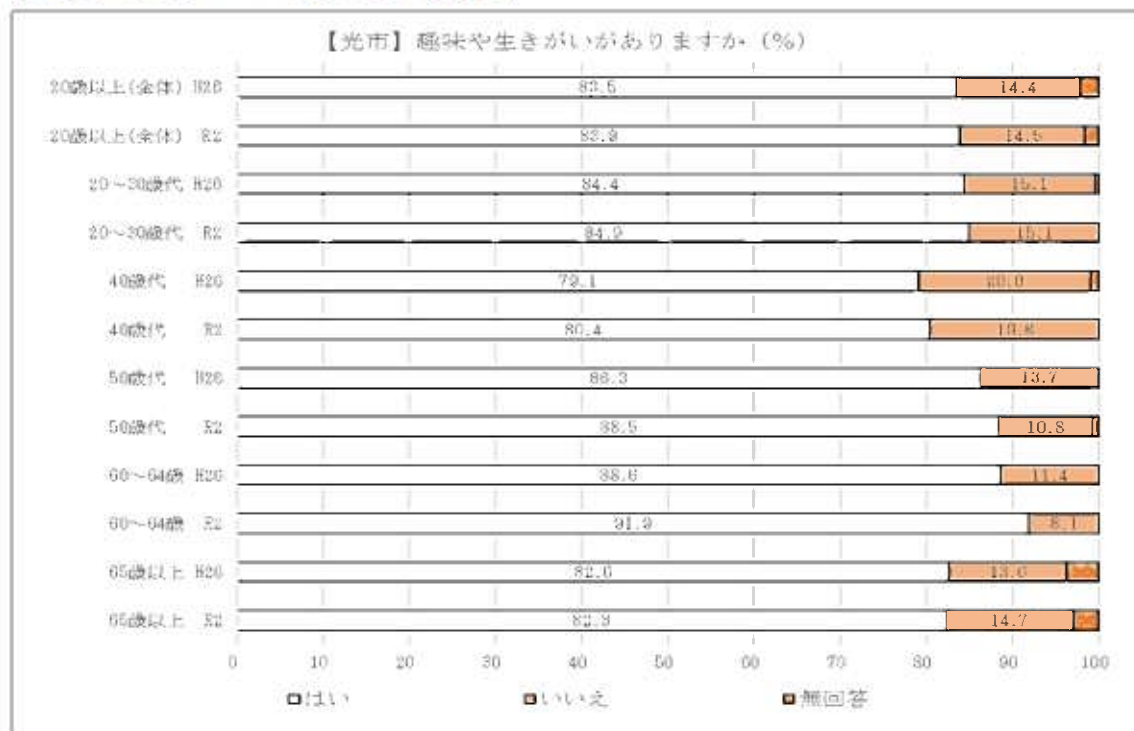
㊦光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成26年度、令和2年度)

㊦光市「まちづくり市民アンケート調査」(平成26年度、令和元年度)

① 主観的健康観(65歳以上) I-2-②(41ページ)グラフ参照

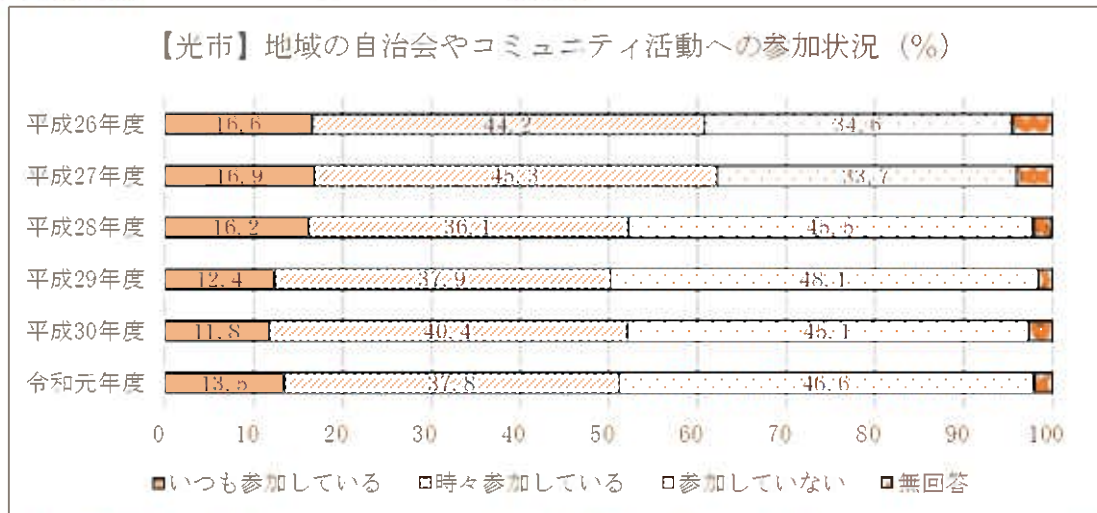
光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「あなたは、自分で健康だと感じていますか」という設問に「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答の市民(65歳以上)の割合は、平成26年度(63.2%)から、令和2年度(64.5%)とやや増加している状況です。

② 趣味や生きがいの有無(65歳以上)



光市「健康・食育に関するアンケート調査(成人)」の結果、「日頃、楽しめる趣味や生きがいがありますか」という設問に「はい」と回答の市民(65歳以上)の割合は、平成26年度(82.6%)から、令和2年度(82.3%)とやや減少している状況です。

③ 地域の自治会やコミュニティ活動への参加



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、地域の自治会やコミュニティ活動へ参加している（いつも参加している＋時々参加している）市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（60.8％）から令和元年度（51.3％）と、減少している状況です。

Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

1 身体活動と運動の促進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合	36.4%	40.0%	41.0%	a	45.0%	㊦
② 健康づくりのために意識的に運動をしている人の割合（いつもしている、時々している）	65.8%	70.0%	72.1%	a	75.0%	㊦
③ 運動を習慣的にしている子どもの割合（学校の体育の授業以外に、ほとんど毎日（週に3日以上）運動・スポーツをしている児童の割合） 【再掲（1-1）】 （小学5年生男子） （小学5年生女子）	(H25) 60.0% 34.7%	増加	—	e e ※	増加	㊦

㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㊦文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（平成25年度）

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成29・30・令和元年度）同設問の実施がない状況

① 定期的な運動習慣

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（36.4%）から平成29年度（41.0%）と、増加している状況です。

② 意識的な運動の実践

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、「日常生活において、健康維持・増進のために、意識的に体を動かすように心がけている（いつも＋ときどき）」市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（65.8%）から平成29年度（72.1%）と、増加している状況です。

③ 運動習慣（児童生徒）【再掲（I-1）】 I-1-⑥（38ページ）参照

【第2章 光市の現状 3（1）（8ページ）参照】

2 こころの健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 自殺死亡率(人口10万人あたり)	16.82	減少	13.5	a	減少	㉗
② 睡眠で休養が十分にとれていると思う人の割合 【再掲（I-1）】 (中学生・高校生) (20～50歳代)	51.4% 51.4%	55.0%	61.7% 48.9%	a d	60.0%	㉘
③ ストレスを毎日感じている人の割合 (中学生・高校生) (20～50歳代)	18.5% 22.9%	減少	17.3% 27.6%	a d	減少	㉙
④ 自分なりのストレス解消法をもっている人の割合	74.5%	80.0%	69.9%	d	90.0%	㉚
⑤ 自分のことが好き(好き・どちらかといえば好き)という生徒の割合 (中学生) (高校生)	40.7% 30.1%	増加	45.9% 36.9%	a a	増加	㉛

㉗山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年度）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㉘光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㉙内閣府「地域における自殺の基礎資料」（平成26年、平成30年）

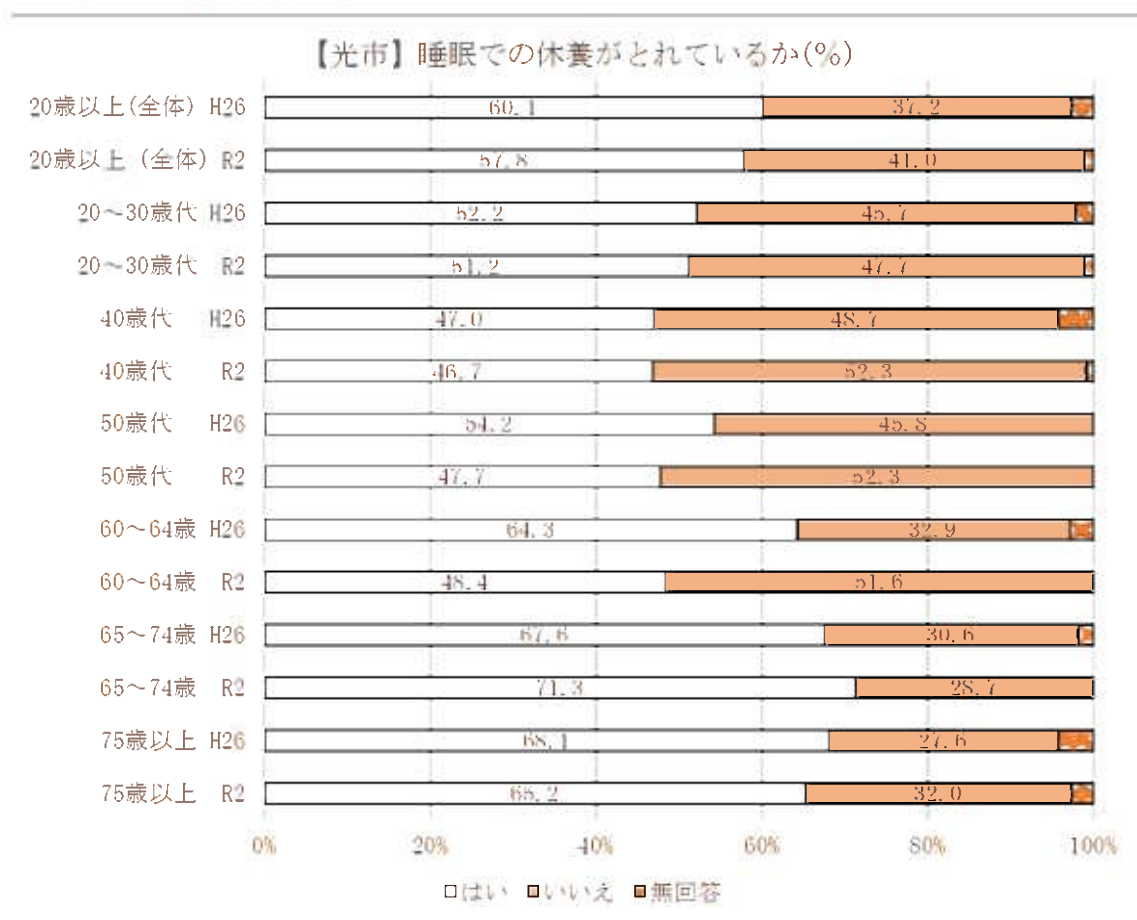
① 自殺死亡率（人口 10 万人あたり）

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
16.82	13.2	15.2	13.4	13.5

光市の自殺死亡率（人口 10 万人あたり）は、平成 26 年以降、減少傾向の状況です。

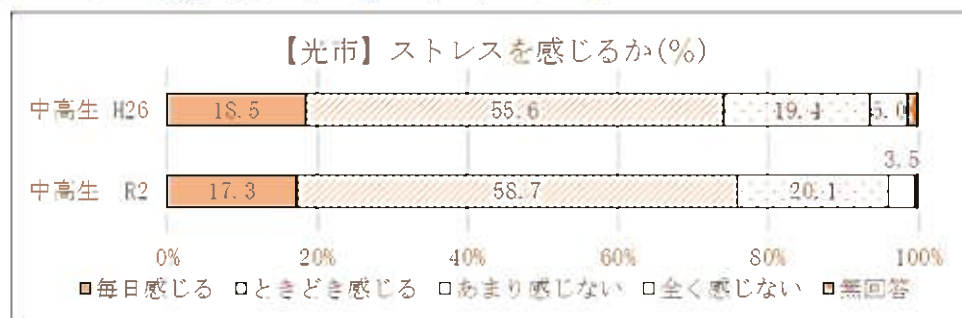
② 睡眠での休養（生徒：I－1－⑦（39 ページ）参照）（成人）

【再掲】光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、最近、睡眠で休養が十分とれている生徒（中高生）の割合は、平成 26 年度 51.4%（中学生 52.2%、高校生 50.7%）から、令和 2 年度 61.7%（中学生 61.6%、高校生 61.8%）と増加している状況です。

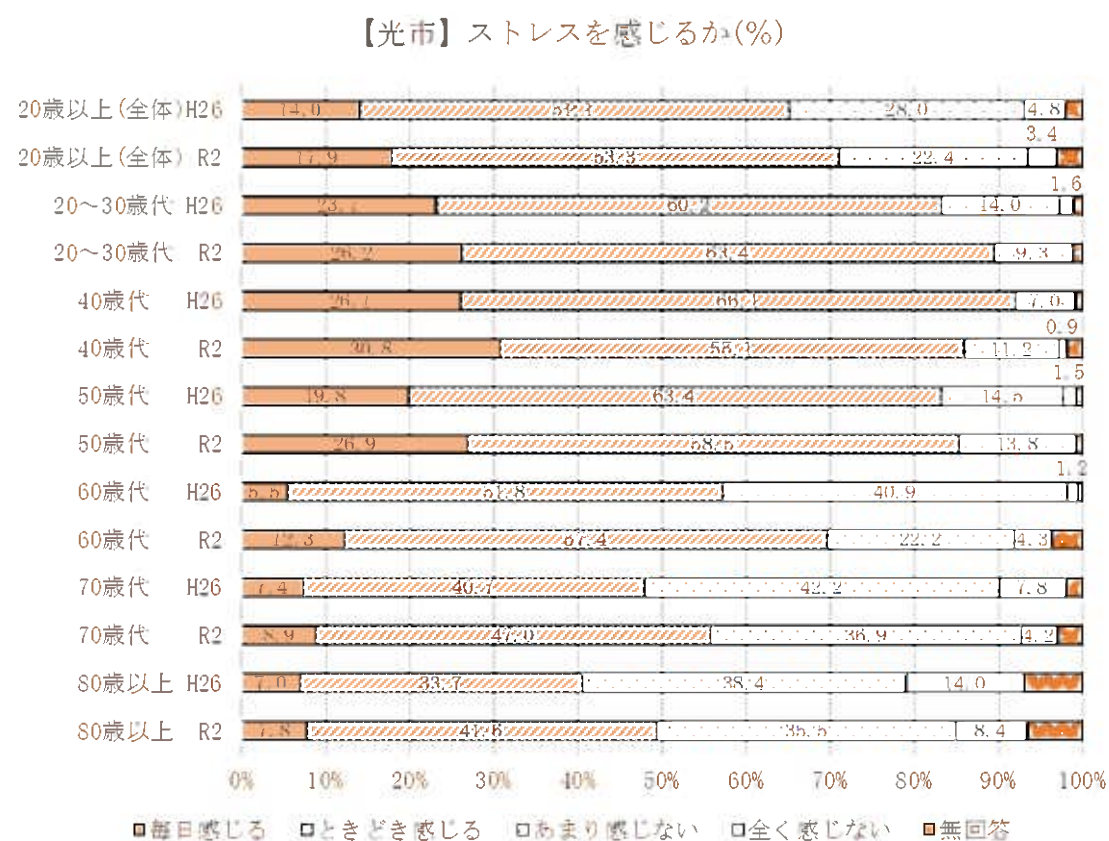


光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、いつもの睡眠で休養が十分とれている市民（20 歳以上）の割合は、平成 26 年度（60.1%）から、令和 2 年度（57.8%）と減少している状況です。年代別で、20～50 歳代の割合は、平成 26 年度（51.4%）から、令和 2 年度（48.9%）と減少しており、増加しているのは 65～74 歳の年代のみです。

③ ストレスを毎日感じている人（生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、ストレスを毎日感じている生徒（中高生）の割合は、平成26年度18.5%（中学生19.0%、高校生18.0%）から、令和2年度17.3%（中学生17.5%、高校生17.0%）と減少している状況です。

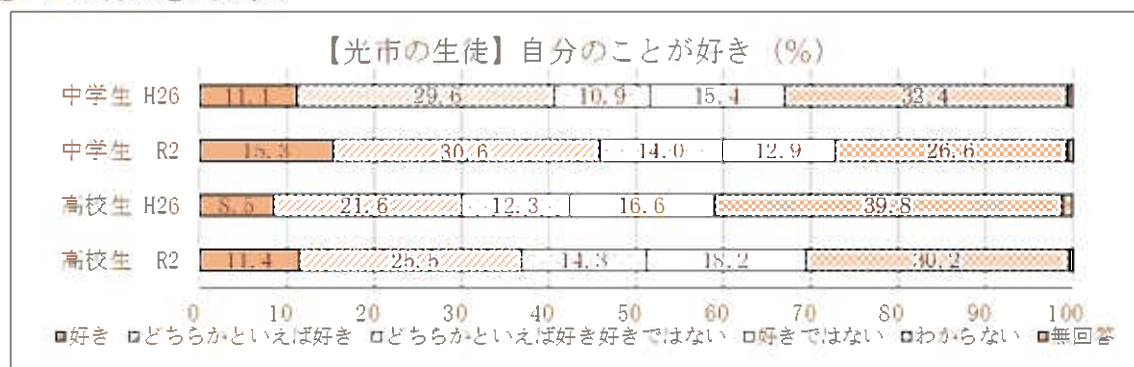


光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、ストレスを毎日感じている市民（20歳以上）の割合は、平成26年度（14.0%）から、令和2年度（17.9%）は増加しています。年代別で、20～50歳代の割合は、平成26年度（22.9%）から、令和2年度（27.6%）と増加しており、どの年代でも成人では増加している状況です。

④ ストレス解消法の有無

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、「自分なりのストレス解消法を持っている」市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（74.5%）から平成29年度（69.9%）と、減少している状況です。

⑤ 自己肯定感（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合は、中学生・高校生ともに平成26年度（中学生40.7%、高校生30.1%）から、令和2年度（中学生45.9%、高校生36.9%）と増加しています。

しかし、「わからない」と回答している生徒の割合が減少（平成26年度中学生32.4%、高校生39.8%から、令和2年度中学生26.6%、高校生30.2%）しており、自分のことが好きではない（どちらかといえば好きではない・好きではない）生徒の割合が中学生・高校生ともに、平成26年度（中学生26.3%、高校生28.9%）から、令和2年度（中学生26.9%、高校生32.5%）と増加している状況です。

3 歯と口腔の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 3歳児健康診査でう歯のない子どもの割合	86.0%	90.0%	80.8%	d	増加	㊦
② よくかんで味わって食べる児童生徒の割合 (小学生・中学生・高校生)	61.0%	70.0%	76.3%	a	増加	㊦
③ 毎食後歯をみがく人の割合 (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	61.9% 69.1% 22.2% 27.5%	10% 以上の 増加	58.0% 65.0% 35.7% 30.9%	d d a b	増加	㊦
④ 歯科のかかりつけ医がある人の割合	23.9%	40.0%	27.2%	b	60.0%	㊦
⑤ 過去1年間に歯科健康診査を受けた人の割合	42.4%	55.0%	53.6%	b	65.0%	㊦

㊦ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㊦ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

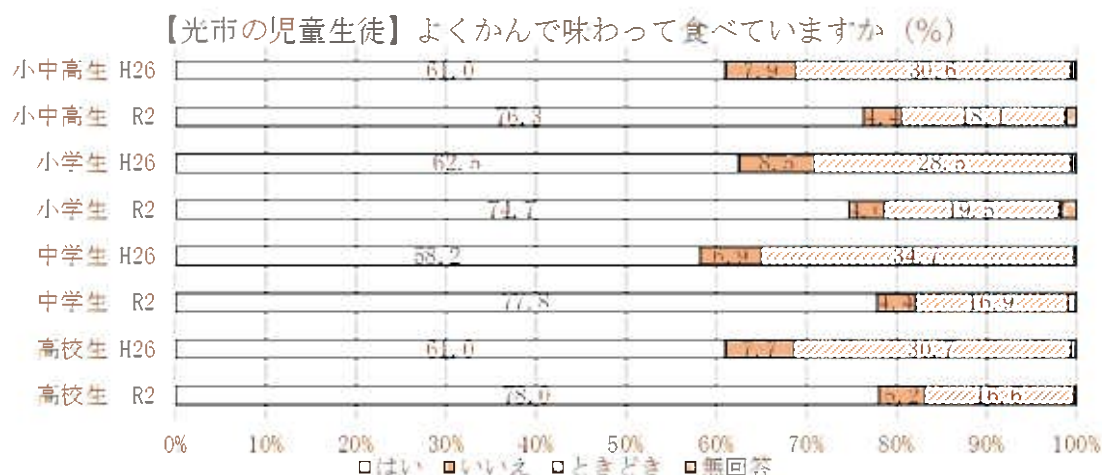
㊦ 光市健康増進課

① う歯のない子ども

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
86.0%	84.1%	80.4%	77.9%	78.5%	80.8%

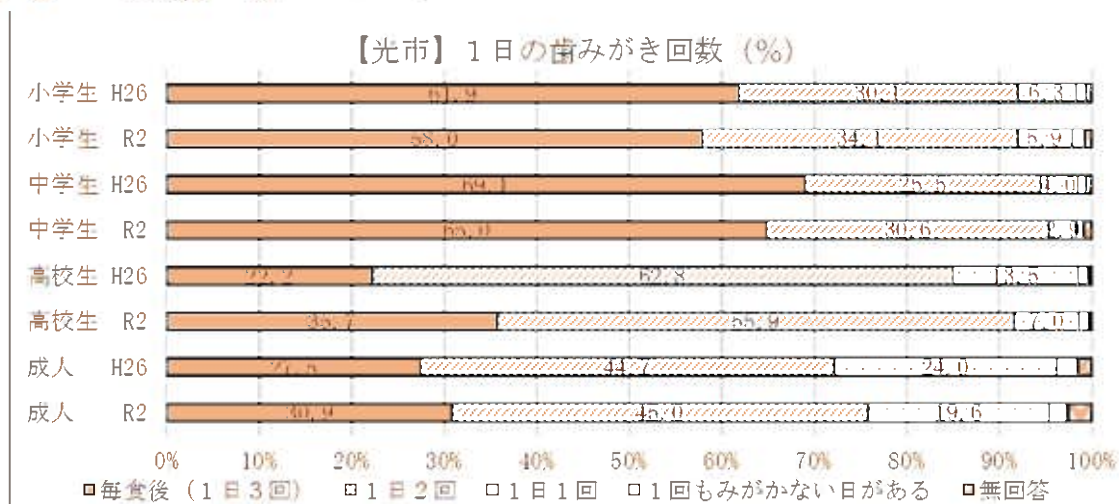
光市の3歳児健康診査においてう歯のない子どもの割合は、平成29年度まで減少傾向でしたが、近年やや増加傾向です。

② よくかんで味わって食べる児童生徒



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「よくかんで味わって食べていますか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合は、平成26年度61.0%（小学生62.5%、中学生58.2%、高校生61.0%）から、令和2年度76.3%（小学生74.7%、中学生77.8%、高校生78.0%）と増加している状況です。

③ 歯みがきの頻度（児童生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、毎食後歯をみがく市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・中学生はともに平成26年度（小学生61.9%、中学生69.1%）から、令和2年度（小学生58.0%、中学生65.0%）と減少しており、高校生・成人はともに平成26年度（高校生22.2%、成人27.5%）から、令和2年度（高校生35.7%、成人30.9%）と増加している状況です。

④ 歯科のかかりつけ医の有無

光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、「現在、かかりつけ医療機関がありますか」の設問に「はい」と回答した人のうち、かかりつけ医が「歯科医師」の割合は、平成26年度（23.9%）から令和2年度（27.2%）と、増加している状況です。

⑤ 過去1年間の歯科健康診査受診状況

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、過去1年間に歯科健康診査を受けた市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（42.4%）から平成29年度（53.6%）と、増加している状況です。

Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

1 望ましい栄養摂取と食生活の実践

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和3年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 朝食を毎日とっている児童生徒の割合 【再掲（Ⅰ-1）】 (小学生) (中学生) (高校生)	84.7% 85.2% 70.9%	増加	79.5% 80.5% 71.8%	d d a	100%に 近づける	㊦
② ほぼ毎日（週6日以上） 朝食を摂取している人の 割合	79.9%	85% 以上	81.9%	b	90% 以上	㊦
③ 1日3回野菜を食べる人の 割合 (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	39.2% 39.5% 23.6% 26.8%	10% 以上の 増加	31.3% 40.1% 25.5% 21.4%	d b b d	増加	㊦
④ 主食、主菜、副菜のそろ った食事を1日2回以上 とる人の割合	48.9%	60% 以上	53.8%	b	70% 以上	㊦
⑤ 家で料理をする機会があ る人の割合（毎日ある・ 週に数回ある）＊児童 生徒は大人と一緒にするこ とも含む (小学生・中学生 ・高校生) (成人男性)	23.8% 17.5%	10% 以上の 増加	22.2% 24.7%	d b	増加	㊦
⑥ 「食育」に関心がある人の 割合	80.6%	90% 以上	74.9%	d	90% 以上	㊦

㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㊦光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㊦光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

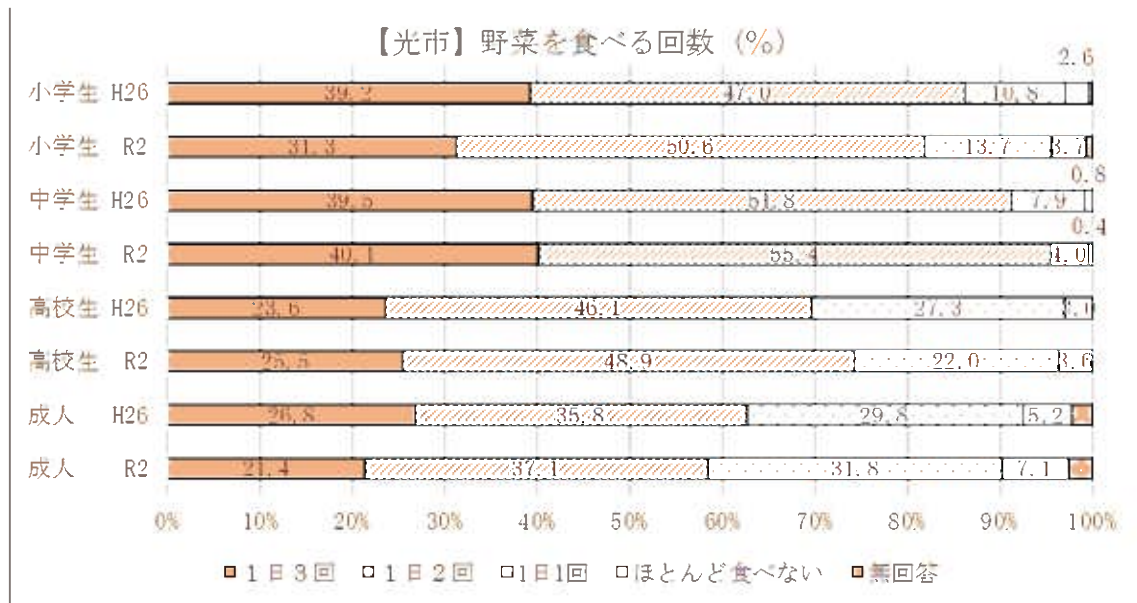
① 朝食の摂取状況（児童生徒）【再掲（I-1）】 I-1-⑤（38ページ）参照
 【第2章 光市の現状 5（1）（12ページ）参照】

② 朝食の摂取状況（成人）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、朝食をほぼ毎日（週6日以上）摂取している市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（79.9%）から平成29年度（81.9%）と、やや増加している状況です。

③ 野菜の摂取状況（児童生徒、成人）

【第2章 光市の現状 5（2）（13ページ）参照】

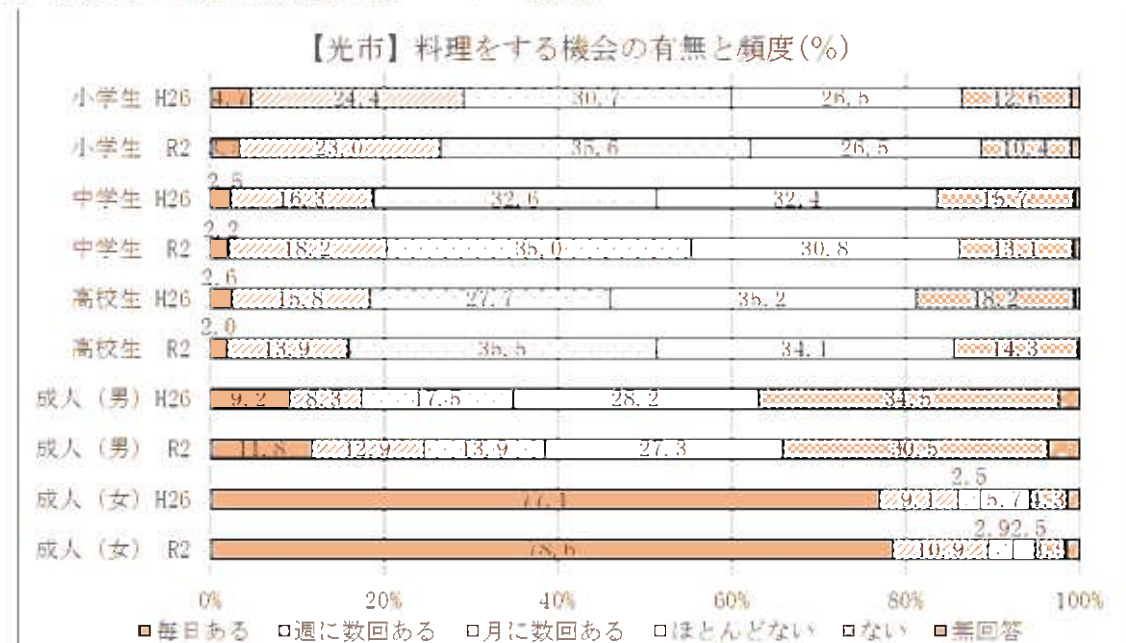


光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、1日3回野菜を食べる市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・成人はともに平成26年度（小学生39.2%、成人26.8%）から、令和2年度（小学生31.3%、成人21.4%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生39.5%、高校生23.6%）から、令和2年度（中学生40.1%、高校生25.5%）と増加している状況です。

④ 主食、主菜、副菜のそろった食事の摂取状況（成人）

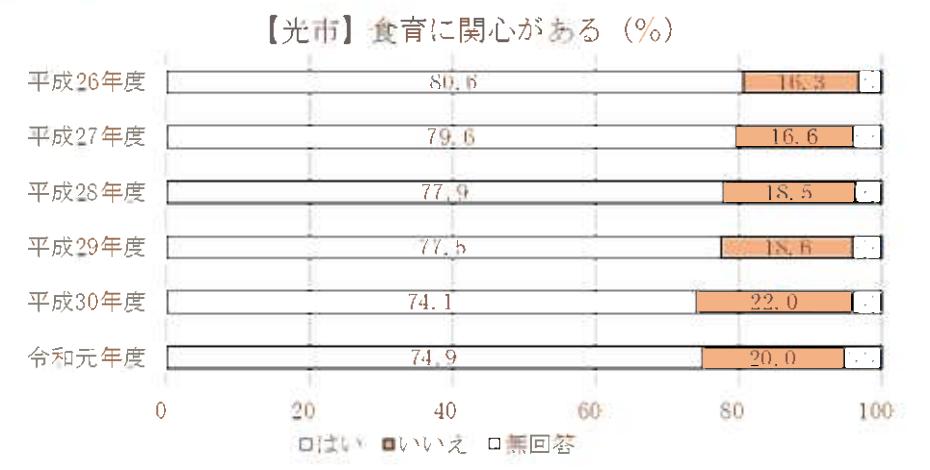
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、主食、主菜、副菜のそろった食事を1日2回以上とることが週に6日以上の市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（48.9%）から平成29年度（53.8%）と増加している状況です。

⑤ 家庭での料理体験状況（児童生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、家で料理をする機会がある（毎日ある・週に数回ある）（児童生徒は大人と一緒にすることも含む）児童生徒の割合は、平成26年度23.8%（小学生29.1%、中学生18.8%、高校生18.4%）から、令和2年度22.2%（小学生26.5%、中学生20.4%、高校生15.9%）と減少しており、20歳以上成人男性の割合は、平成26年度17.5%から、令和2年度24.7%と増加している状況です。

⑥ 「食育」への関心



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、「食育」に関心がある市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（80.6%）から令和元年度（74.9%）と減少している状況です。

2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 誰かと食事をする人の割合（家で一人で食事をする ことがない児童生徒）（家族 や友人など、誰かと一緒に 食事をする機会が1日1回 以上ある成人） (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	73.2% 42.8% 37.6% 64.4%	75%以上 50%以上 50%以上 70%以上	72.1% 46.6% 41.8% 64.1%	d b b d	80%以上 60%以上 60%以上 80%以上	⑦
② 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをい つもする人の割合 (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	78.4% 68.1% 56.2% 50.5%	10% 以上の 増加	76.0% 78.7% 70.0% 49.0%	d a a d	増加	⑦
③ 食事のマナーや作法につ いて気をつけている人の 割合 (中学生) (高校生) (成人)	38.2% 20.8% 19.7%	10% 以上の 増加	56.5% 43.9% 19.4%	a a d	増加	⑦
④ 地元の食材を購入してい る人の割合	81.3%	90% 以上	78.6%	d	95.0%	⑦
⑤ 食べ残しやごみを減らす ことに気をつけている人 の割合 (中学生・高校生) (成人)	33.8% 35.0%	10% 以上の 増加	58.7% 37.8%	a b	増加	⑦
⑥ 行事食を取り入れること を意識している人の割合	18.0%	10% 以上の 増加	16.2%	d	増加	⑦

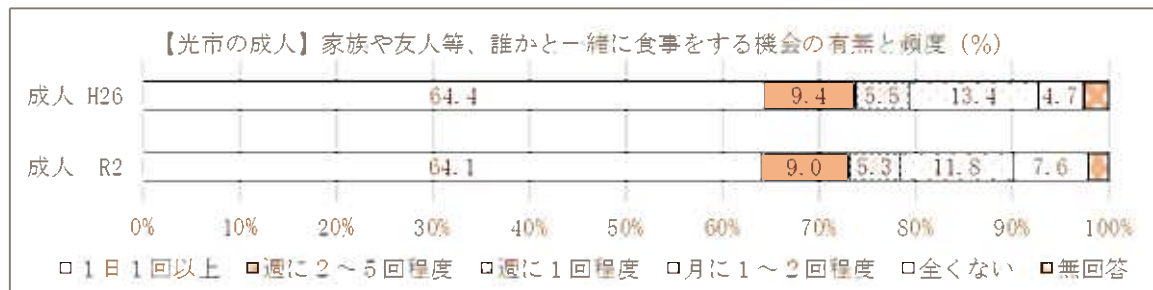
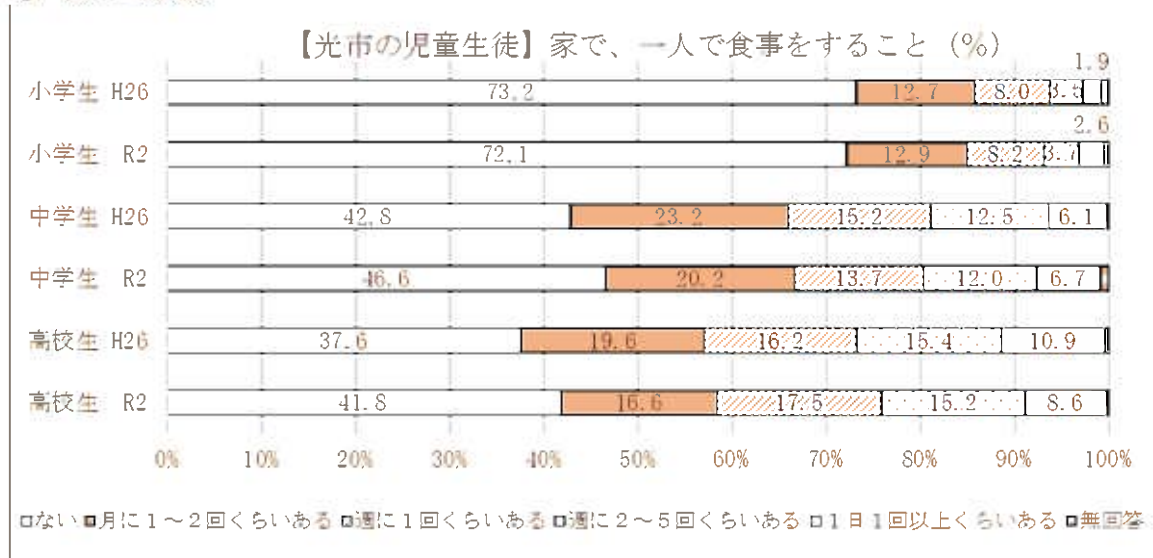
⑦ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

⑧ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

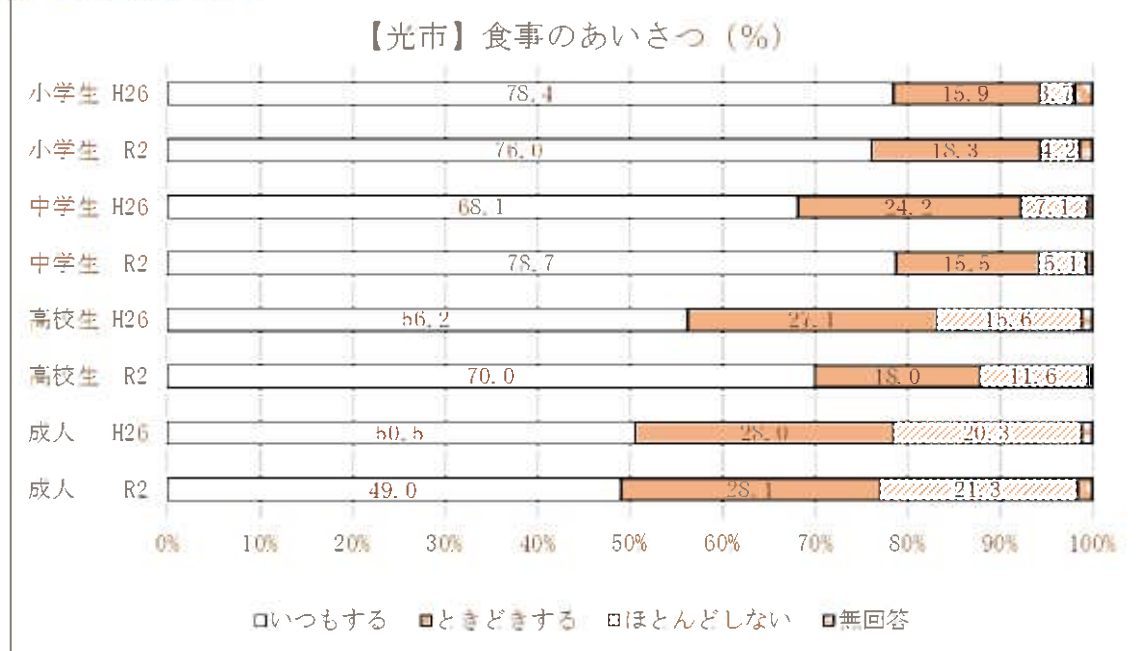
⑨ 光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

① 孤食の状況



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「家で、一人で食事をする事がありますか」という設問に「ない」と回答の児童生徒の割合は、小学生は平成26年度73.2%から、令和2年度72.1%と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生42.8%、高校生37.6%）から、令和2年度（中学生46.6%、高校生41.8%）と増加している状況です。また、「家族や友人等、誰かと一緒に食事をする機会がありますか」という設問に「1日1回以上」と回答の成人の割合は、平成26年度64.4%から、令和2年度64.1%と減少しており、「全くない」と回答の成人の割合が平成26年度4.7%から、令和2年度7.6%と増加している状況です。

② 食事のあいさつ



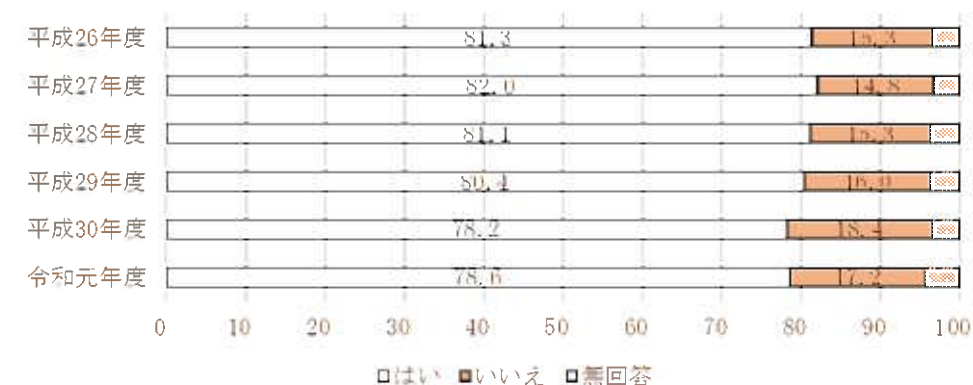
光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか」という設問に「いつもしている」と回答の児童生徒の割合は、小学生と成人は平成26年度（小学生78.4%、成人50.5%）から、令和2年度（小学生76.0%、成人49.0%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生68.1%、高校生56.2%）から、令和2年度（中学生78.7%、高校生70.0%）と増加している状況です。

③ 食事のマナーや作法

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「食事のマナーや作法（食事のあいさつ、はしの持ち方等）」について気をつけていると回答の生徒及び成人の割合は、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生38.2%、高校生20.8%）から、令和2年度（中学生56.5%、高校生43.9%）と増加しており、成人は平成26年度19.7%から、令和2年度19.4%と減少している状況です。

④ 地元の食材購入

【光市】地元の食材を購入している（％）



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、地元の食材を購入している市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（81.3％）から令和元年度（78.6％）と減少している状況です。

⑤ 食物残渣や環境への配慮

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「食べ残しやごみを減らす」ことに気をつけていると回答の生徒及び成人の割合は、中学生・高校生及び成人ともに平成26年度（中学生・高校生33.8％、成人35.0％）から、令和2年度（中学生・高校生58.7％、成人37.8％）と増加している状況です。

⑥ 食文化の継承

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「伝統的な行事食を取り入れる（おせち料理、七草粥、おはぎ、ちまき 等）」ことについて気をつけている（心掛けている）と回答の成人の割合は、平成26年度18.0％から、令和2年度16.2％と減少している状況です。

3 指標（項目）の達成状況

分野ごとに指標（項目）を設定し、数値目標を掲げて、計画の進捗状況の把握、課題分析等に取り組みました。健康寿命は男女とも延伸しているなど、中間目標に到達している指標（項目）がある一方で、改善傾向であるものの中間目標に到達していないもの、計画策定時の近況値（基準値）とほぼ変わらないもの、悪化傾向であるものもある状況です。

全ての指標（項目）の達成状況は、以下のとおりです。

●達成状況一覧（全 39 指標 70 項目）

			指標数	項目数	評価結果の項目数				
					a	b	c	d	e
健康指標			3	4	3	0	1	0	0
個別指標	Ⅰ ライフ ステージに応じた健康づくりの推進	1 次世代の健康づくりの推進	7	12	5	2	1	2	2
		2 働く世代の健康づくりの推進	4	10	3	0	1	6	0
		3 高齢期の健康づくりの推進	3	3	0	1	0	2	0
	Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上	1 身体活動と運動の促進	2	2	2	0	0	0	0
		再掲含 3	4	2	0	0	0	2	
		2 こころの健康づくりの推進	4	7	4	0	0	3	0
	再掲含 5	8	5	0	0	3	0		
	3 歯と口腔の健康づくりの推進	5	8	2	3	0	3	0	
	Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進	1 望ましい栄養摂取と食生活の実践	5	9	0	5	0	4	0
		再掲含 6	12	1	5	0	6	0	
2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進		6	15	5	3	0	7	0	
合 計			39	70	24	14	3	27	2
			再掲含 42	76	26	14	3	29	4

●評価結果及び項目

評価結果 (割合)	項 目
a 改善している 24項目 (34.3%)	・健康寿命【男性】 ・健康寿命【女性】 ・「健康寿命」の周知度（「健康寿命」という言葉も内容も知っている人）
	・妊婦の喫煙者の割合 ・喫煙に興味（関心）がある生徒の割合（中学生・高校生） ・「自分は健康（元気）だ」と思う児童生徒の割合（中学生） ・朝食を毎日とっている児童生徒の割合（高校生） ・睡眠で休養が十分にとれていると思う生徒の割合（中学生・高校生）
	・がん検診受診率（大腸がん検診） ・脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）【男】 ・同上【女】
	・1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合 ・健康づくりのために意識的に運動をしている人の割合（いつもしている、時々している）
	・自殺死亡率（人口10万人あたり） ・ストレスを毎日感じている人の割合（中学生・高校生） ・自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合（中学生） ・同上（高校生）
	・よくかんで味わって食べる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生） ・毎食後歯をみがく人の割合（高校生）
	・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをいつもする人の割合（中学生） ・同上（高校生） ・食事のマナーや作法について気をつけている人の割合（中学生） ・同上（高校生） ・食べ残しやごみを減らすことに気をつけている人の割合（中学生・高校生）
b 改善傾向 14項目 (20.0%)	・「自分は健康（元気）だ」と思う児童生徒の割合（小学生） ・同上（高校生）
	・「自分は健康だ（非常に健康だ・健康な方だ）」と思う人の割合（65歳以上） ・毎食後歯をみがく人の割合（成人） ・歯科のかかりつけ医がある人の割合 ・過去1年間に歯科健康診査を受けた人の割合
	・ほぼ毎日（週6日以上）朝食を摂取している人の割合 ・1日3回野菜を食べる人の割合（中学生） ・同上（高校生） ・主食、主菜、副菜のそろった食事を1日2回以上とる人の割合 ・家で料理をする機会がある人の割合（毎日ある・週に数回ある）（成人男性）
	・誰かと食事をする人の割合（家で一人で食事をする人がない児童生徒）（中学生） ・同上（高校生） ・食べ残しやごみを減らすことに気をつけている人の割合（成人）

c 変わらない 3 項目 (4.3%)	・ 普段から健康に心がけている人の割合
	・ 全出生児数中の低体重児 (2,500 g 未満) の割合
	・ がん検診受診率 (子宮がん検診)
d 悪化傾向 27 項目 (38.6%)	・ 朝食を毎日とっている児童生徒の割合 (小学生)
	・ 同上 (中学生)
	・ がん検診受診率 (胃がん検診)
	・ がん検診受診率 (肺がん検診)
	・ がん検診受診率 (乳がん検診)
	・ 「自分は健康だ (非常に健康だ・健康な方だ)」と思う人の割合
	・ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率 (人口 10 万対) 【男】
	・ 同上 【女】
	・ 日頃、楽しめる趣味や生きがいがある人の割合 (65 歳以上)
	・ 地域の自治会や公民館活動への参加率「参加している (いつも + 時々)」
	・ 睡眠で休養が十分にとれていると思う人の割合 (20～50 歳代)
	・ ストレスを毎日感じている人の割合 (20～50 歳代)
	・ 自分なりのストレス解消法をもっている人の割合
	・ 3 歳児健康診査でう歯のない子どもの割合
	・ 毎食後歯をみがく人の割合 (小学生)
	・ 同上 (中学生)
	・ 1 日 3 回野菜を食べる人の割合 (小学生)
	・ 同上 (成人)
	・ 家で料理をする機会がある人の割合 (毎日ある・週に数回ある) * 児童生徒は大人と一緒にすることも含む (小学生・中学生・高校生)
	・ 「食育」に関心がある人の割合
	・ 誰かと食事をする人の割合 (家で一人で食事をする人がない児童生徒) (小学生)
	・ 誰かと食事をする人の割合 (家族や友人など、誰かと一緒に食事をする機会が 1 日 1 回以上ある成人) (成人)
	・ 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをいつもする人の割合 (小学生)
	・ 同上 (成人)
	・ 食事のマナーや作法について気をつけている人の割合 (成人)
	・ 地元の食材を購入している人の割合
	・ 行事食を取り入れることを意識している人の割合
e 評価困難 2 項目 (2.8%)	・ 運動を習慣的にしている子どもの割合 (学校の体育の授業以外に、ほとんど毎日 (週に 3 日以上) 運動・スポーツをしている児童の割合) (小学 5 年生男子)
	・ 同上 (小学 5 年生女子)

4 健康づくりの課題

光市の現状、本計画に基づくこれまでの取組み状況、指標の現状値及び指標（項目）の達成状況から、本市における健康づくりの課題を以下のとおり整理しました。

（１）人口減少と核家族化、少子高齢化

（２）ライフステージに応じた健康づくりの推進

（生活習慣病予防対策、がん対策：検診受診率の向上）

ア 栄養・食生活

（ア）食事を楽しく食べる意識の醸成（全世代）

（イ）望ましい栄養摂取と食生活の実践、食育の推進

・朝食の欠食改善（特に児童生徒）

・食育の関心、１日３回の野菜摂取、食事バランス、共食の推進（全世代）

・食事のあいさつ（児童、成人）、食のマナーや作法に気をつける、
地元の食材購入（地産地消）、行事食（食文化の継承）（成人）

（ウ）歯と口腔の健康づくり

・幼児のう歯罹患率

・毎食後の歯みがき（全世代）

イ 身体活動・運動

（ア）運動習慣者の増加

（イ）転倒・骨折予防（主に女性）

（ウ）子どもの体力（筋力や柔軟性）の向上

ウ こころの健康づくり

（ア）ストレス対策（成人）

（イ）高齢者の趣味や生きがい、地域の活動への参加率

（ウ）睡眠での休養（成人）

（３）光市健康づくり推進計画の周知・啓発

第5章 中間評価を踏まえた今後の施策の展開例

1 施策の展開例

基本目標Ⅰ ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標1 次世代の健康づくりの推進

	前 期	後 期					担 当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
ハイリスク妊産婦への支援の推進							健康増進課 子ども家庭課
妊産婦・乳幼児健康診査の実施							健康増進課
こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)の実施							健康増進課
育児相談・1歳児お誕生相談・2歳児お誕生相談の実施							健康増進課
食育子育て支援事業(幼稚園・保育所・認定こども園)の実施							子ども家庭課
子育て講座の開催							文化・社会教育課 子ども家庭課
「早寝早起き朝ごはん運動」の推進							学校教育課 文化・社会教育課 関係各課
子どもの体力・スポーツ活動の推進							体育課 学校教育課 子ども家庭課
防煙教育の推進							学校教育課 子ども家庭課 健康増進課
一校一取組み(各校における課題を解決するための取組み)の一層の充実							学校教育課
生涯学習セミナー等の開催							地域づくり推進課
子育て支援センター管理運営事業(なかよし広場、パパも出番ですよ!運動あそび)の実施							子ども家庭課
未来のパパママ応援事業(中学生と乳幼児のふれあい体験)の実施							子ども家庭課
妊産婦や子育て家庭への支援の推進							健康増進課 子ども家庭課 関係各課

※網掛項目は、計画書(平成28年3月)からこのたび追加した項目

基本目標1 ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標2 働く世代の健康づくりの推進

	前 期	後 期					担 当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
各種がん検診の推進	→	→	→	→	→	→	健康増進課 関係各課
健康教育・出前健康教育の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課 関係各課
各種健康相談(健康・栄養・禁煙)の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課 関係各課
特定健康診査・特定保健指導の充実・実施(国民健康保険)	→	→	→	→	→	→	市民課 健康増進課
高血圧症重症化予防事業の実施(国民健康保険)	→	→	→	→	見直し	→	市民課
(再掲)生涯学習セミナー等の開催	→	→	→	→	→	→	地域づくり推進課
糖尿病性腎症重症化予防事業の実施(国民健康保険)	→	→	→	→	→	→	市民課
各種健康診査等の実施(骨粗しょう症検診、医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査)	→	→	→	→	→	→	健康増進課
健康増進事業「健康プラスアップ作戦事業」の推進	→	見直し	→	→	→	→	健康増進課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(まもる)」の推進	→	見直し	→	→	→	→	健康増進課 関係各課

基本目標1 ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標3 高齢期の健康づくりの推進

	前 期	後 期					担 当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
高齢者の健康づくり・生きがいの推進	→	→	→	→	→	→	高齢者支援課 地域づくり推進課 関係各課
認知症予防事業(講演会や講座等)の実施	→	→	→	→	→	→	高齢者支援課 関係各課
介護予防事業の充実	→	→	→	→	→	→	高齢者支援課
地域コミュニティ活動(自治会やいきいきサロン等)への参加促進	→	→	→	→	→	→	地域づくり推進課 高齢者支援課
(再掲)生涯学習セミナー等の開催	→	→	→	→	→	→	地域づくり推進課
介護支援ボランティアポイント事業	→	→	→	→	→	→	高齢者支援課

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標1 身体活動と運動の促進

	前 期		後 期					担 当
	H28-R2		R3	R4	R5	R6	R7	
ウォーキングの推進(光のあるくロードウォーキングラリーの実施、ひかり環境・健康ウォーキングマップの普及啓発等)								健康増進課 関係各課
各種スポーツイベント・スポーツ教室の開催								体育課 関係各課
冠山総合公園を中心とした健康づくりイベントの実施								都市政策課
ニュースポーツの普及・啓発								体育課
コミュニティセンター事業(健康ウォーキング、各種スポーツ大会等)の実施								地域づくり推進課 関係各課
運動施設や環境の整備								体育課 地域づくり推進課 関係各課
健康づくり拠点としての公園の維持管理の実施								都市政策課
(再掲)子どもの体力・スポーツ活動の推進								体育課 学校教育課 子ども家庭課
(再掲)介護予防事業(運動器機能向上等事業)の充実								高齢者支援課
(再掲)介護予防事業(転倒骨折予防教室等)の充実								高齢者支援課
(再掲)一校一取組み(各校における課題を解決するための取組み)の一層の充実								学校教育課
(再掲)子育て支援センター管理運営事業(なかよし広場、パパも出番ですよ!運動あそび)の実施								子ども家庭課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(うごく)」の推進			見直し		見直し			健康増進課 関係各課

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標2 こころの健康づくりの推進

	前 期	後 期					担 当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
こころの健康について情報発信 (こころの体温計、心の健康カード)	→						健康増進課
産後うつ予防事業の実施	→						健康増進課
おっぱい育児の推進	→						子ども家庭課 健康増進課
心の健康相談・癒しのカウンセリングの実施	→						健康増進課
(再掲)子育て支援センター管理運営事業(子育て支援員による相談)の実施	→						子ども家庭課
子育て支援の「わ」事業の実施 (園庭開放、身近な相談場所)	→						子ども家庭課
ストレスマネジメント力の育成	→						学校教育課
障害がある人の相談支援の実施	→						福祉総務課
若者の就業的自立の支援 心理カウンセリングの実施	→						商工観光課
心の不調に気づき、適切な支援につなげられる人材の育成、見守り体制の整備	→						子ども家庭課 学校教育課 健康増進課
自然とふれあう機会(自然体験学習等)の推進	→			見直し	→		環境政策課 関係各課
植樹や花壇づくり等による緑化の推進と環境の向上	→						都市政策課
保育・幼児期の教育の推進(子どもの心の発達促進)	→						子ども家庭課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(なごむ)」の推進	→			見直し	→		健康増進課 関係各課

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標3 歯と口腔の健康づくりの推進

	前 期	後 期					担 当
	H26-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
歯の健康相談・成人歯科健診の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課
幼稚園・保育所・認定こども園 歯科指導の推進	→	→	→	→	→	→	健康増進課 関係各課
光市よい歯のコンクールの展開と 8020運動の推進	→	→	→	→	→	→	健康増進課 学校教育課
障害者口腔健診及び口腔衛生指導の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課 関係各課
歯周病検診・口腔がん検診の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課
(再掲)介護予防事業の充実 (口腔機能向上講演会の実施等)	→						高齢者支援課
健康増進事業「歯周病チェック事業」の推進	→	見直し	→	→	→	→	健康増進課

基本目標Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

個別目標1 望ましい栄養摂取と食生活の実践

	前 期	後 期					担 当
	H26-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
ライフステージに応じた食育相談・ 栄養相談の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課
健康教室やおやこ料理教室等の実施	→	→	→	→	→	→	健康増進課 地域づくり推進課 関係各課
レシピカードを活用した栄養・食生活に関する普及啓発	→						健康増進課 関係各課
チャイベビ食育事業の実施 (未就園親子の食育推進)	→	→	→	→	→	→	子ども家庭課
(再掲)食育子育て支援事業(幼稚園・ 保育所・認定こども園)の実施	→	→	→	→	→	→	子ども家庭課
高齢期の食育推進の展開 (栄養調理教室の開催等)	→	→	→	→	→	→	高齢者支援課
高齢期の食育推進の展開 (訪問栄養指導の実施)	→						高齢者支援課
地域における食生活改善推進活動 の支援	→	→	→	→	→	→	健康増進課 関係各課
地産地消の推進	→	→	→	→	→	→	農林水産課 関係各課
健康増進事業「スマイルチャレンジ 事業(たべる)」の推進	→	見直し	→	見直し	→	→	健康増進課 関係各課

基本目標Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

個別目標2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進

	前 期	後 期					担 当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
家庭における共食等の推進							健康増進課 関係各課
学校給食における地産地消の推進 (地場産食材の活用)							学校給食センター 関係各課
(再掲) 地産地消の推進							農林水産課 関係各課
農業体験教室等の実施							農林水産課 関係各課
調理体験教室等の開催							地域づくり推進課 健康増進課 関係各課
(再掲) チャイベジ食育事業の実施							子ども家庭課
(再掲) 食育子育て支援事業(幼稚園・保育所・認定こども園)の実施							子ども家庭課
食の安全・安心に関する取組み (情報発信)							生活安全課 関係各課
ごみの減量に関する取組み (環境学習や啓発活動等)							環境事業課 関係各課

参考資料

1 中間評価の経緯

平成28年3月	光市健康づくり推進計画策定
平成28年4月～	光市健康づくり推進計画に基づく事業の推進
平成28年7月28日	平成28年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
平成28年10月3日	平成28年度光市健康づくり推進計画庁内会議の開催
平成29年8月10日	平成29年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
平成29年9月29日	平成29年度光市健康づくり推進計画庁内会議の開催
平成30年8月9日	平成30年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和元年8月8日	令和元年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和2年6～7月	光市「健康・食育に関する市民アンケート」調査の実施
令和2年10月8日	令和2年度第1回光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和2年11月16日	令和2年度光市健康づくり推進計画庁内会議の開催
令和2年12月24日	令和2年度第2回光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和3年3月	中間評価報告（報告書）

2 光市健康づくり推進計画市民協議会

(1) 光市健康づくり推進計画市民協議会設置要綱

平成28年4月28日

光市告示第73号

(設置)

第1条 本市の健康増進及び食育推進の指針とする光市健康づくり推進計画（以下「計画」という。）の策定に関する協議及び計画の推進にあたり、市民の意見等を反映するため、光市健康づくり推進計画市民協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 協議会の任務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画の推進に関すること。
- (3) その他市民の健康増進及び食育推進に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、25人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市民団体、各種団体等の代表者又はその推薦を受けた者
- (3) 公募により選出された者
- (4) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、3年を超えない範囲で市長が定める期間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

2 議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

4 会議は、公開するものとする。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、福祉保健部健康増進課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成26年8月1日から施行する。

(光市食育推進市民協議会設置要綱の廃止)

2 光市食育推進市民協議会設置要綱（平成22年光市告示第103号）は、廃止する。

(光市健康増進計画「光すこやか21」推進協議会設置要綱の廃止)

3 光市健康増進計画「光すこやか21」推進協議会設置要綱（平成22年光市告示第109号）は、廃止する。

(会議の招集の特例)

4 この告示の施行後、協議会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附 則

この告示は、平成28年5月1日から施行する。

(2) 光市健康づくり推進計画市民協議会委員名簿

令和3年3月現在

	所 属 等	役職名 等	氏 名	
保健・医療・福祉関係 (5)	光市医師会	会長	廣 田 修	◎
	光市歯科医師会	会長	南 典 文	
	山口県周南健康福祉センター	保健環境部調整監 兼 健康増進課長	横 田 恵	
	光市社会福祉協議会	事務局長	小 西 俊 弘	
	光市民生委員児童委員協議会	会長	竹 本 新 助	
地域活動団体 (8)	光市老人クラブ連合会	会長	柳 通 江	
	光市コミュニティ連絡協議会	室積コミュニティセンター 館長	松 本 隆	
	山口県栄養士会 周南地域専門部会	地域活動所属 光地区代表	岡 村 美由紀	
	光市食生活改善推進協議会	会長	天 野 加代子	
	光市母子保健推進協議会	会長	藪 崎 寿 子	
	光市スポーツ推進委員協議会	会長	林 徳 人	
	光市障害者福祉推進連絡協議会	会長	中 原 健 次	
	光市消費者の会	会長	松 岡 静 枝	
農林漁業・商工関係 (3)	光商工会議所	金融課長	恩 田 寛 正	
	里の厨事業協同組合	生産副部長	末 岡 恵 治	
	山口県漁業協同組合 光支店		市 川 由 美	
幼保・学校関係 (5)	光市小学校 校長会	光市立光井小学校 校長	田 中 敬 二	
	光市教育開発研究所	主任研究員	村 上 博	○
	山口県保育協会光支部	浅江東保育園 主任保育士	河 本 知 子	
	光市私立幼稚園協会	代表	岡 田 留美子	
	光市小中学校PTA連合会	光市立光井中学校 PTA会長	岡 田 貴 義	
公 募 (2)	公募委員		平 井 幸 江	
	公募委員		松 田 薫	

◎：会長、○：副会長

委員の任期：令和4年3月31日まで

光市健康づくり推進計画 中間評価報告書

発行日 令和3年(2021年)3月

発行 山口県光市

編集 光市福祉保健部健康増進課

〒743-0011 山口県光市光井二丁目2番1号

光市総合福祉センター あいばーく光

電話 0833-74-3007

<http://www.city.hikari.lg.jp/>